

RIKKYO Fact Book 2025

立教大学ファクトブック

— 2019 年度 ～ 2024 年度データ —

教育

Education

研究

Research

学生

Students

社会連携・社会貢献

Social Collaboration and Social Contributions

国際化

internationalization

入試

Entrance Exams

広報・ブランドイメージ・ランキング

Public Relations, Brand Image, Ranking

校友

Alumni

学校運営

School Management



立教大学

はじめに

「立教大学ファクトブック」は、本学の情報を社会に公開することにより、本学の現状や取組についてご理解を深めていただくことを目的に編纂しております。

冒頭の4～5ページでは、2025年4月から2029年3月までの4年間の大学運営における基本方針となる「大学運営の基本方針」を掲載しています。この「大学運営の基本方針」は、理念と目的を明確にしたうえで、本学の教学の発展に向けた重点政策および、各領域（教育、研究、学生支援、社会連携・貢献、国際化、入試、広報・ブランディング、大学運営基盤）における基本方針を示しています。5ページには、これらの各領域に対応する関連データの掲載ページを案内しております。

なお、本書に収録されているデータは原則2024年度時点のデータを使用しておりますが、一部データにおいて最新年度と異なるデータとなりますことをご了承ください。

また、学生・職員・教員の活動の指針となる「立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言」と、日本政府の宣言する2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けて本学が取り組む「立教大学カーボンニュートラル宣言」を以下に掲載いたします。

ご参考までにご覧いただけましたら幸いです。

立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言

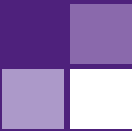
- 【1】立教大学は、キリスト教に基づいて人格を陶冶し、人間の尊厳を自覚する教育をおこないます。**
立教大学は、個々人の「人格と尊厳」（ディグニティ）が尊重され、それぞれの能力が最大限に発揮されるような、自由な学問と教育の場であることをめざしています。人権意識、当事者意識をはぐくむ正課教育・正課外教育を追求します。
- 【2】立教大学は、みずからの学びと体験を他者に伝達し、他者と共有できる感性と知性をもった人間を育てます。**
学びと体験を個人にとどめず、他者に正しく伝達できる「開かれた知性」をもった市民を社会に送り出します。それぞれが自由に触発・交流し合い、他者、とりわけ生きる条件のきびしい他者存在を受けとめて生き合うキャンパスづくりをめざします。
- 【3】立教大学は、あらゆるキャンパス・ハラスメントに対し、断固たる態度でこれを排除し、防止します。**
キャンパス・ハラスメントは、個人の人格的尊厳（ディグニティ）を傷つけ、人権を侵害する行為です。同時に、大学の教育・研究を支える環境を損なう行為でもあります。立教大学は、このような行為を一切許さず、生じさせない環境を保持します。

立教大学カーボンニュートラル宣言

近年、極端な熱波、干ばつ、熱帯低気圧の強化、豪雨などの異常気象が、世界中の人々の生活に深刻な被害をもたらし、生態系にも大きな影響を与えています。これらの異常気象には地球温暖化が関係していると考えられており、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書第1作業部会報告書（自然科学的根拠）では、人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことに疑う余地はないとされています。私たちの命の基盤である地球を、持続可能な形で次世代へつなげていくために、私たちはいま何をすべきかが問われています。

立教大学は、「普遍的真理を探究し、この世界や社会のために働く者を生み育てる」というミッションのもと、地球温暖化という全世界共通の課題に取り組むべく、ここに立教大学カーボンニュートラル宣言を発出し、以下の取り組みを進めてまいります。

- 【1】2030年までに本学キャンパスにおける温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指し、立教大学カーボンニュートラル・ロードマップを策定のうえ実行します。**
- 【2】地域の方々をはじめとする様々な関係者と協力し、社会におけるカーボンニュートラルの取り組みに貢献します。**
- 【3】地球環境の現状を理解し、生きる条件のきびしい他者存在に思いを馳せつつ、カーボンニュートラルを含めた持続可能な社会を構築する力のある学生を育てます。**



大学運営の基本方針（概要） 4

I 教育

1 教員	6
2 学生アシスタント	7
3 カリキュラム	8
■ TOPICS 2002 年以降の新設・改組	9
4 単位修得率	11
5 博士学位	11
6 標準修業年限内卒業率	12
7 図書館	13
■ TOPICS 立教大学の図書館	17
■ TOPICS 環境学部の開設 (2026 年 4 月設置)	18

II 研究

1 研究予算	19
2 学外研究費	19
3 論文	21
■ TOPICS 立教大学の研究力	23
4 知的財産	23

III 学生

1 学生数	24
2 学籍	25
3 奨学金	27
■ TOPICS 立教大学の奨学金	29
4 課外活動	30
■ TOPICS 「立教箱根駅伝 2024」事業	31
5 進路	34
■ TOPICS キャリアの立教	35

IV 社会連携・社会貢献

1 ボランティア	36
2 産学官連携事業例（受託事業）	38
3 自治体・企業等との各種協定例	39
4 社会貢献	41
5 生涯学習	41
■ TOPICS 立教大学の社会連携・社会貢献	42

V 国際化

1 協定校数	44
2 送出し・受入れ	44
3 教員	45
4 カリキュラム	46
■ TOPICS 立教大学の国際化	48

VI 入試

1 入試	50
------	----

VII 広報・ブランドイメージ・ランキング

1 広報活動	52
2 ブランドイメージ・ランキング	53

VIII 校友

1 卒業生	54
■ TOPICS 立教大学校友会	55

IX 大学運営

1 教育研究施設	56
2 立教学院展示館・旧江戸川乱歩邸	58
■ TOPICS 立教学院展示館	58
■ TOPICS 旧江戸川乱歩邸	59
3 財政	60
4 専任職員数	61

立教大学の沿革 62

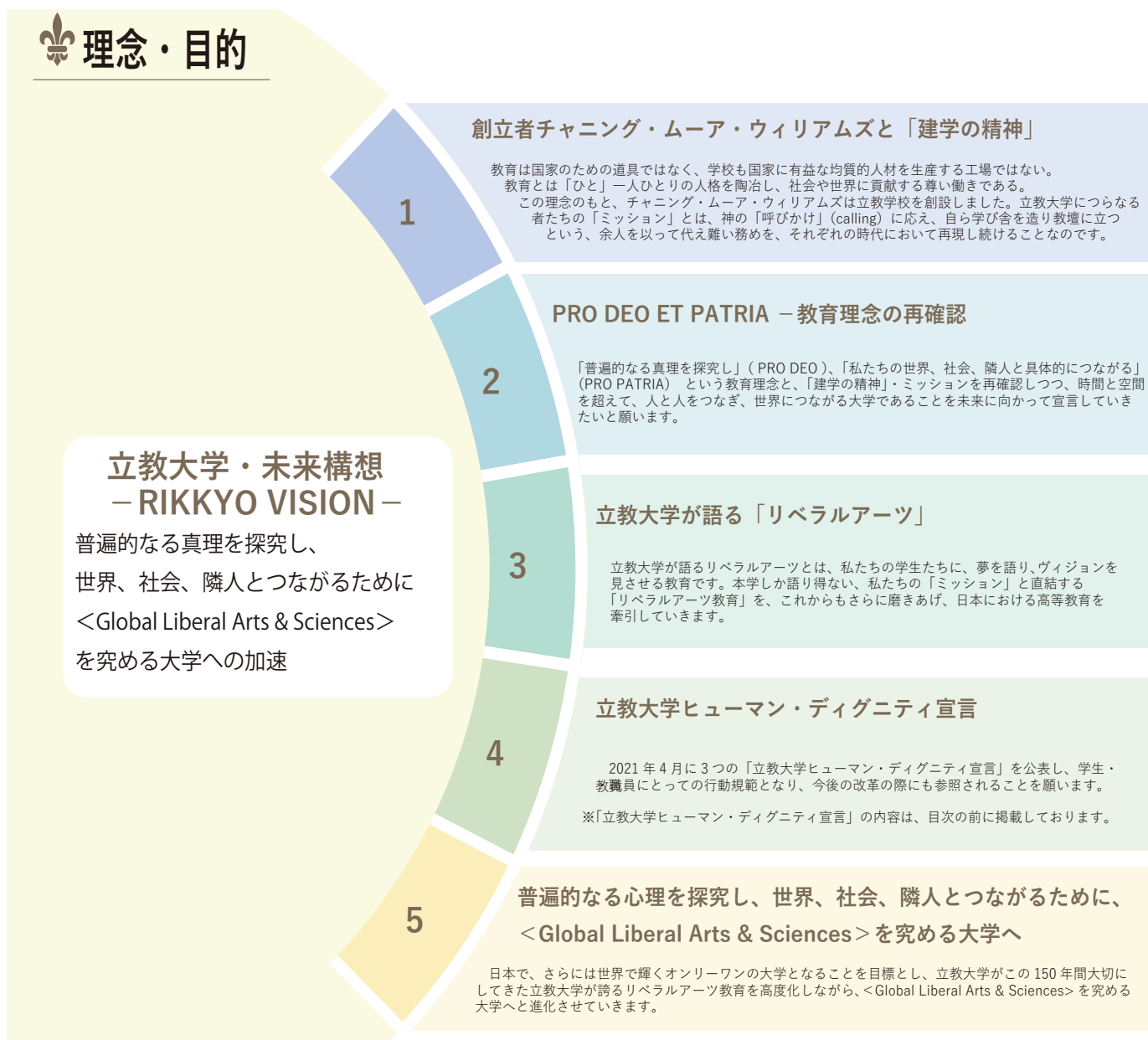
立教学院創立 150 周年の取り組み 64

立教大学ファクトブック 2025（概要） 72

大学運営の基本方針

2025 年度～ 2028 年度の 4 年間の方針となる「大学運営の基本方針」を大学機関別認証評価や私立大学ガバナンスコードの内容に留意しつつ、作成しました。この基本方針に基づき、中期計画および単年度事業計画を策定し、これらを一体的に管理・運用することを想定しています。

立教大学ファクトブックでは、「大学運営の基本方針」と関連する項目について、過去数年の実績と現状を把握できるデータを揃えました。



立教大学は、「立教大学・未来構想——RIKKYO VISION」にもとづいて、創立 150 年を超えて、普遍的真理を探究し続け、続く時代の、世界、社会に貢献できる人々を生み育てるという使命のために邁進します。「建学の精神」を再確認しつつ、時間と空間を超えて、人と人をつなぎ、世界につながる大学であることを大切にしながら、教える者と学ぶ者、そして、それを助ける者が、真に「誇れる大学」へと不断に変革していきます。

すべての政策推進にする基本姿勢として、以下の 3 点を重視します。

- (1) 長期スパンから捉えた大学としての形 (figure) の展望を併せ持つ
- (2) 世界、国、地域社会における本学のポジションを明確にする
- (3) デジタルと実空間のベストミックスを追求する

基本方針項目とファクトブック対象ページ一覧

重点政策

■「Rikkyo Learning Style 2.0」への発展

- ・「RIKKYO Learning Style」(RLS) は、学ぶ者が<世界を読み解き>、<世界を変えていく>力を身に着けることができる立教大学ならではの<Global Liberal Arts & Sciences>教育を推進する上で、強力なプラットフォームの役割を担います。
- ・2028 年度に「RIKKYO Learning Style 2.0」(RLS2.0) を本格始動いたします。
- ・一人ひとりの学生に、みずからの学びの到達点と、そこに至るプロセスを意識させ、自主的なカスタマイズを可能とする「テラーメイドの教育」を充実させます。

■<Global Liberal Arts & Sciences>教育のフラッグシップ強化

- ・立教大学は、リベラルアーツ教育を<Global Liberal Arts & Sciences>と表現し、総合大学としての性格をよりの確に示していきます。
- ・立教大学は、GLAP 及び環境学部を含めると 13 カレッジ (colleges) を擁する 1 つのユニバーシティ (university) となります。
- ・今後は、各カレッジ (学部) が個性・特性を最大限に発揮しつつ、いわば 13 とおりの "arts & sciences" を大学が一体として目指す "global" な展開に導くために必要な制度や仕組みをさらに整えて、<ALL 立教>による改革を進めます。

■地域連携の進化による知的協働の推進と個性的教育研究環境の充実

- ・本学のリベラルアーツ教育の大きな特徴の 1 つとして、社会との繋がりを大切にしてきた点を挙げることができます。
- ・<世界を読み解き> <世界を変えていく力>を育むうえで、その重要性は今後さらに高まるといえます。
- ・本学は、地域社会における市民・行政・企業・NPO 等との間に、より創造的な連携体制を構築し、知的協働による価値の創出と、本学ならではの教育研究環境の充実を目指します。

教学支援

対象ページ P.6~P.18

教育発展

- 「Rikkyo Learning Style 2.0」への発展 (重点政策)
- <Global Liberal Arts & Sciences>教育のフラッグシップ強化 (重点政策)
- 大学院教育の充実と発展
- データ活用型の教学支援機能強化と学修成果の可視化
- 一貫連携教育の充実
- リーダーシップ教育のさらなる充実
- 大学間連携の強化
- 立教セカンドステージ大学 (RSSC) の展開
- 認証評価への対応

学術支援

対象ページ P.13~P.23
P.36~P.43

研究活動の活性化

- 重点研究領域の形成と研究成果の社会還元
- 国際的な研究史料拠点の整備
- 研究活動の前提条件の整備
- 企業連携等による広範な社会連携等

図書館の研究・教育・学修支援機能の充実

- イノベーションハブとしての図書館

社会連携／社会貢献

- 社会連携／社会貢献の位置づけ
- 全学的な SDG s 推進体制
- 立教セカンドステージ大学 (RSSC) の充実

学生支援

対象ページ P.24~P.35

- 継続的な学生支援
- 本学の伝統でもある正課外教育の強化
- 奨学金制度のさらなる制度改善及び財源充実
- データ利活用を意識したキャリア・就職支援の推進と「キャリアの立教」の強化

国際化推進

対象ページ P.44~P.49

- 建学以来の伝統に基づいた国際化
- 外国語で学ぶ機会や異文化につながるプログラムの充実
- 国際社会に求められる人々の育成
- ACE プログラム参加大学との継続的な連携
- これまでの知見を活かした国際化を推進するための支援体制

大学運営

対象ページ P.50~P.61

大学運営基盤の整備

- 機構改革
- キャンパスの発展・整備
- 財政運営
- 情報戦略の推進
- 内部質保証の推進

入試 ■広報戦略とも連動した入試広報活動

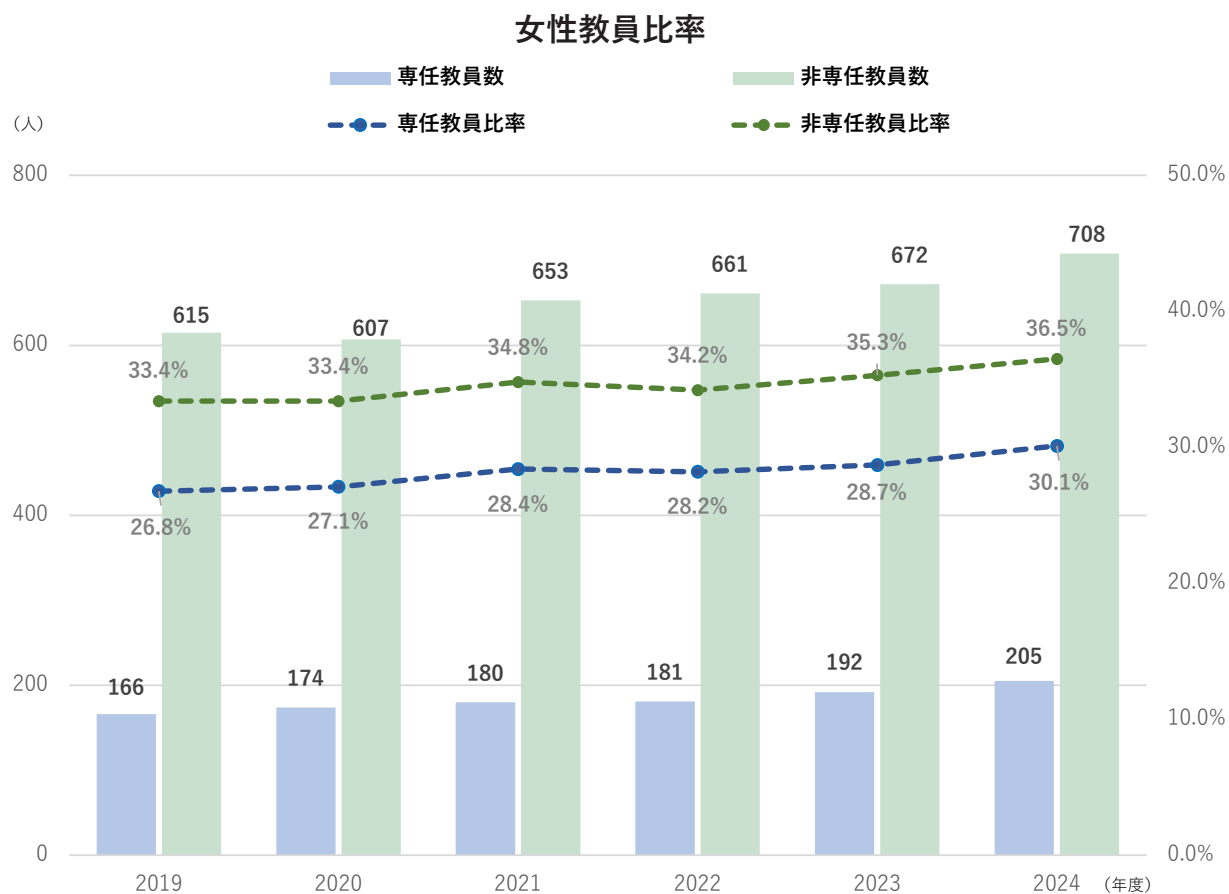
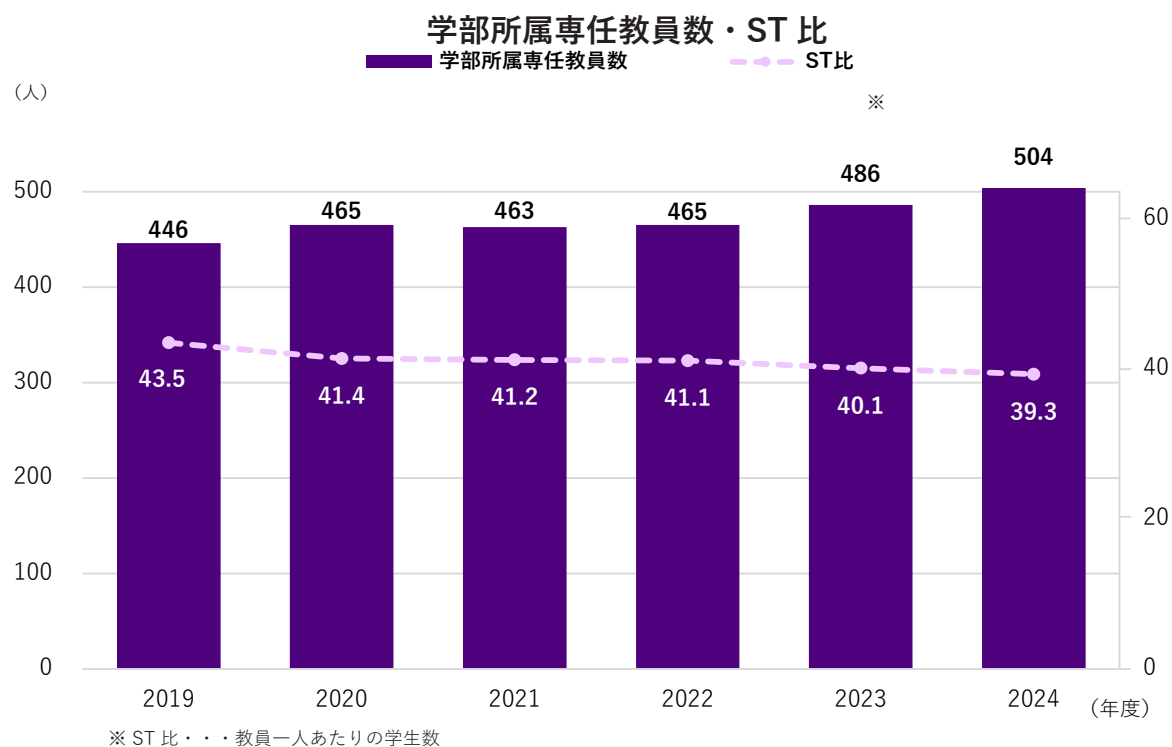
広報 ■本学のバリューアップにつながる広報展開

学院・事務連携

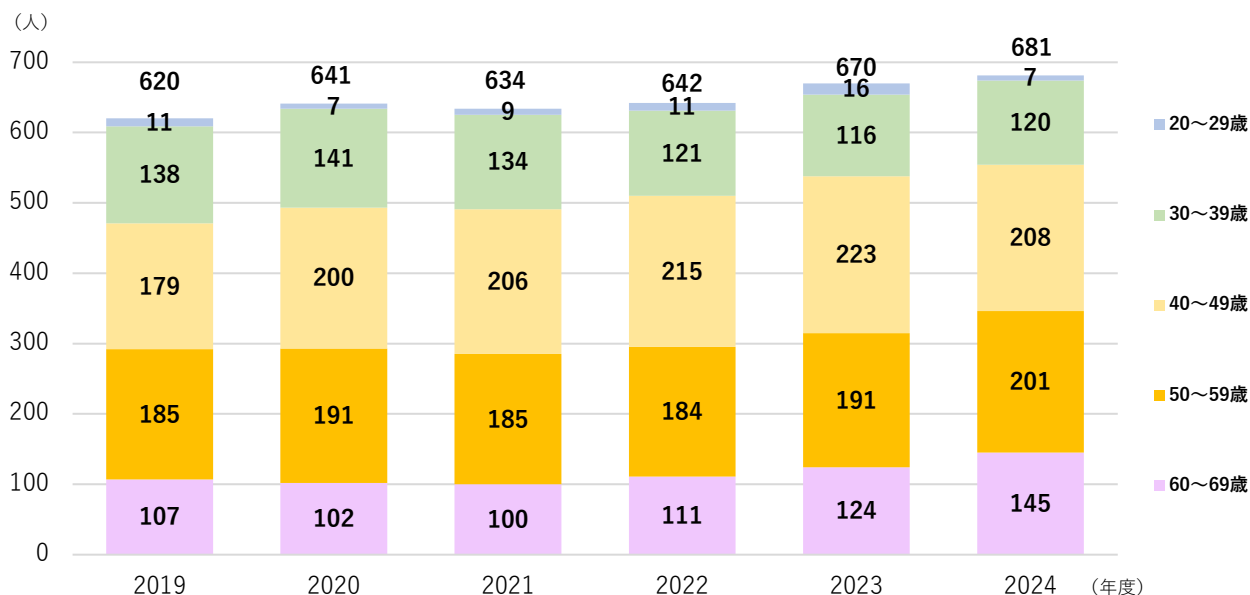
- 改正私立学校法に基づく学校法人運営の参画
- 将来を見据えた学校法人としての価値向上への貢献

I 教育

1. 教員



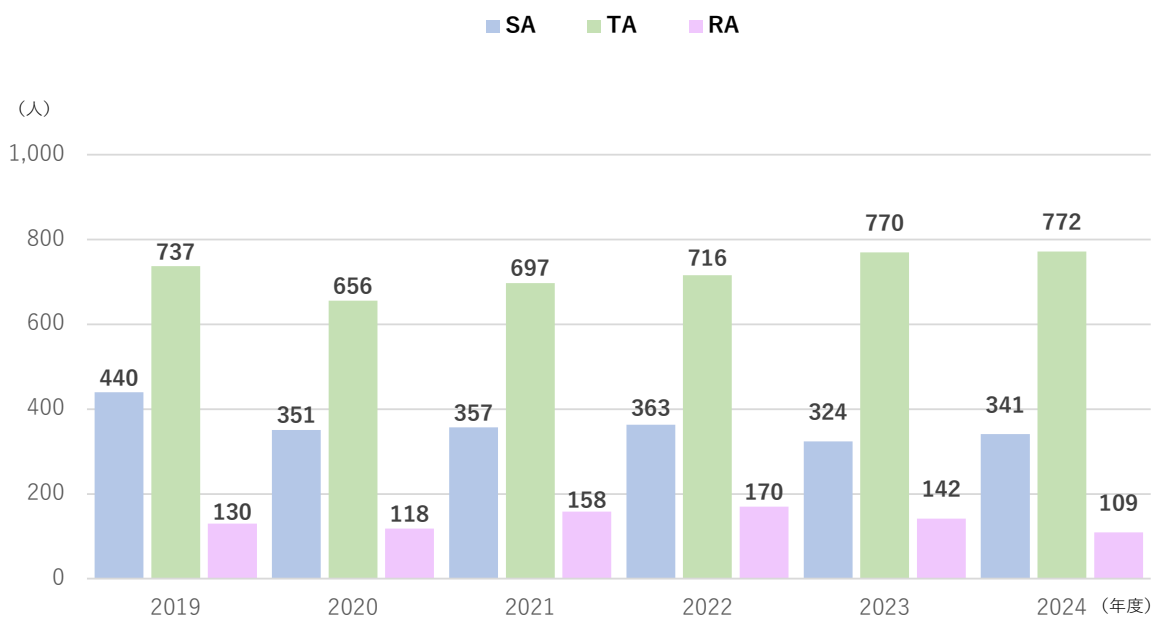
専任教員年齢構成



※ 専任教員・・・本校を本務校としている教員

2. 学生アシスタント

SA・TA・RA 人数

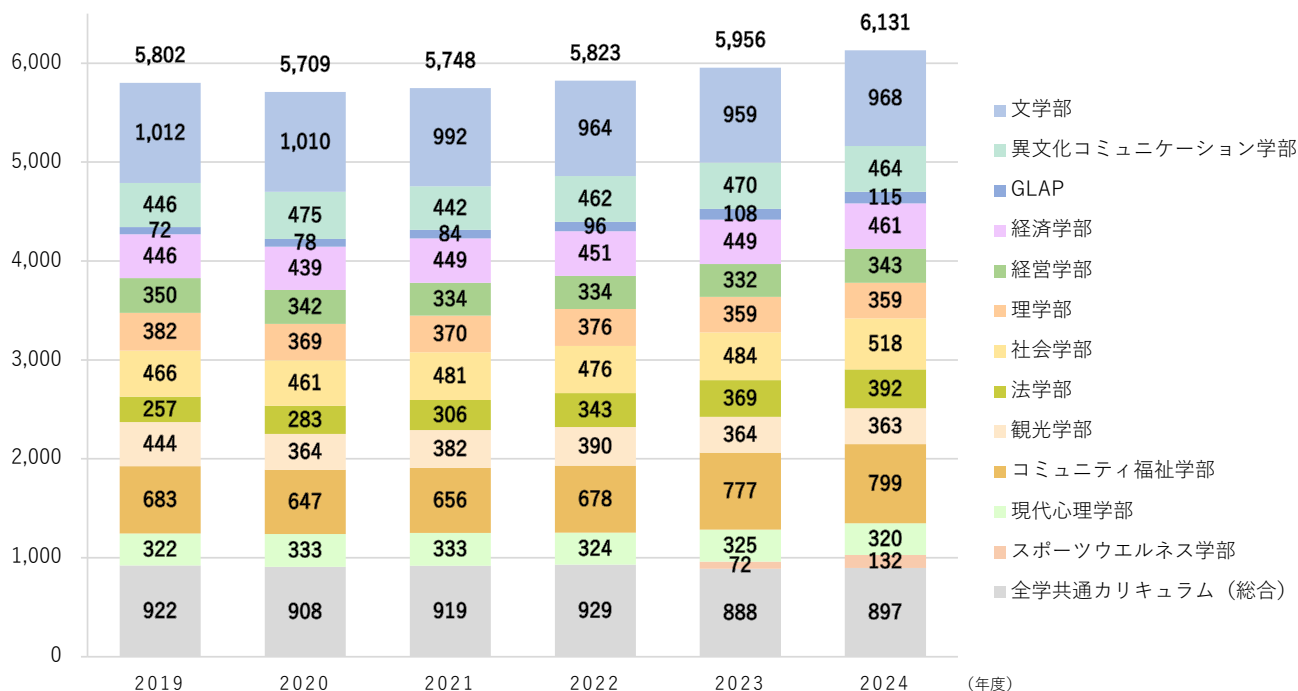


SA (Student Assistant) : 教育補助業務を行う学部学生
 TA (Teaching Assistant) : 教育補助業務を行う大学院学生
 RA (Research Assistant) : 研究補助業務を行う大学院学生

3. カリキュラム

(コマ)

開講科目数（学部）

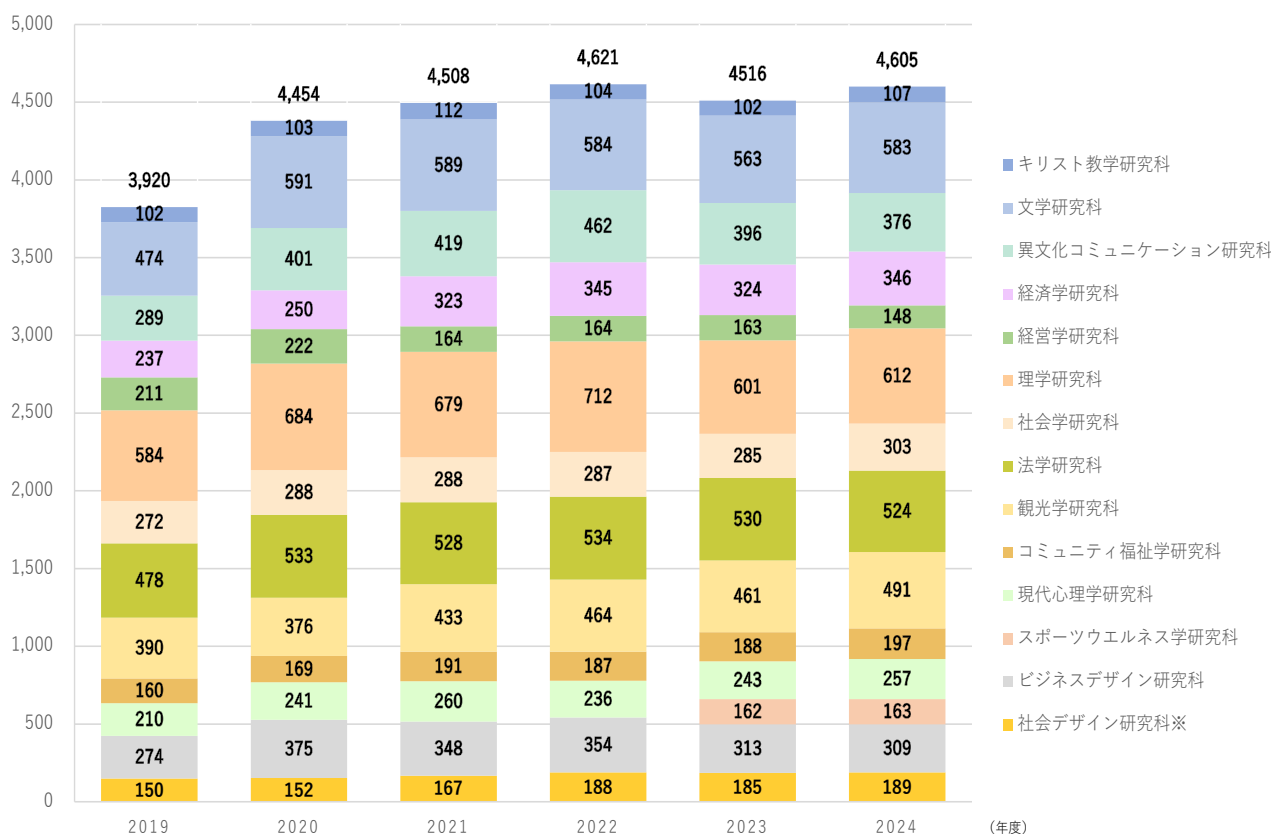


※全学共通科目には、「言語系科目」と「総合系科目」があり、上記グラフでは「総合系科目」のみ算出しています。

参考）最新 2022 年度の「言語系科目」コマ数（延べ数）は 2,925 コマで、学部展開コマ数の合計は、8,748 コマです。

※
開講科目数（大学院）

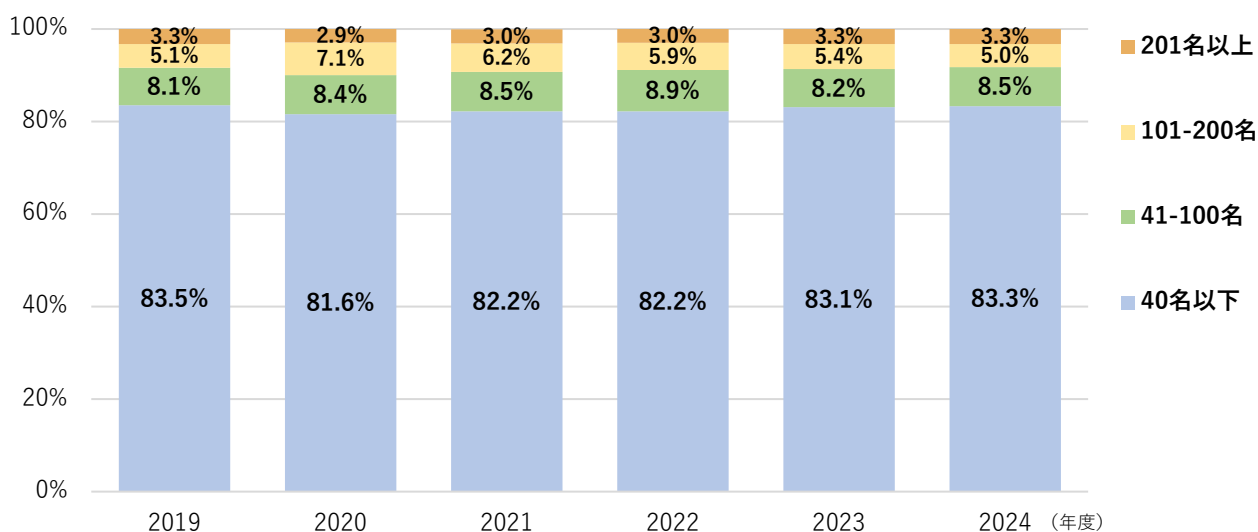
(コマ)



※開講科目数の算出方法は、各年度の科目コードごとに集計したものであり、延べ数です。

（教員毎にコードを振り分けている科目や併置科目であっても科目コードごとにそれぞれ1と数えています。）

開講科目ごとの履修者人数



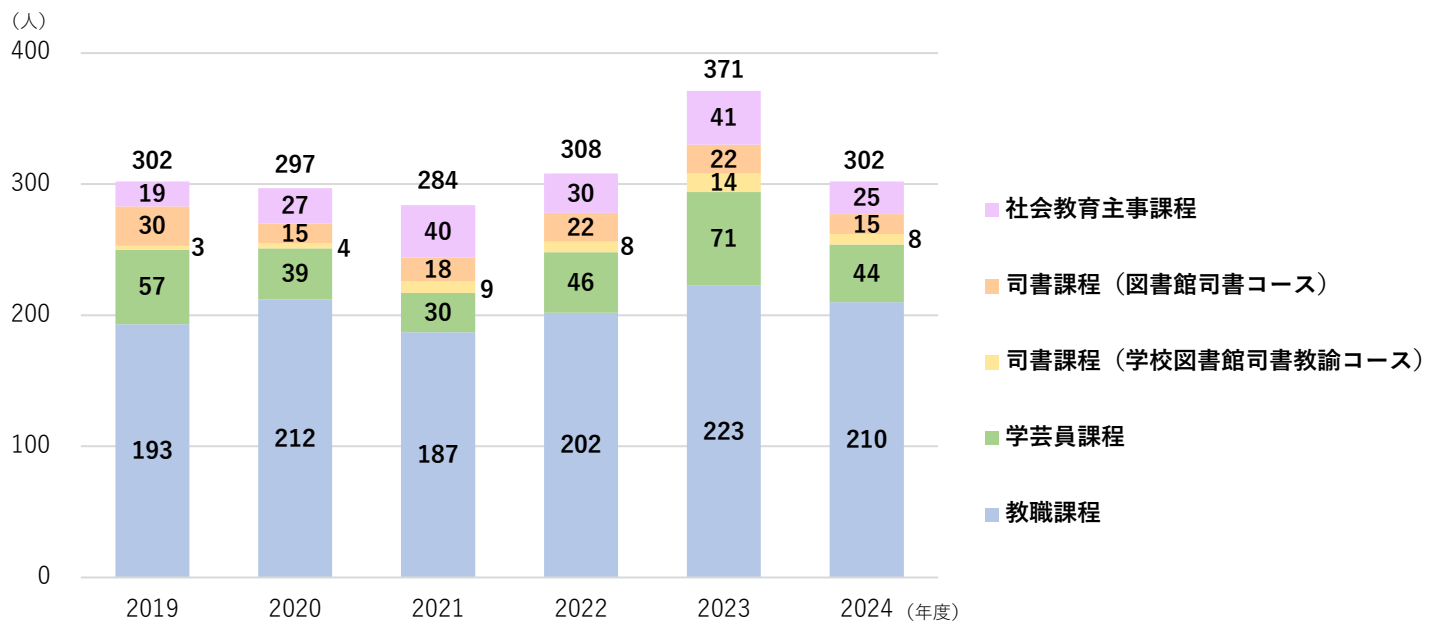
TOPICS

2002 年以降の新設・改組

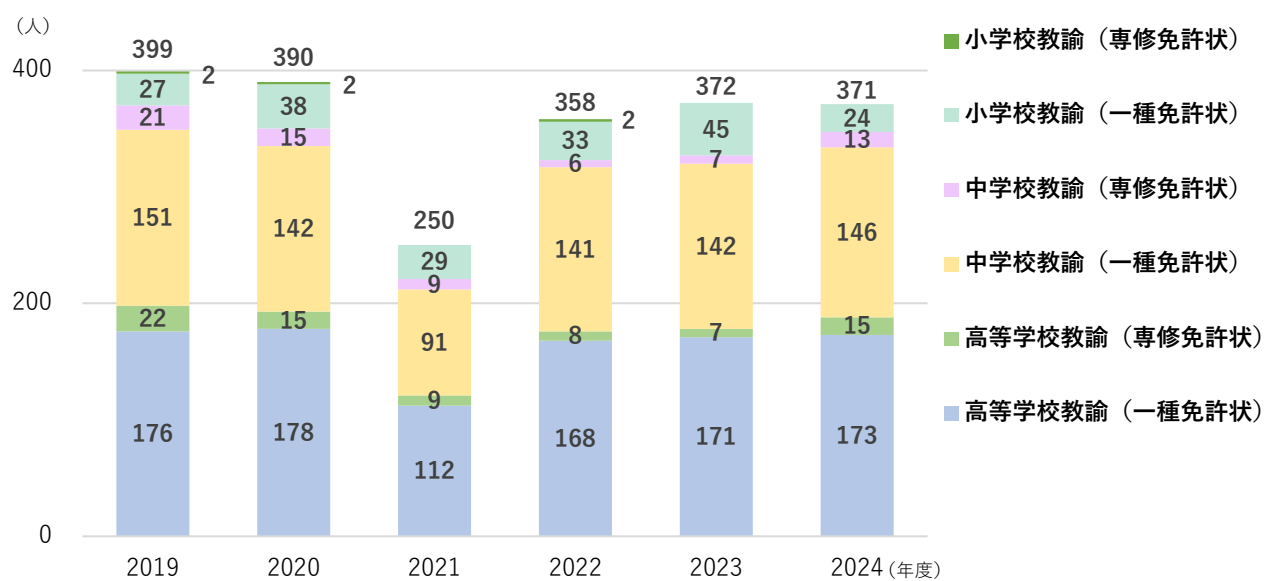
西暦	新設・改組の状況（学部）
2002年	経済学部会計ファイナンス学科を設置
	理学部に生命理学科を設置
	社会学部に現代文化学科を設置
2006年	経営学部（経営学科、国際経営学科）を設置
	現代心理学部（心理学科、映像身体学科）を設置
	文学部をキリスト教学科、文学科、教育学科、史学科に改組
	経済学部を経済政策学科、社会学部にメディア社会学科を設置
	観光学部を交流文化学科を設置
	コミュニティ福祉学部を福祉学科、コミュニティ政策学科を設置
2007年	法学部の国際・比較法学科を国際ビジネス法学科に名称変更
2008年	異文化コミュニケーション学部（異文化コミュニケーション学科）を設置
	コミュニティ福祉学部をスポーツウエルネス学科を設置
2017年	グローバル・リベラルアーツ・プログラム（GLAP）を設置
2023年	スポーツウエルネス学部を設置

西暦	新設・改組の状況（大学院）
2002年	ビジネスデザイン研究科、21世紀社会デザイン研究科、異文化コミュニケーション研究科を設置
2009年	キリスト教学研究科を設置
2020年	人工知能科学研究科を設置
2023年	スポーツウエルネス学研究科を設置
2024年	21世紀社会デザイン研究科を社会デザイン研究科に名称変更

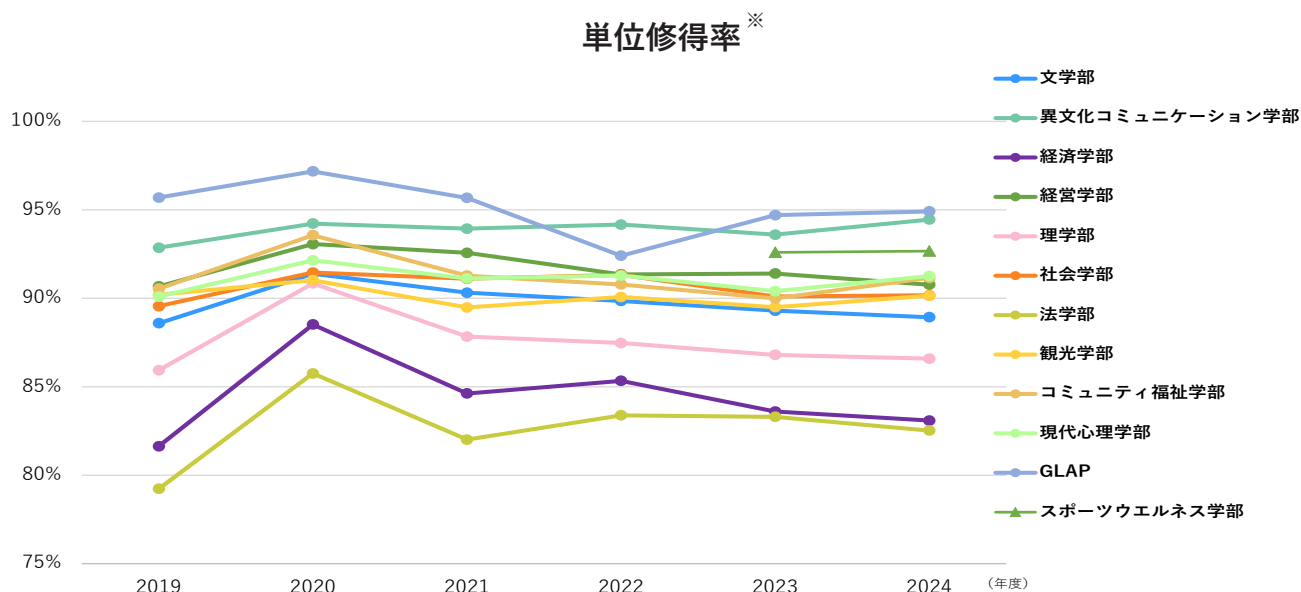
教職・学芸員・図書館司書・社会教育主事課程修了者数



教育職員免許状取得者数



4. 単位修得率

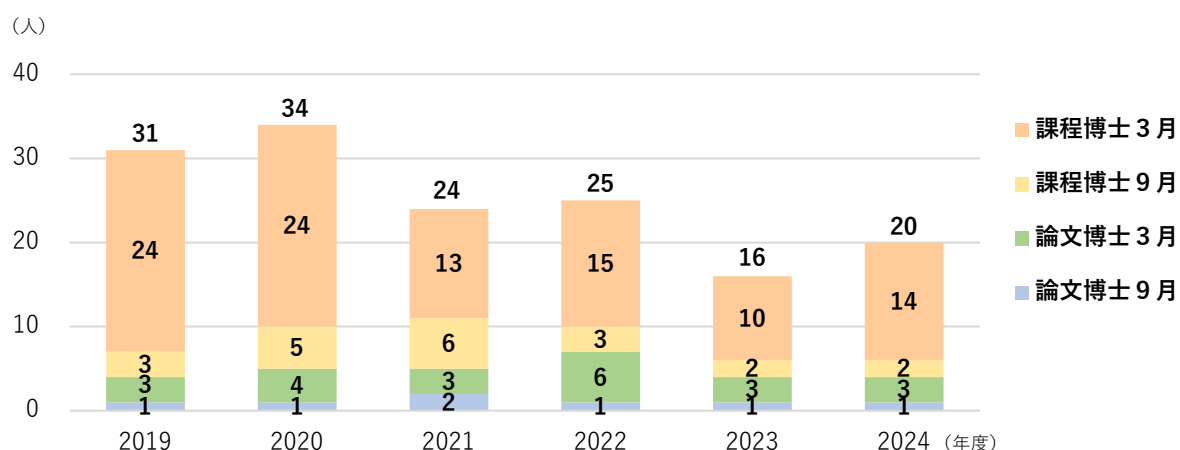


単位修得率 (学部別)						
学部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
文学部	88.6%	91.4%	90.3%	89.9%	89.3%	88.9%
異文化コミュニケーション学部	92.9%	94.2%	93.9%	94.2%	93.6%	94.5%
経済学部	81.6%	88.5%	84.6%	85.3%	83.6%	83.1%
経営学部	90.7%	93.1%	92.6%	91.4%	91.4%	90.8%
理学部	85.9%	90.8%	87.8%	87.5%	86.8%	86.6%
社会学部	89.6%	91.5%	91.1%	91.3%	90.1%	90.2%
法学部	79.2%	85.8%	82.0%	83.4%	83.3%	82.5%
観光学部	90.2%	91.0%	89.5%	90.1%	89.5%	90.2%
コミュニティ福祉学部	90.5%	93.6%	91.3%	90.8%	90.0%	91.2%
現代心理学部	90.1%	92.1%	91.1%	91.3%	90.4%	91.3%
GLAP	95.7%	97.2%	95.7%	92.4%	94.7%	94.9%
スポーツウェルネス学部					92.6%	92.7%

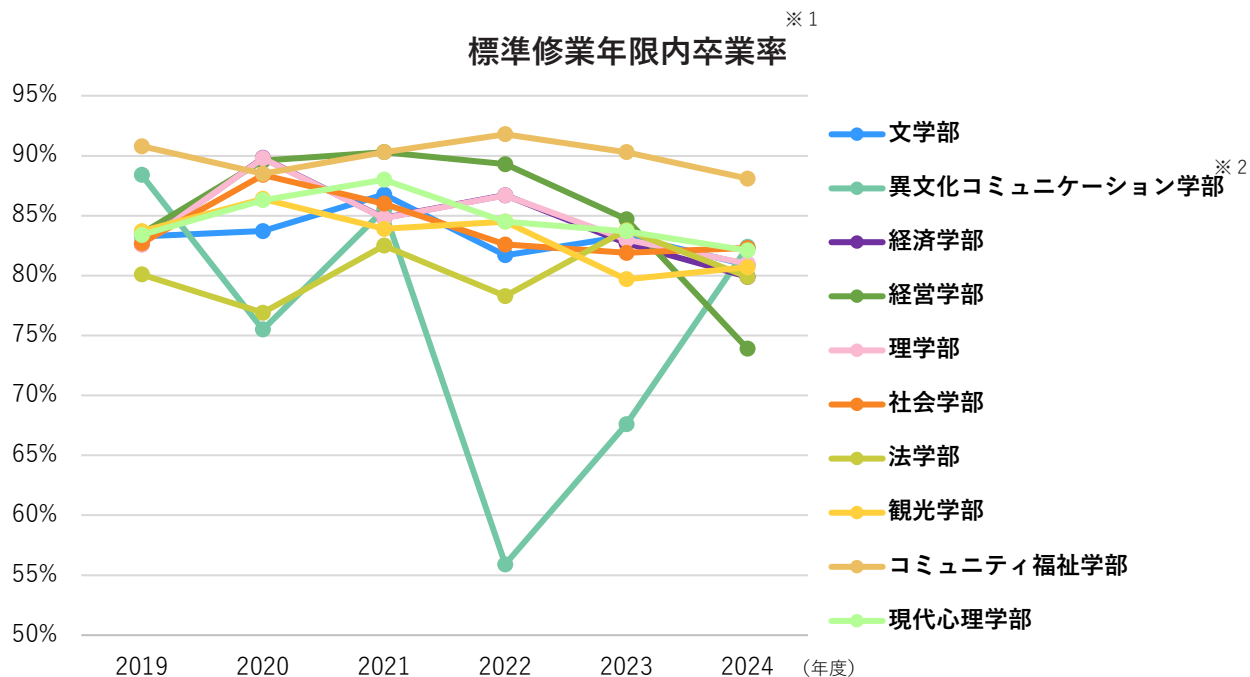
※単位修得率は、「修得単位数÷全単位数（履修中止科目の単位数や、休学・退学等により科目から離れた学生の単位数は含まない）」で算出しています。

5. 博士学位

博士学位授与数



6. 標準修業年限内卒業率



※ 1：1 年次から同一学部・学科・専修に在学する者の標準修業年限は 4 年です。

標準修業年限内卒業率は、「標準修業年限内卒業者 ÷ 4 月時入学者数（休学者を含む、退学者を除く）」で算出しています。

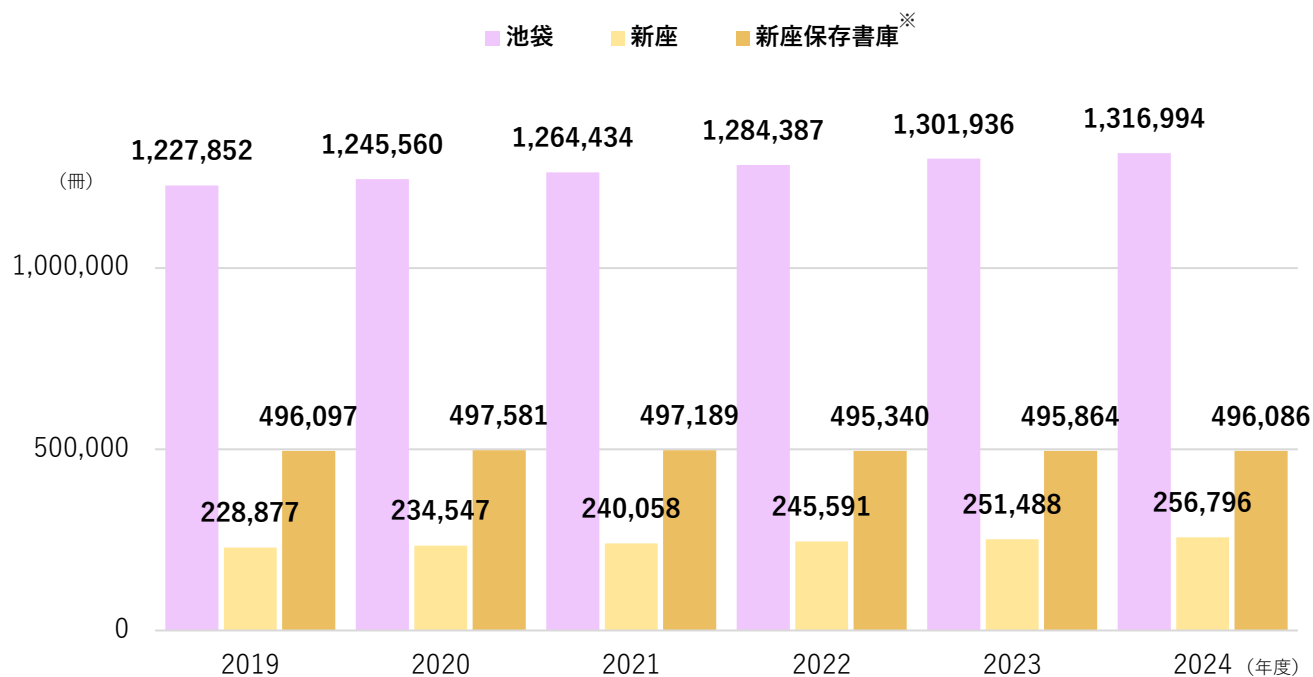
※ 2：2022 年度、2023 年度の異文化コミュニケーション学部の標準修業年限内卒業率は、COVID-19 による渡航制限後の留学を理由とした休学者・留年者の増加により、過年度より低い数値となっています。

・2019 年 4 月入学者（標準修業年限卒業年：2022 年）143 名のうち、休学したことのある学生は 54 名（38%）です。

・2020 年 4 月入学者（標準修業年限卒業年：2023 年）148 名のうち、休学したことのある学生は 39 名（26%）です。

7. 図書館

蔵書冊数

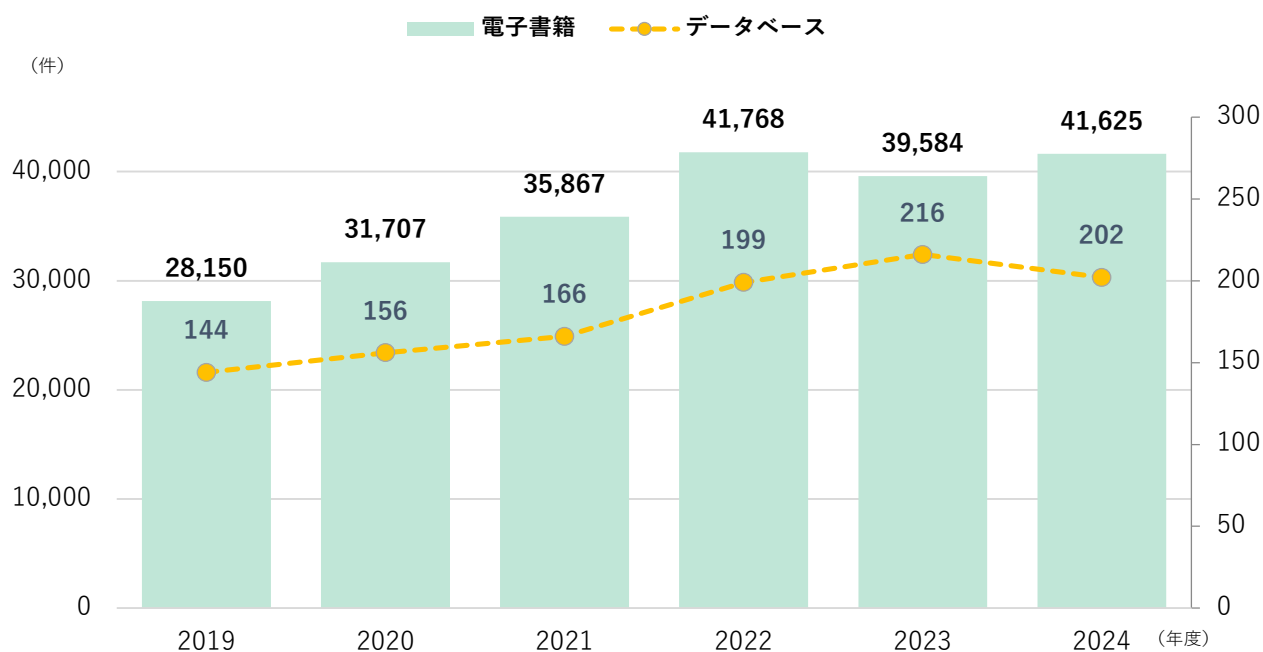


※新座保存書庫・・・資料の保存を目的に建てられた施設。

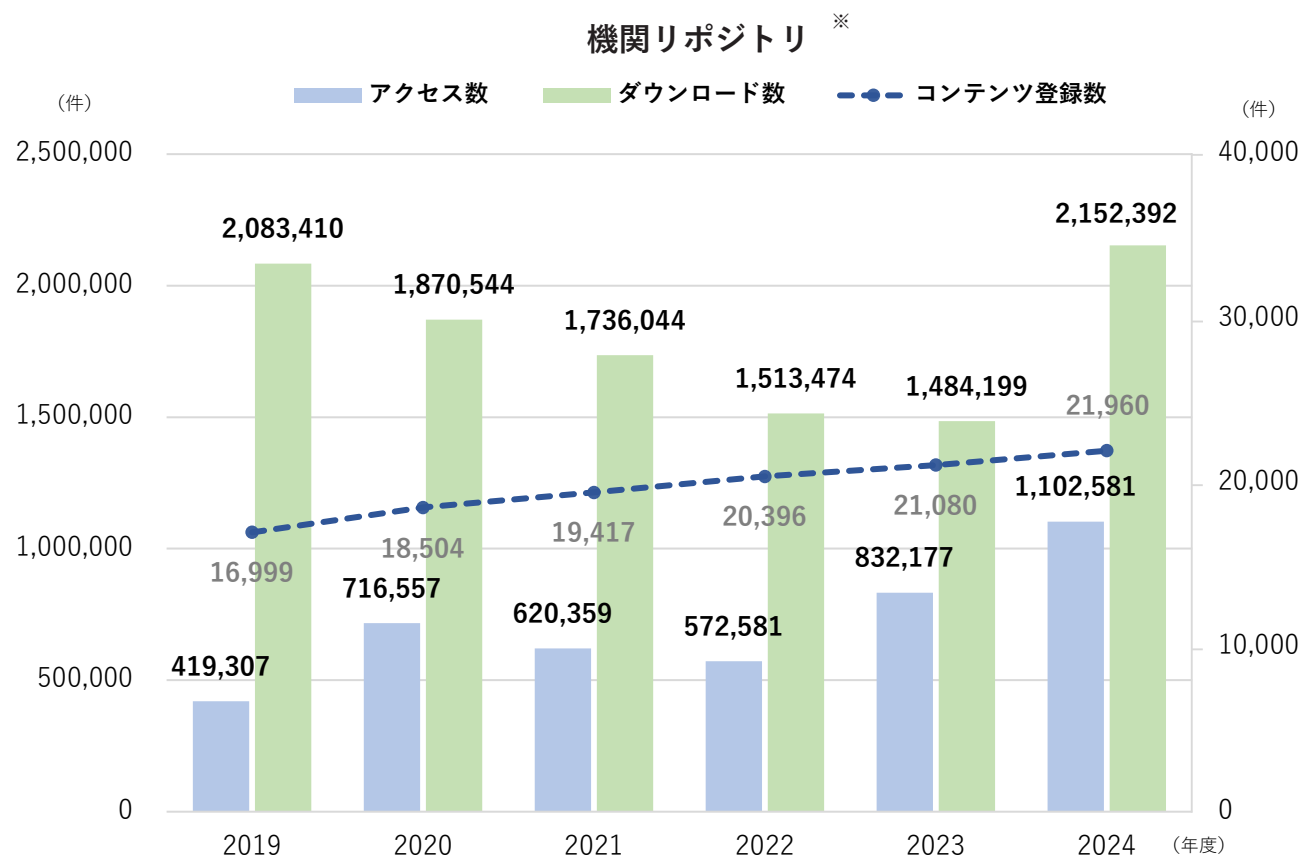
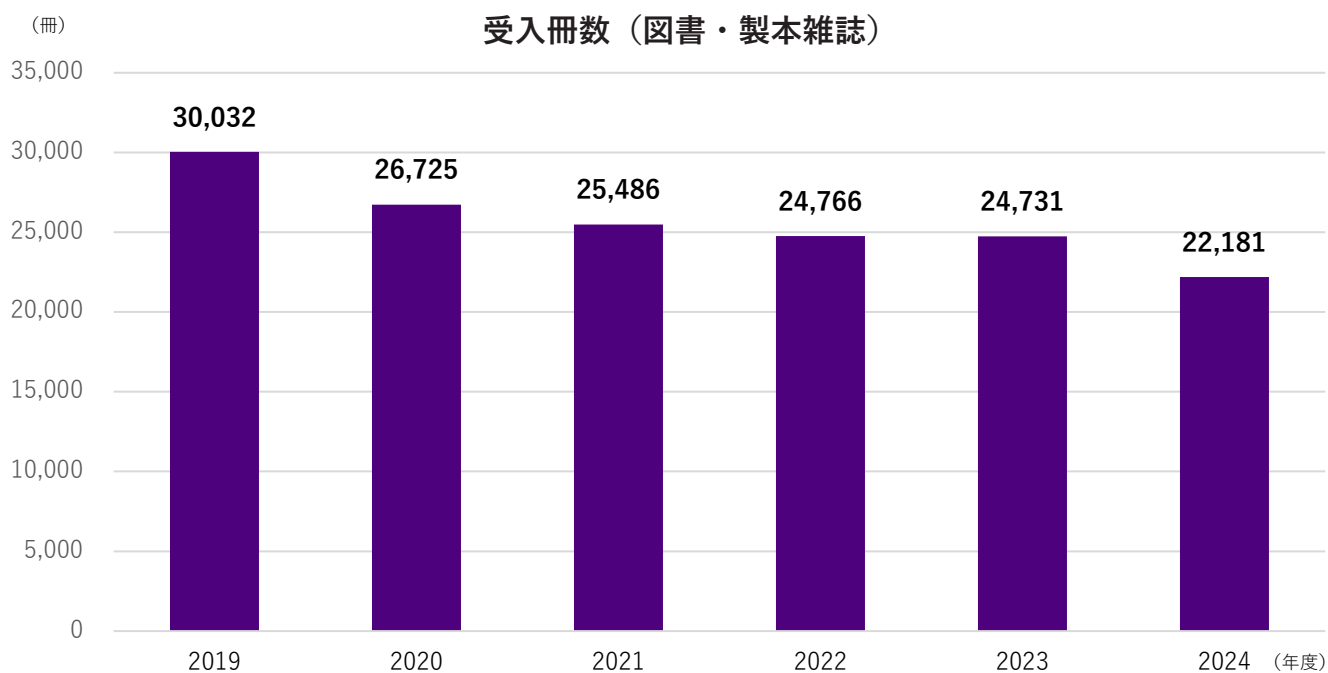
大学創設当時の貴重な資料や、特別コレクション、刊行年代の古い資料などが所蔵されています。

原則として来館利用はできませんが、一部の資料を除き池袋・新座の各図書館へ取り寄せて利用できます。

電子リソース



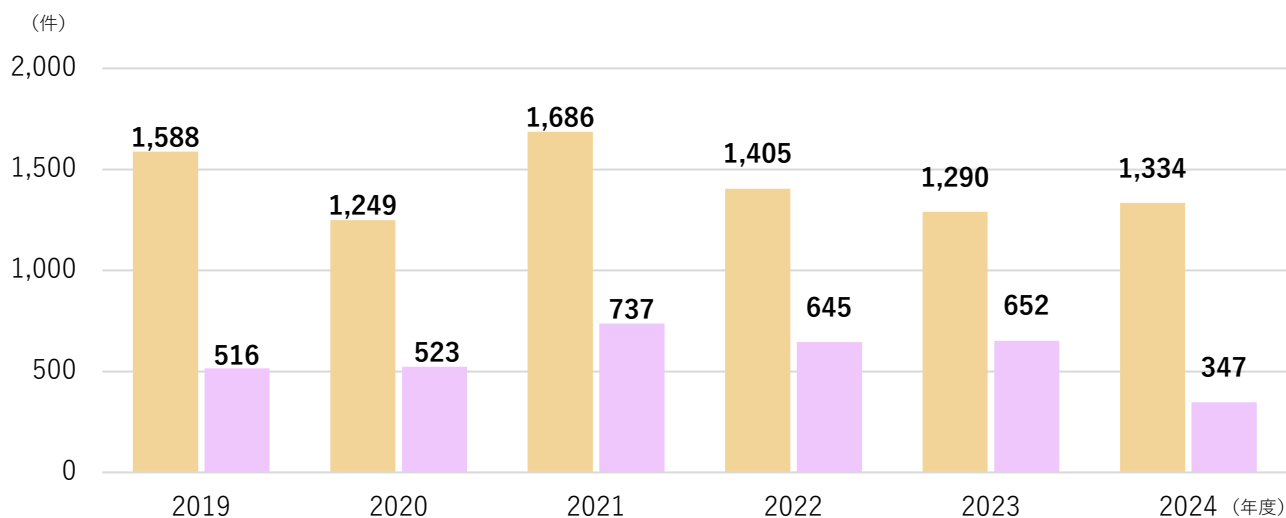
※オープンアクセス化等の変動要素があるため、2024年度からは、電子ジャーナルの件数は掲載しないこととしました。



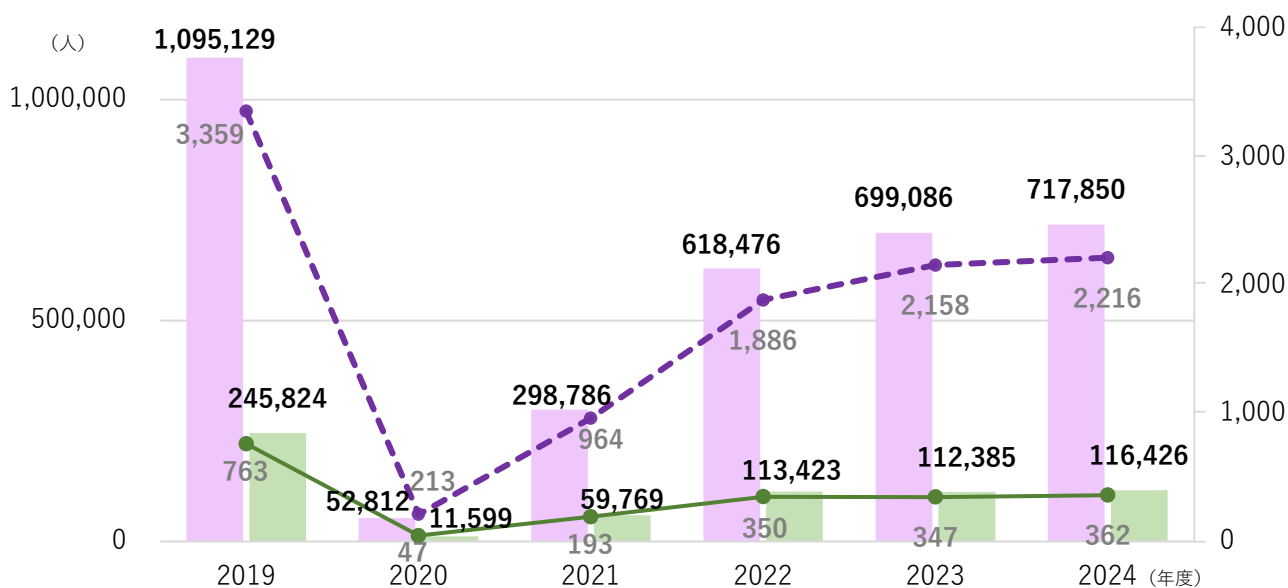
※機関リポジトリ・・・大学や研究機関がその所属研究者の知的生産物（論文等）を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステム

文献複写（提供・取寄）

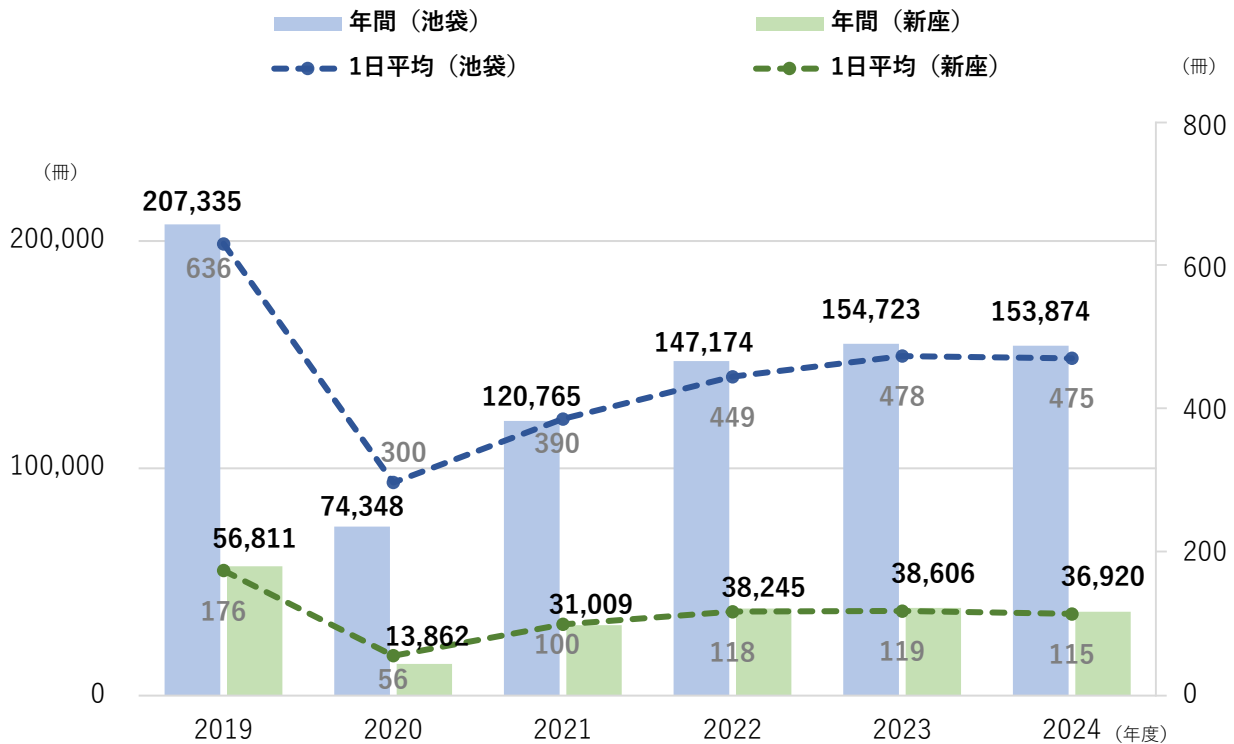
提供 取寄



入館者数（年間・1日平均）

年間（池袋） 年間（新座）
1日平均（池袋） 1日平均（新座）

貸出冊数（年間・1日平均）



利用者スペース面積・座席数

キャンパス	利用者スペース面積	閲覧座席数	自由に会話できる開放スペース
池袋	10,872㎡	1,538席	96席
新座	2,496㎡	477席	66席
合計	13,368㎡	2,015席	162席

グループ学習室 部屋数・座席数

キャンパス	部屋数	席数
池袋	8室	110席
新座	4室	44席
合計	12室	154席

協定大学図書館の利用

山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム	青山学院大学	東洋大学
	学習院大学	法政大学
	國學院大學	明治大学
	専修大学	明治学院大学
学習院大学閲覧協定		
埼玉大学図書館相互利用協定		
同志社大学図書館相互利用協定（2025年4月1日～）		
SALA埼玉県大学・短期大学図書館協議会（加盟機関45館 ※新座図書館のみ）		

大学図書館間での各種協定により、紹介状なく学生証・勤務員証の提示で各大学図書館の相互利用が可能となっています。

TOPICS

立教大学の図書館

総合学習および研究図書館としての支援機能と幅広い蔵書・資料を有し、年間 320 日を超える開館日数で夜間まで利用可能な図書館環境を池袋・新座両キャンパスに整備しています。静寂かつ広々としたスペースに閲覧席や PC 席を十分に備え、学生同士アクティブにグループ学習ができるラーニング・コモンズを設けるなど、学修・教育・研究の多様化するニーズに対応しています。また、従来の来館型サービスのみならず、データベースや電子書籍等の電子リソースの拡充、オンライン相談などリモートでの研究・学修支援も進展し、図書館外どこからでもアクセスできる非来館型の図書館サービス機能も充実しています。

TOPICS
1

アクティブ・ラーニング促進

学生同士の主体的な学び合いを促すため、「グループ学習室」を池袋・新座両図書館に設置しています。周囲を気にせず存分に話し合いができる開放的なエリア（ラーニング・コモンズ）も両図書館に設けています。

TOPICS
2

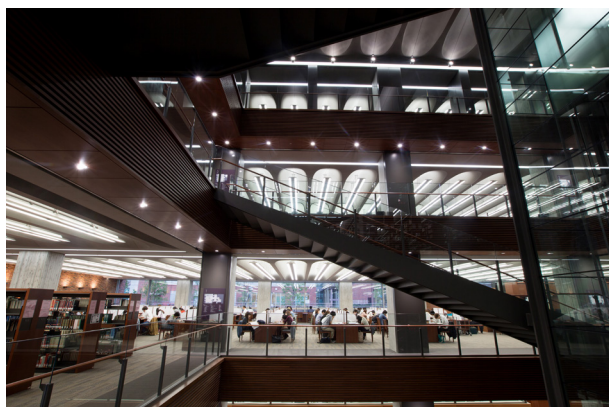
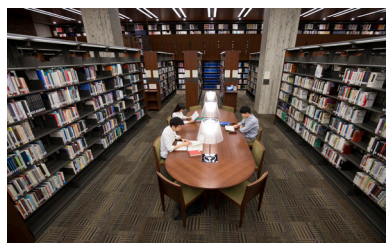
ラーニングアドバイザー

大学院学生が「ラーニングアドバイザー」として、図書館を活用した学修やレポート・論文作成をサポート。池袋・新座両図書館専用カウンターでの対面相談に加え、オンラインでの相談により、学生の学修や研究に役立つアドバイスをを行っています。また、「レポート作成セミナー」「語りの時間」の開催やおすすめ本紹介などの情報発信を行っています。

TOPICS
3

様々な講座・講習会の開催

図書館の施設や資料・各種リソースを有効活用するための講座・講習会、海外留学や就職活動に役立つ講座を開催し、図書館の視点から、大学生活や将来のキャリアを見据えた活動をサポートしています。



TOPICS

1

環境学部の Vision

2026 年 4 月の開設を目標として、「環境学部」設置準備を進めています。環境学部は、すべての人にとって公正な社会を目指す環境正義の理念にもとづき、環境問題の解決と持続可能な社会への変革に貢献できる「環境リーダー」を育てます。文理の枠を超える幅広い知識と、現実の課題と結びつけて活用できる専門性を身につけながら、その過程で多角的な視点と多様な視座を獲得できるカリキュラムを用意します。また、自らの強みを活かしながら、仲間の力を引き出す全員発揮の立教型リーダーシップを養いつつ、国内外のフィールドで対話と協働の経験を重ねることができる実践的なプログラムをデザインします。

環境正義 (Environmental Justice) とは？

人々の暮らしやあらゆる生命にさまざまな悪影響を及ぼす気候変動や公害などの環境問題について、特に社会的、経済的に弱い立場におかれている人がより深刻な被害を受けやすいことを認識し、公正な社会と環境の保全をともに実現することが必要だとする考え方です。

TOPICS

2

養成する人間像

1

環境に関する基礎知識を自然科学・社会科学・人文科学の観点から幅広く身につけ、現実の課題と結びつけながら理解できる。

2

自然環境を科学的にとらえ、社会経済システムに関わる技術と学識をそれぞれの立場で活用できる。

3

さまざまな関係者や異なる分野の専門家を対話を通じてつなぎ、協働の関係を構築しながら、地域社会および国際社会に貢献できる。

4

"Environmental Justice"(環境正義)の概念を理解し、環境問題の解決とサステナブル社会への変革のために行動できる。

TOPICS

3

新研究室棟の建設

池袋キャンパスでは、新研究室棟（仮称）の建設を進めています。2025 年 3 月 28 日には、起工式が執り行われました。

2026 年 4 月から利用開始予定である新研究室棟（仮称）は、「環境学部」のシンボルとして、木造木質化や ZEB（※）化によって、省エネルギーを推進した自然環境に配慮した建物であり、環境問題の解決と持続可能な社会への変革に貢献できる新しい「環境リーダー」育成の拠点となります。

※ Net Zero Energy Building の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。



南東外観イメージ。奥には建設予定の新ミッチェル館（仮称）が並ぶ

TOPICS

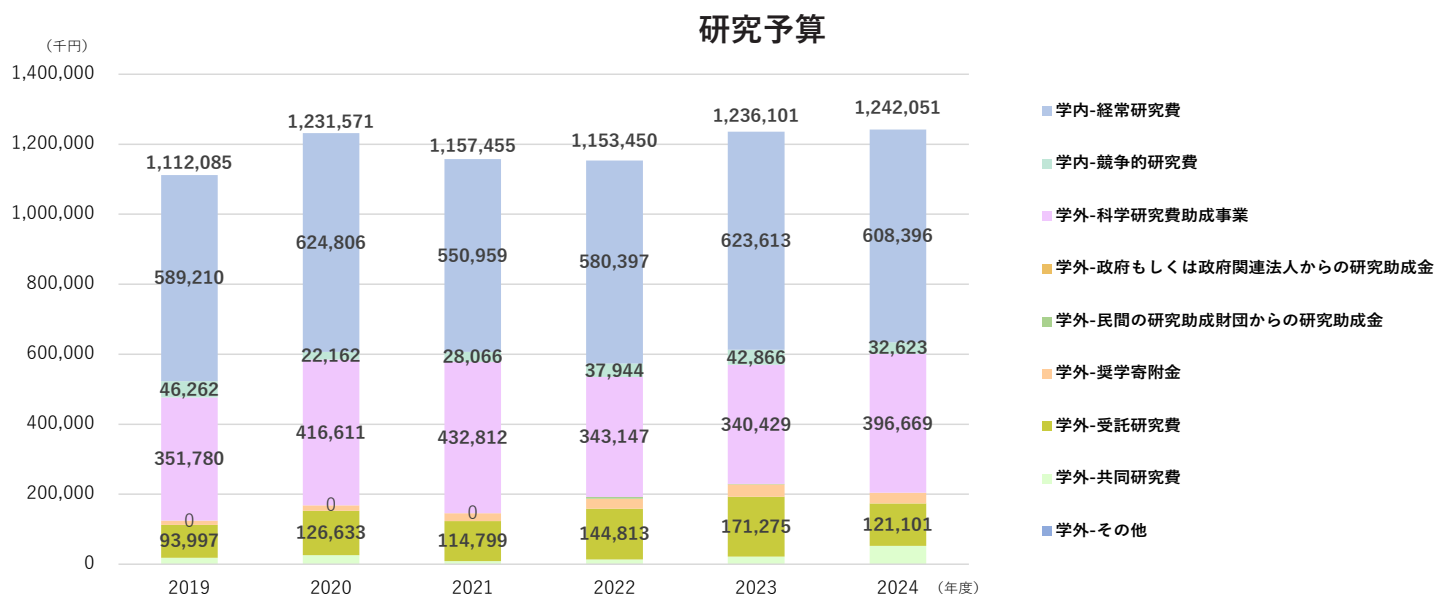
4

2026 年度 4 月の開設にむけてー 2023 ～ 2024 年度の取り組みー

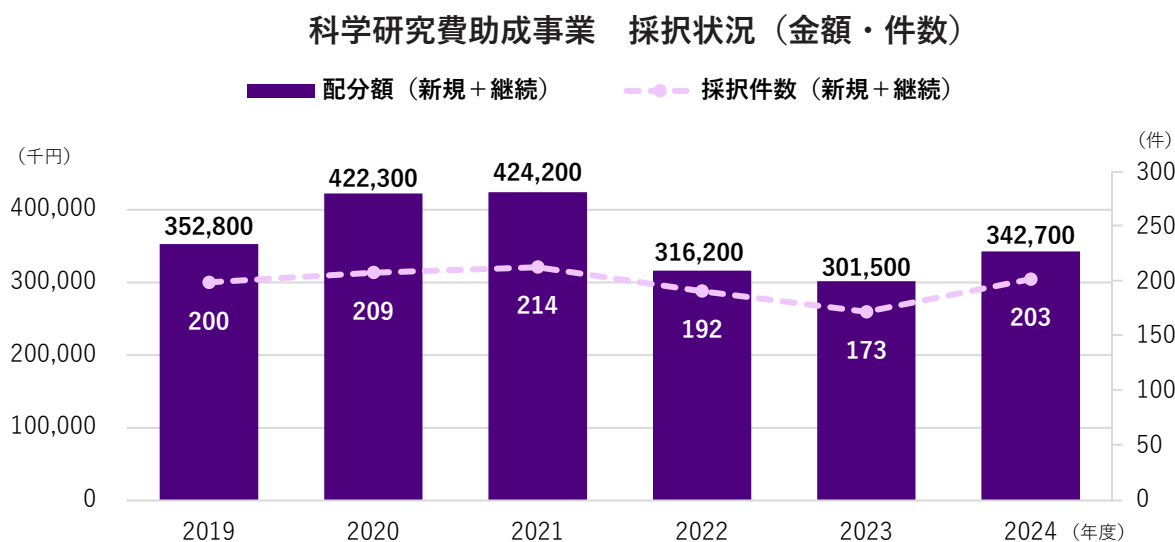
学部構想具体化、文部科学省への事前相談、設置届出書類の作成準備を行うために、環境学部設置準備室を 2023 年度に開設しました。2024 年度は、学部カリキュラムおよび教員配置等の検討を進めてきました。

Ⅱ 研究

1. 研究予算



2. 学外研究費



KEY WORDS

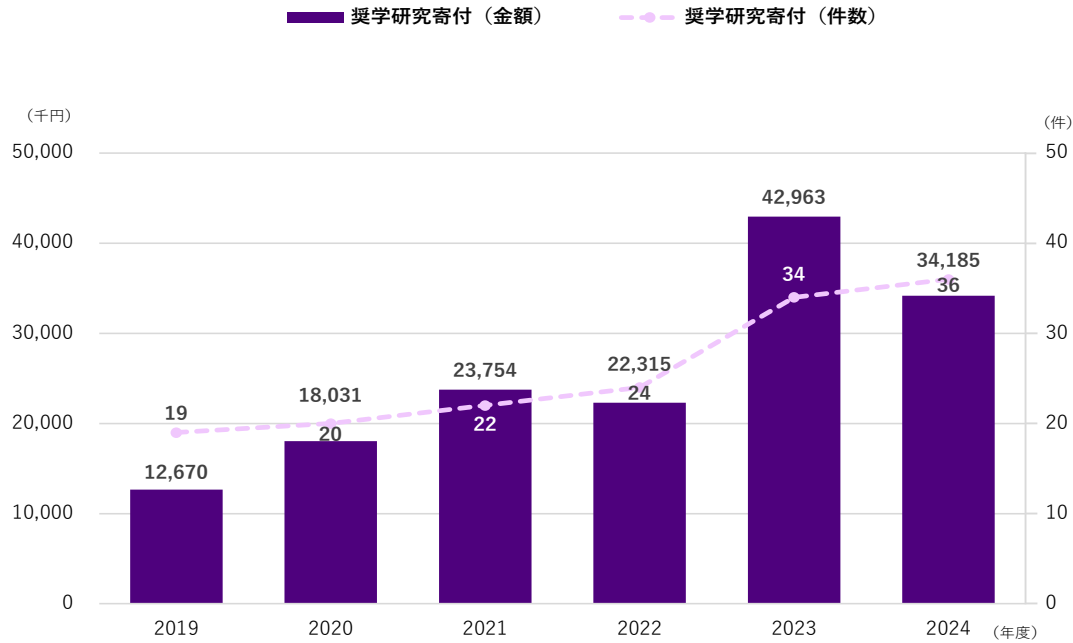
科学研究費助成事業の採択

研究代表者が本学に所属する研究課題の件数と、研究費配分額総額の推移を示しています。

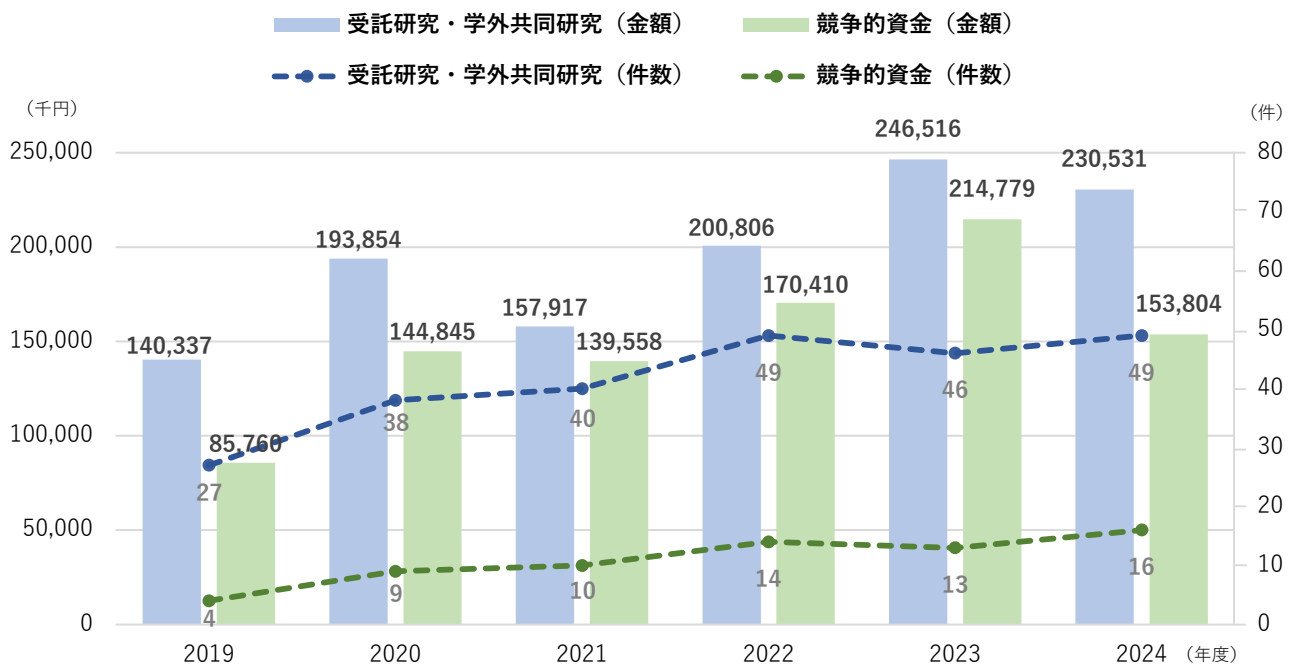
科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。

学外資金の獲得に取り組んできた結果が、採択金額や件数の増加に表れているといえます。

奨学研究寄付 受入状況（金額・件数）



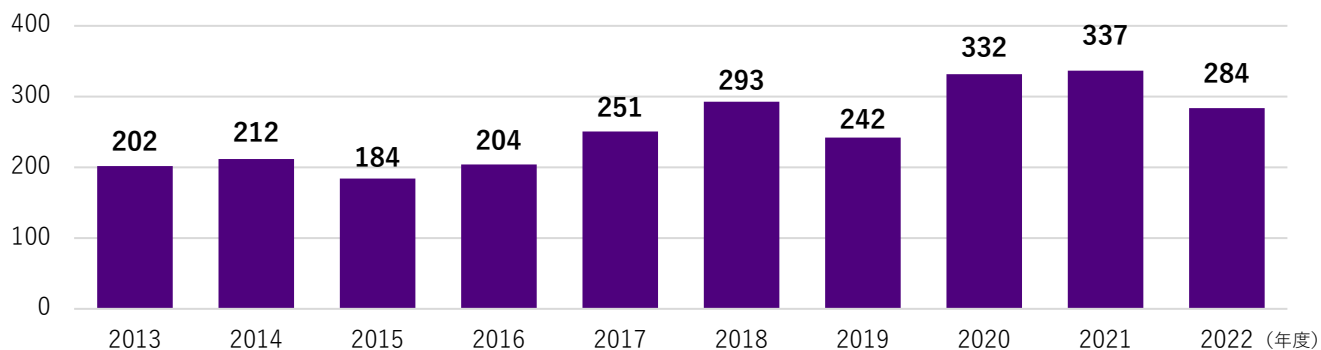
受託研究・学外共同研究 受入状況



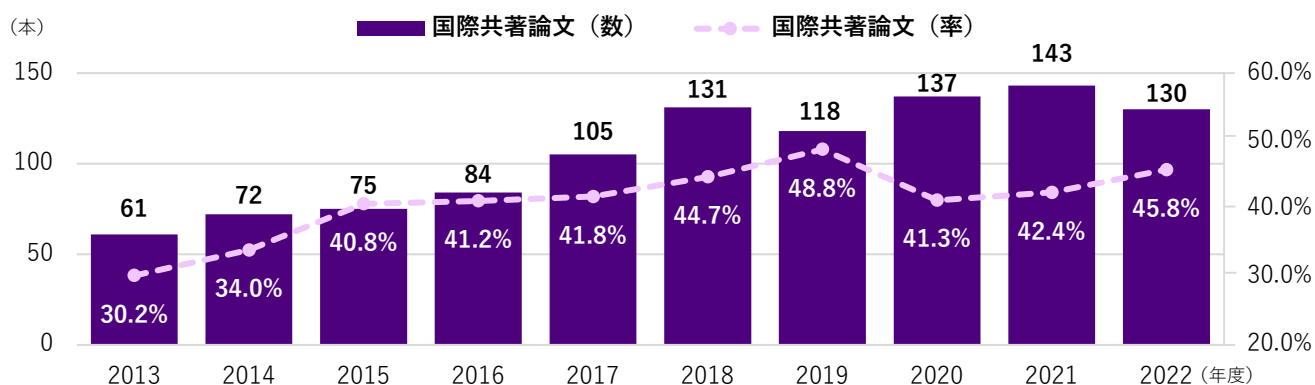
3. 論文

※ ドキュメントタイプ:「Article」「Proceedings Paper」「Review」「Book」「Book Chapter」
※ 十分なデータが反映していると想定される年度 10 年度分を掲載しています。

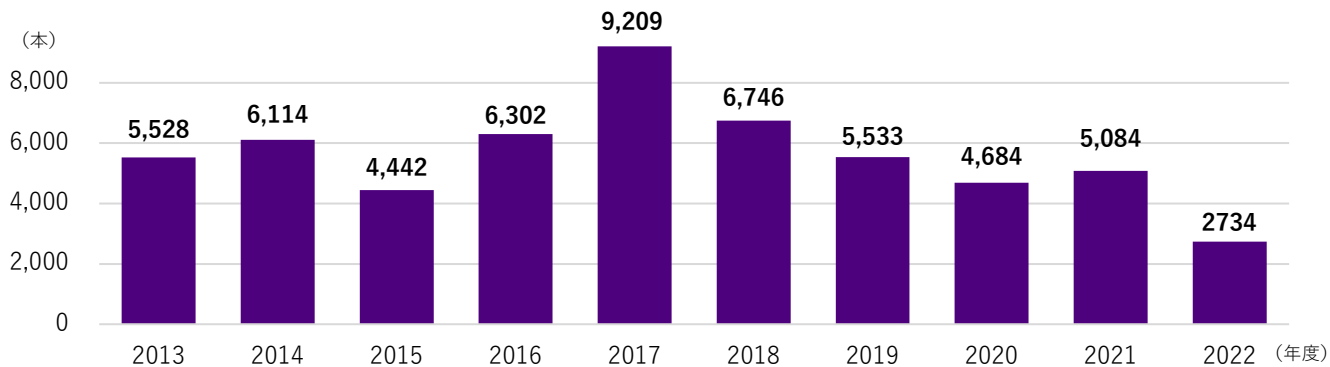
論文発表数



国際共著論文



論文被引用数



KEY WORDS

論文発表数

書誌・引用情報データベースである Web of Science の収録論文。

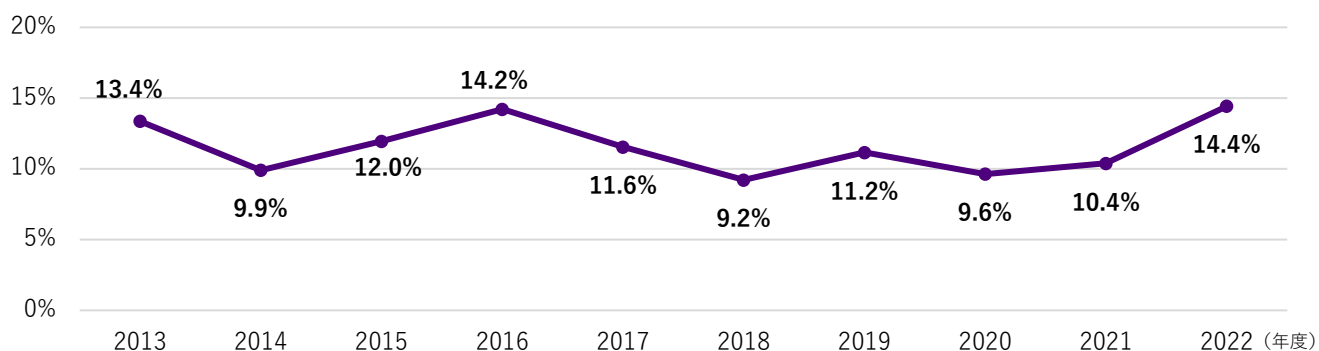
国際共著論文

海外の研究機関に所属する共著者が入っている論文。

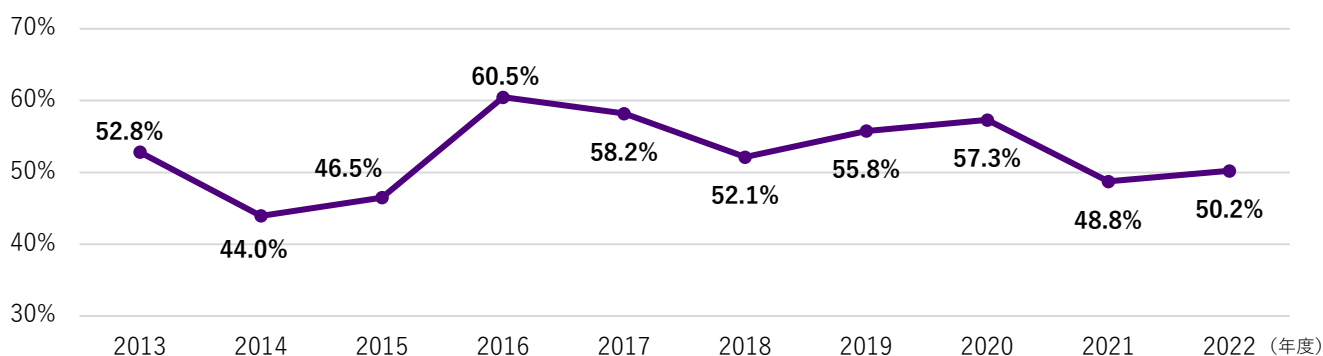
論文被引用数

論文が他の論文に引用された回数を示す数値。

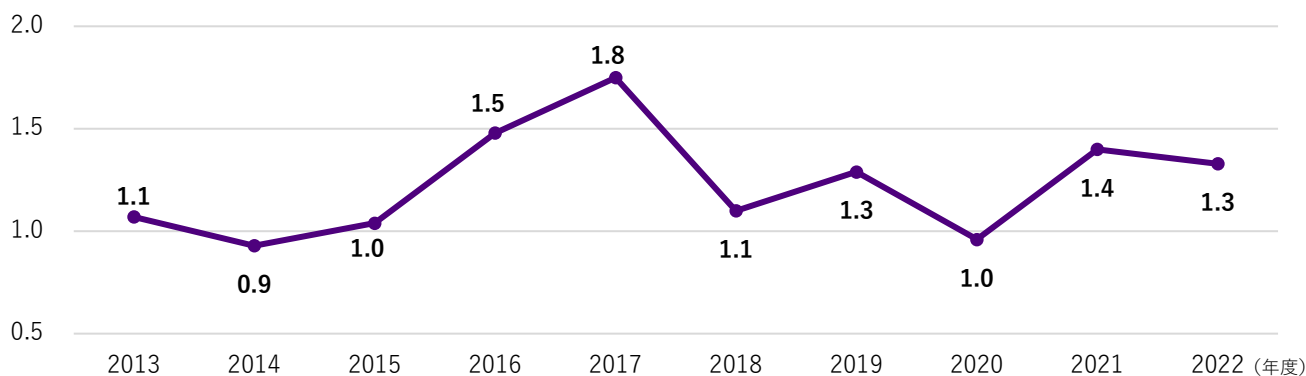
TOP10%論文割合



ジャーナル・インパクトファクター



相対被引用度



KEY WORDS

TOP10%割合

引用数が上位 10 位以内の論文。

ジャーナル・インパクトファクター

雑誌を評価するための尺度で、ある雑誌の X 年のジャーナル・インパクトファクターは、その雑誌に X2 年及び X1 年に掲載された論文が、X 年に引用を受けた平均の回数。このグラフは、ジャーナル・インパクトファクターの上位 25% に入る Q1 雑誌（四分位）割合を示しています。

相対被引用度（CNCI）

同一分野・出版年の論文集合における相対的な平均被引用数。
同一分野・出版年の論文ごとに、世界平均を 1 となるよう算出されている。1 より大きければ「世界平均より上」となる。

TOPICS

立教大学の研究力

立教大学は、大学の社会的使命である「研究」に積極的に取り組み、日々の研究活動の質・量の両面で活性化を図ることで、学術研究の高度化に寄与し、その成果を学内外に還元することを推進しています。

研究力に関する立教の国内大学順位

論文数	118 位
Top10% 論文割合	21 位
国際共著論文率	86 位
高被引用論文数	82 位
ジャーナル・インパクトファクター	9 位
相対被引用度 (CNCI)	13 位

立教大学は、現在国内大学トップクラスの研究を保持しています。研究力の可視化やトレンド把握、また、世界に向けた研究業績をアピールし、研究ブランド力を向上することで、さらなる研究力向上を目指します。

国内大学
トップクラスの
研究力

+

トレンド分析
・
研究ブランド力向上

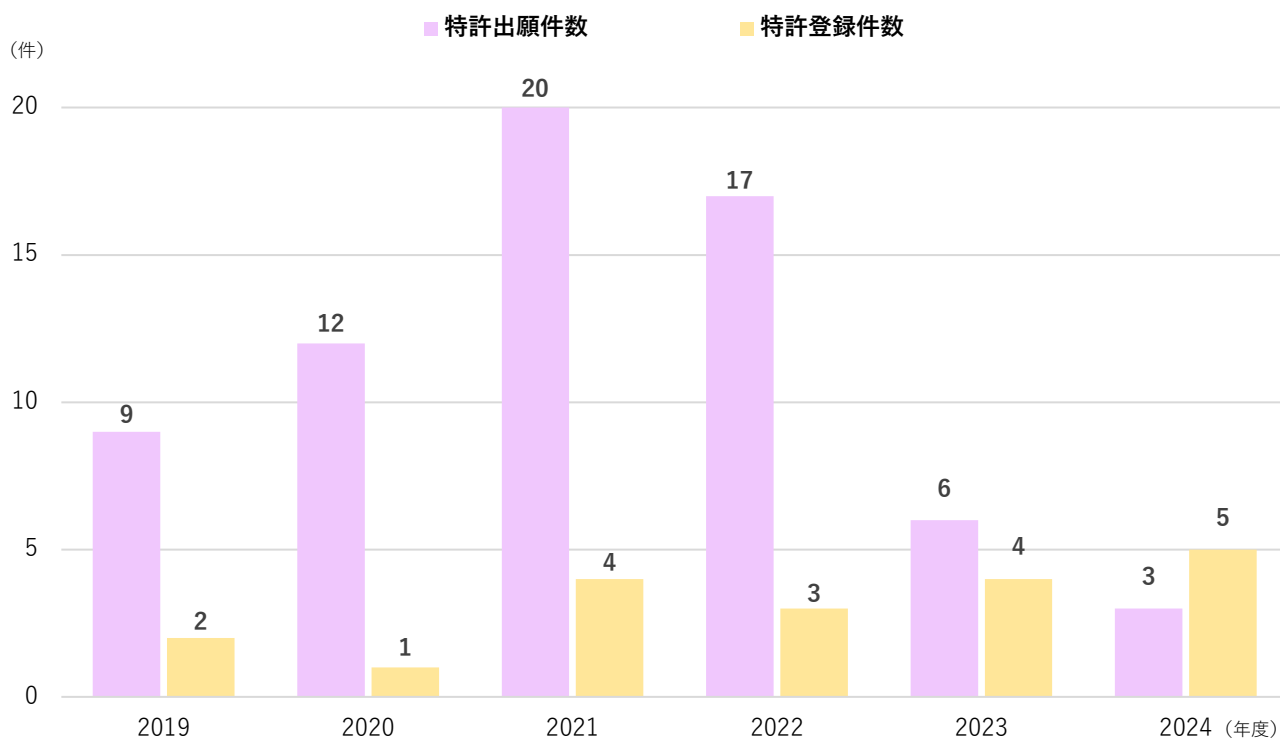
さらなる
研究力向上へ

※データ対象年度：2013～2022年度

※ドキュメントタイプ：「Article」「Proceedings Paper」「Review」「Book」「Book Chapter」 資料：Web of Scinence

4. 知的財産

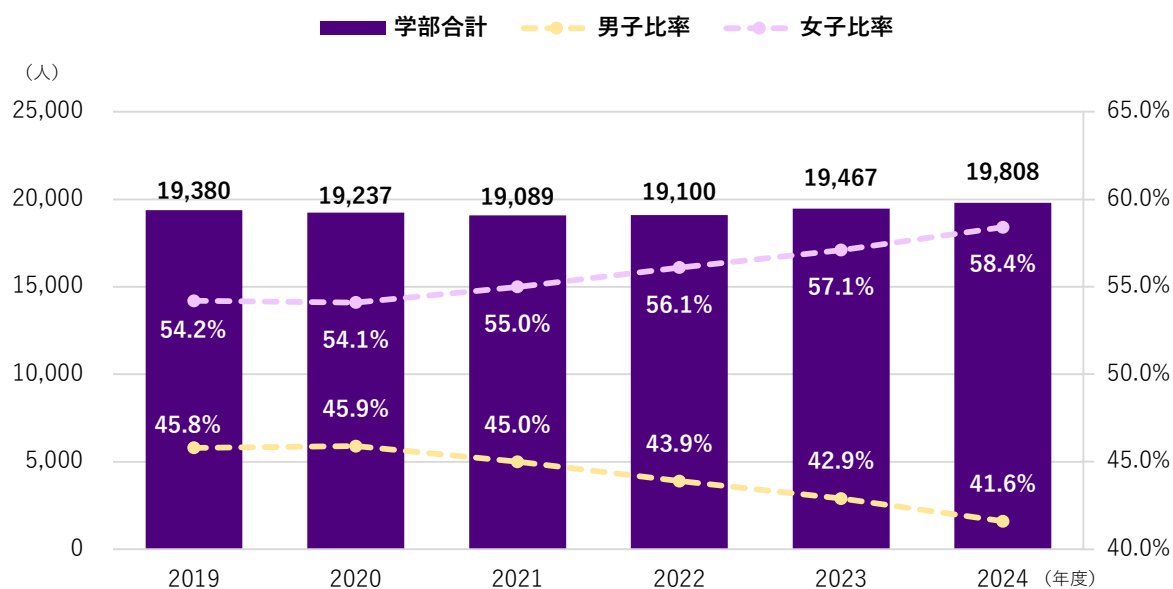
特許出願件数・登録件数



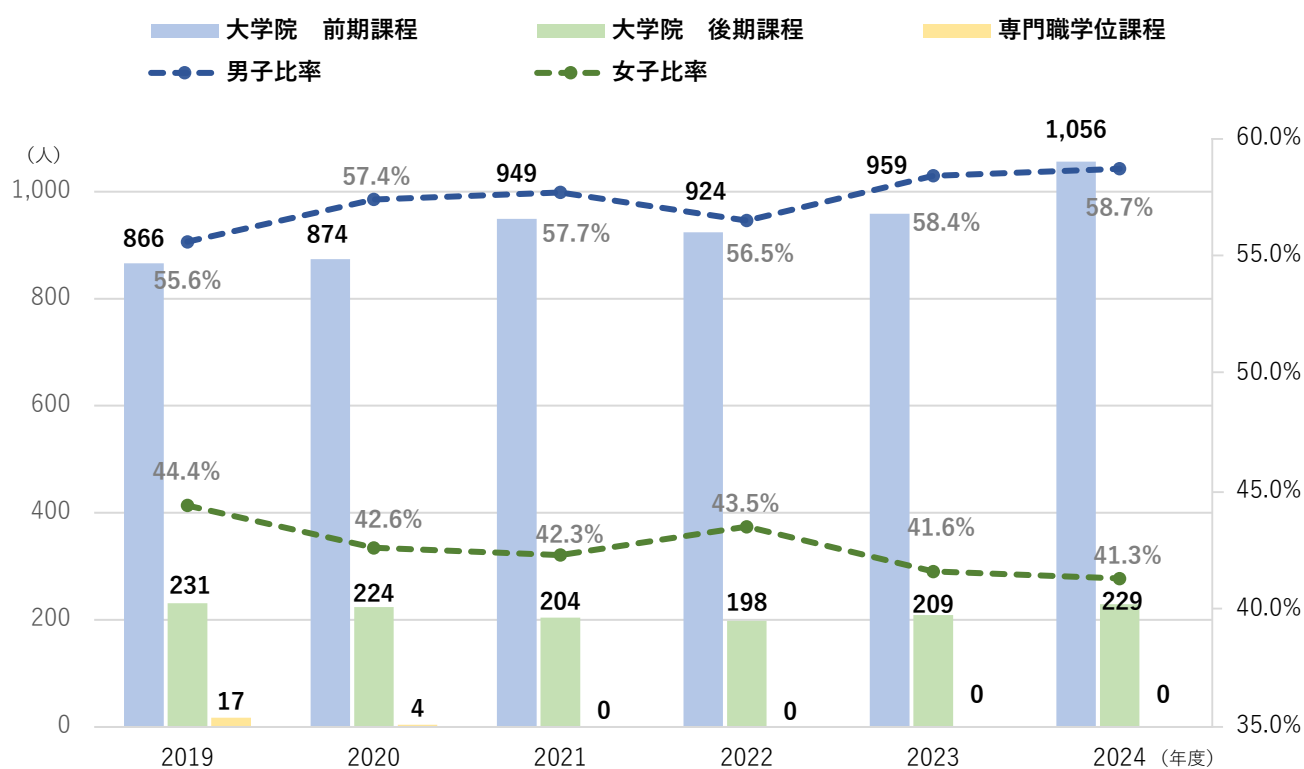
Ⅲ 学生

1. 学生数

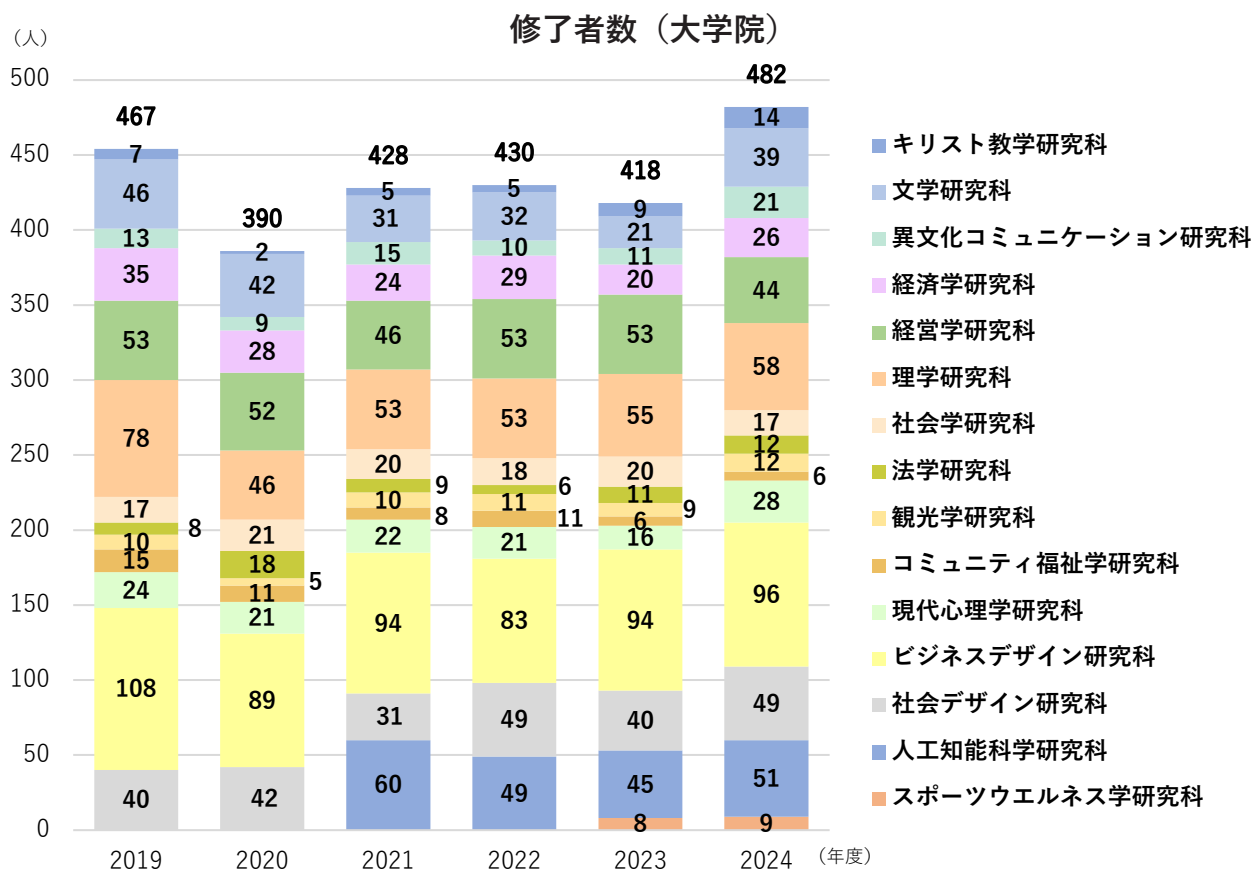
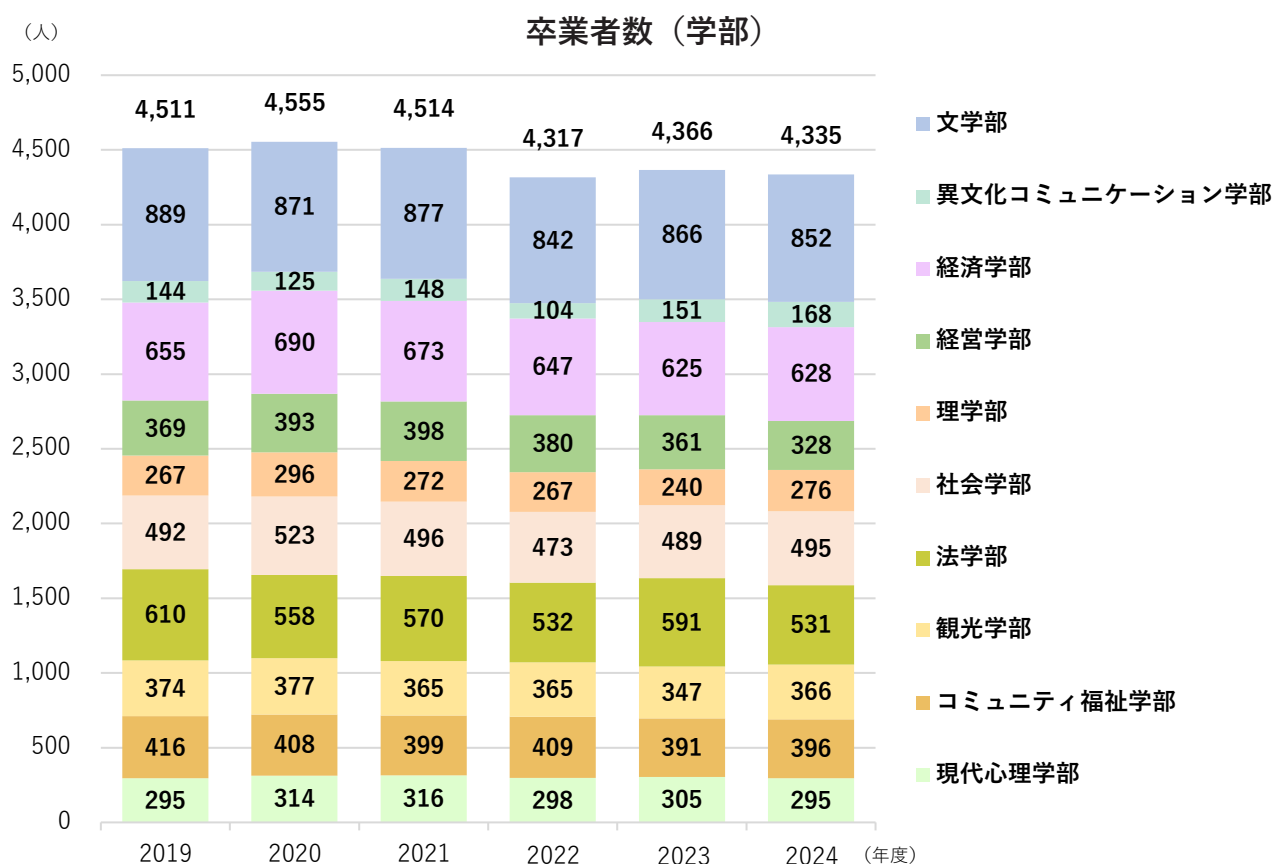
学部 学生数 男女比



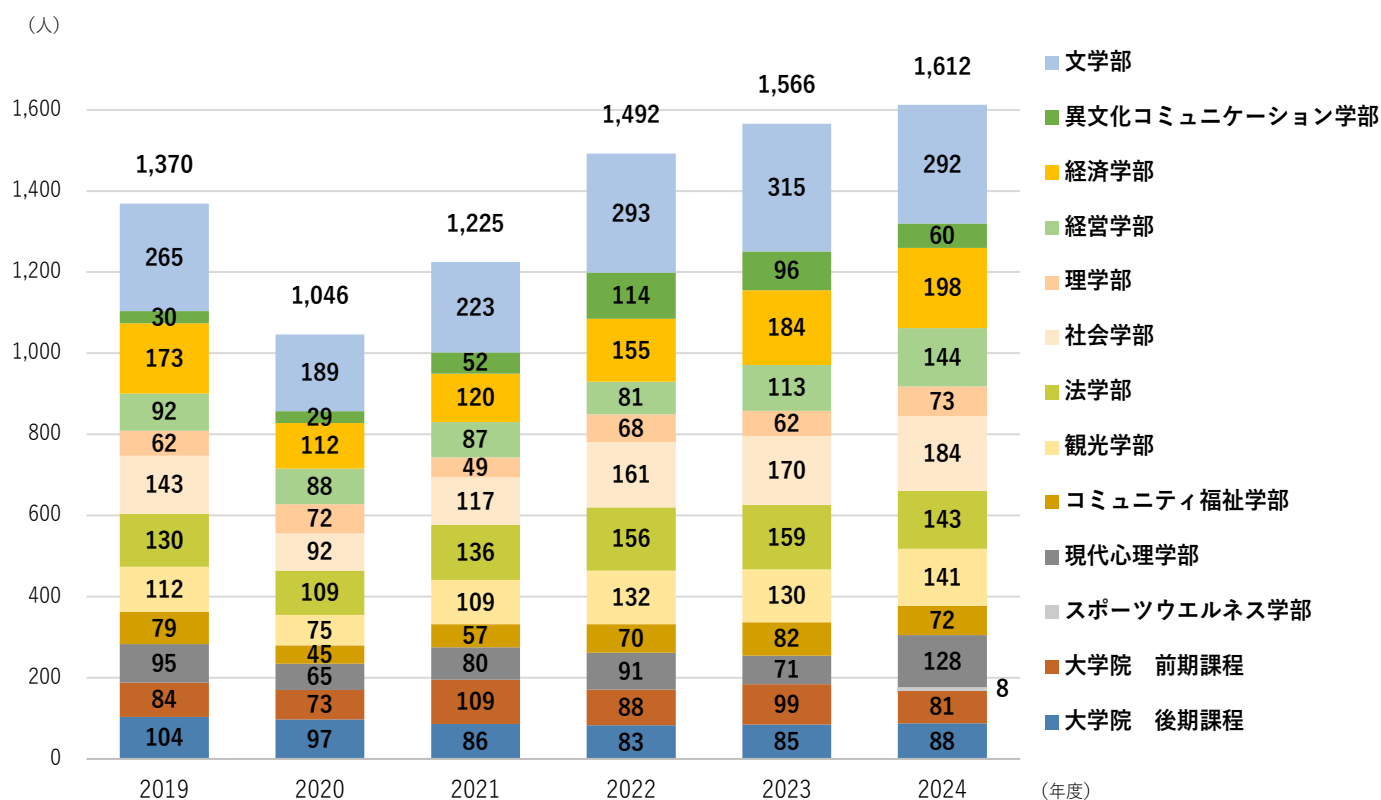
大学院 学生数 男女比



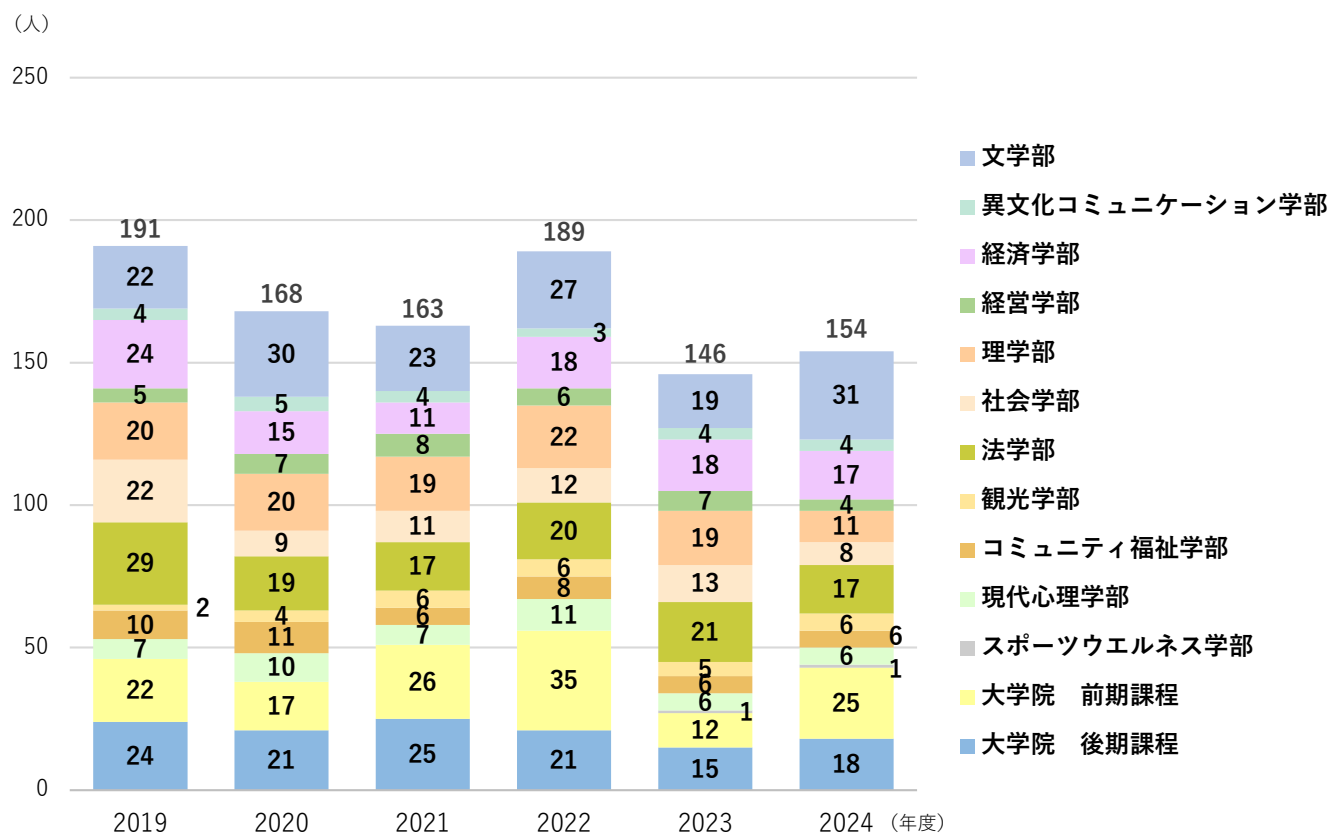
2. 学籍



休学者数

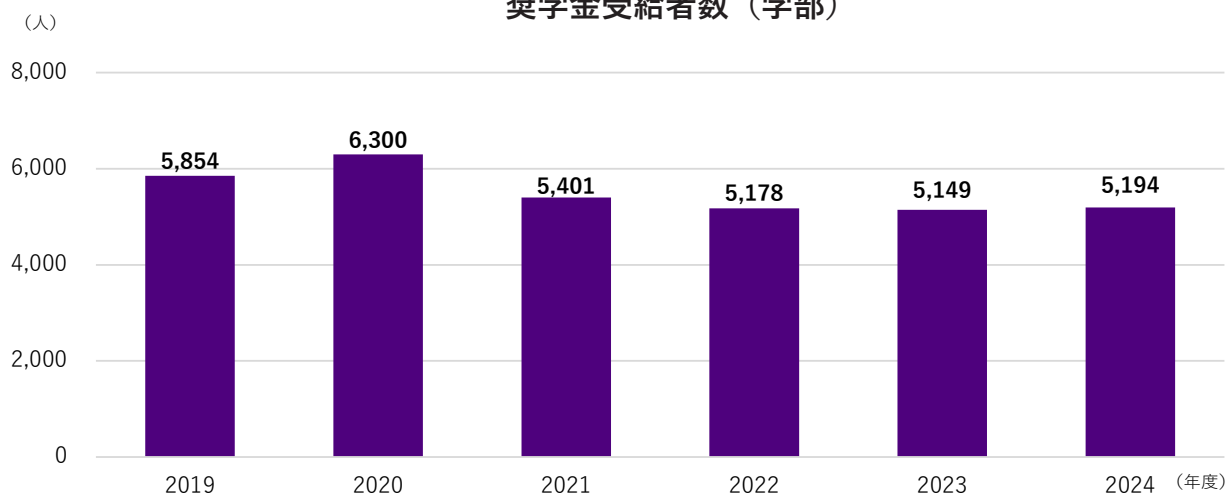


退学者数

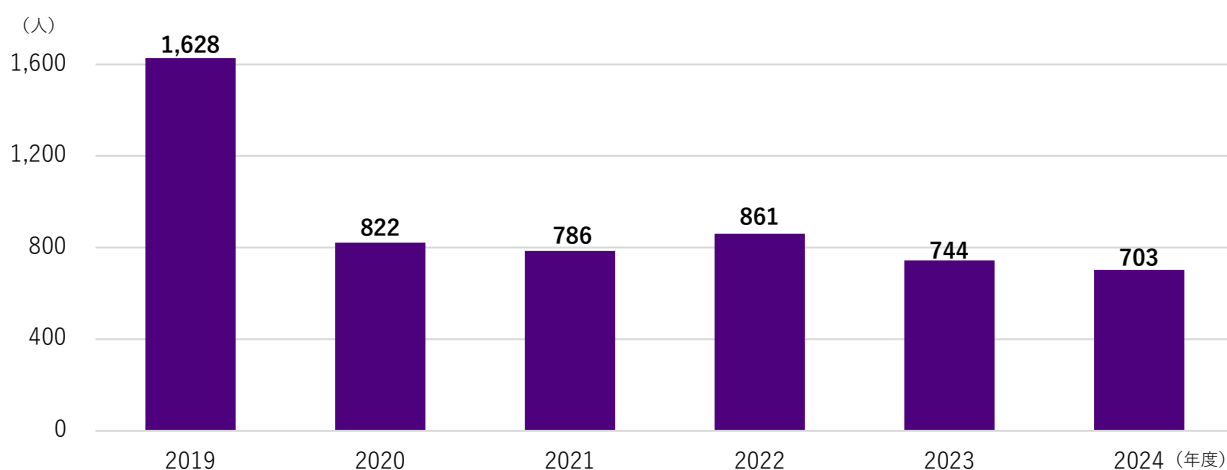


3. 奨学金

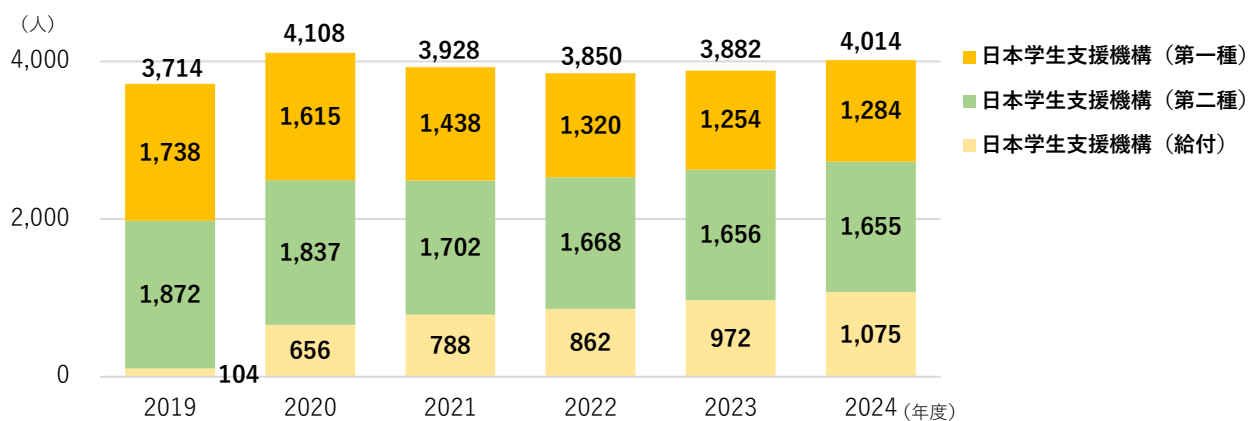
奨学金受給者数（学部）



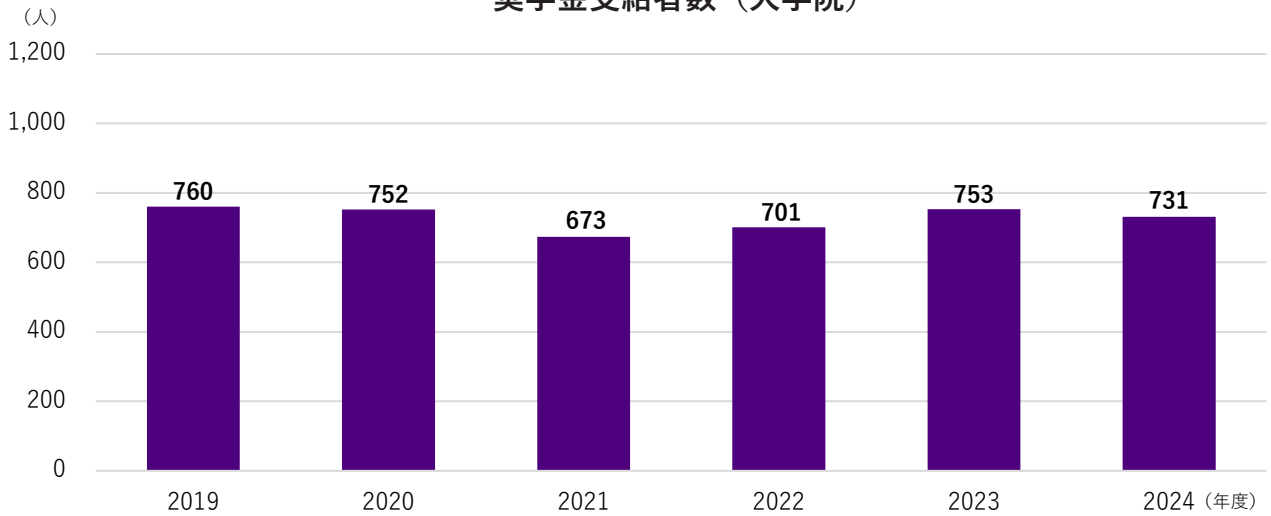
立教大学奨学金受給者数（学部）



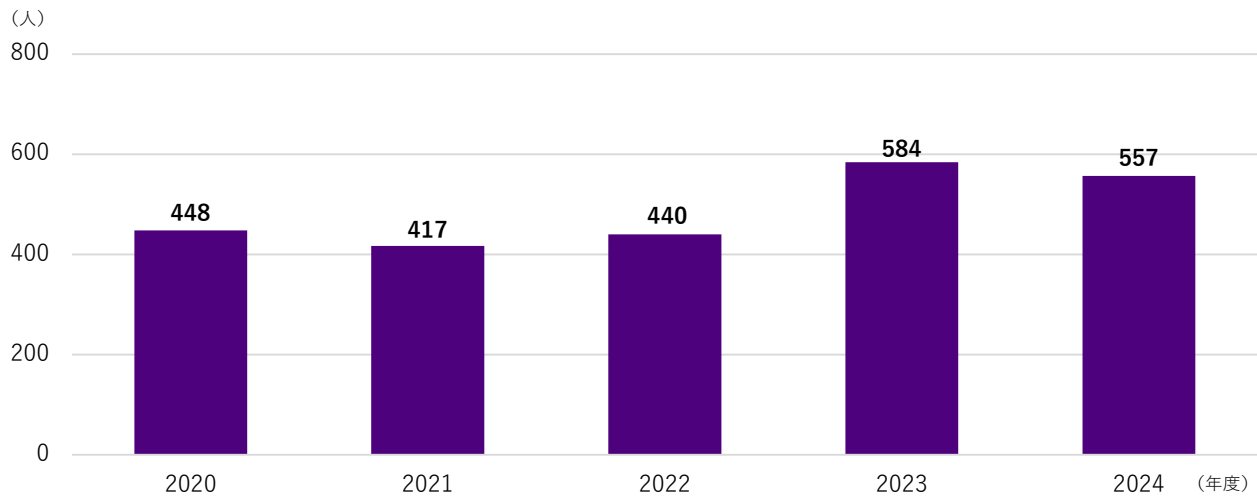
日本学生支援機構奨学金受給者数（学部）



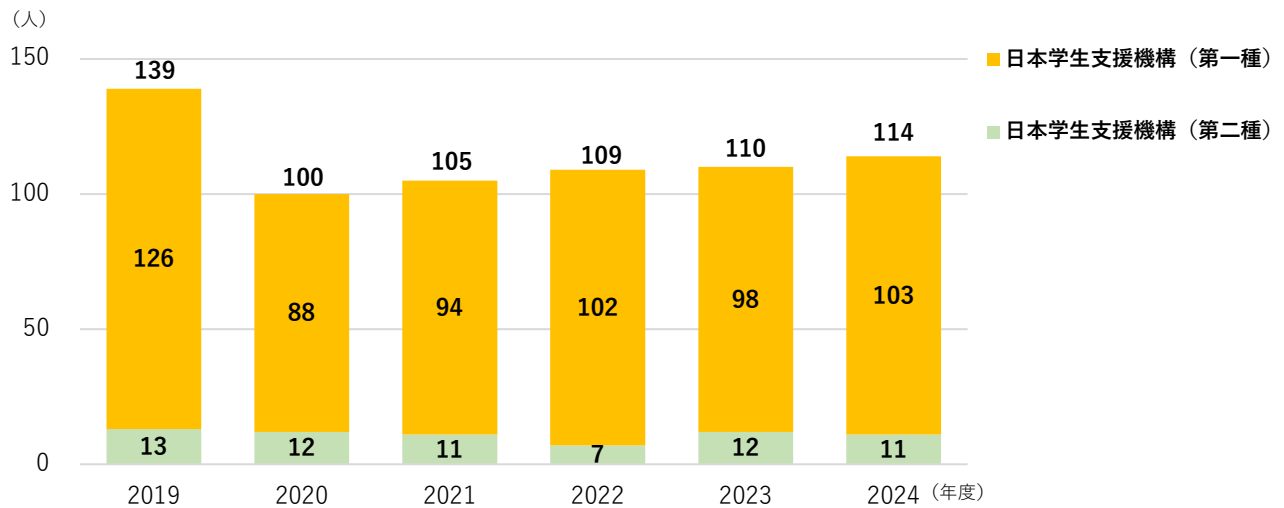
奨学金受給者数（大学院）



立教大学奨学金受給者数（大学院）



日本学生支援機構奨学金受給者数（大学院）



KEY WORDS

立教大学奨学金

立教大学の給付奨学金です。経済的理由で学業継続が困難な学生に対して学業継続の機会を保障することを目的としたもの（奨学目的）と、優れた能力を有する学生に対してその能力をさらに伸ばす機会を提供することを目的としたもの（育英目的）とがあります。

日本学生支援機構奨学金

国の奨学育英事業を行う日本学生支援機構の奨学金です。学生本人に貸し与えられ、卒業後に返還の義務がある「貸与奨学金」と、学生本人に給付され、原則返還の義務がない「給付奨学金」があります。「貸与奨学金」には、返還時に利子のつかない「第一種奨学金」と利子のつく「第二種奨学金」があります。

奨学金受給者数

立教大学で取り扱う奨学金（立教大学の奨学金、国の奨学金「日本学生支援機構奨学金」、民間育英団体の奨学金、地方公共団体の奨学金）の延べ受給者数として集計を行っています。

TOPICS

立教大学の奨学金

■ 経済支援型の奨学金

経済的理由で学業継続が困難な学生に対して学業継続の機会を保障することを目的とした奨学金。

■ 留学支援・学業奨励など育英型の奨学金

留学希望者や成績優秀者など、優れた能力を有する学生に対してその能力をさらに伸ばす機会を提供することを目的とした奨学金。

■ 国による高等教育の修学支援新制度

2020年度より導入された「国による高等教育の修学支援新制度」。立教大学は同制度の対象となる確認大学に申請し、文部科学省より認定を受けています。

■ 被災地の入学者に対する経済支援制度

被災地（災害救助法適用地域）の入学者を対象とした入学金返還および奨学金制度。

■ 家計急変時の奨学金

家計が急変し、学費の納入が困難になった学生を経済的に支援することを目的とした奨学金。

■ 大学院対象の奨学金

大学院学生の勉学・研究活動の奨励もしくはその経済援助を目的とした奨学金。学生本人が国内や海外で開催される学会で発表する等の場合に支給する奨学金制度もあります。

■ 学修環境整備奨学金

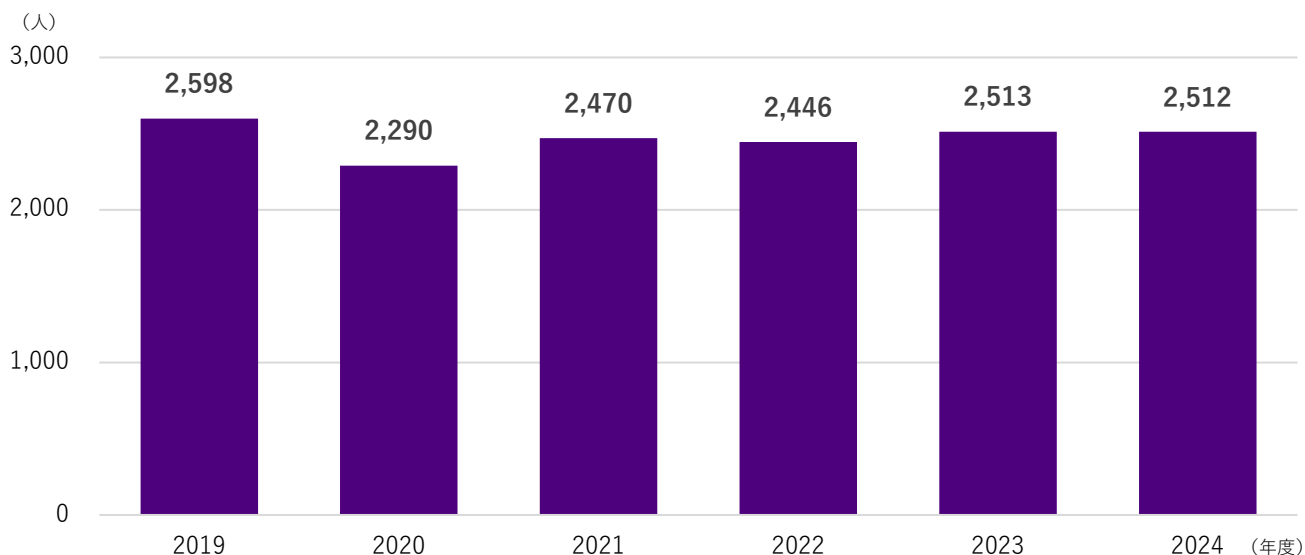
COVID-19の状況を鑑みて、2020年度春学期の全ての開講科目をオンラインで実施しました。それに伴い、オンライン受講を含めた学修環境を整え、安心して授業を受けられるための措置として、全ての学生に対して一律5万円の「学修環境整備奨学金」を給付しました。

※ 2020年度の奨学金受給者数のグラフに、COVID-19によるオンライン授業のための特別措置として全学生に給付された学修環境整備奨学金の人数は含んでいません。

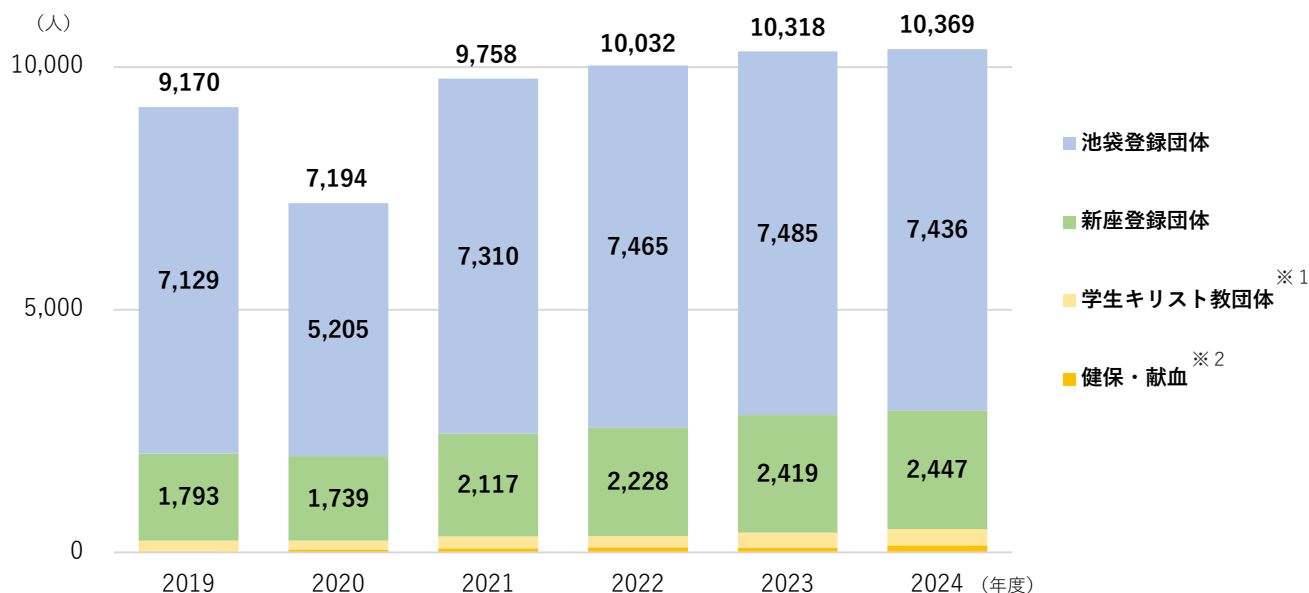
4. 課外活動

大学公認団体としては、体育会（51 部）・学生キリスト教団体・登録団体等に所属する約 200 余りの団体があり、学生の自主的な運営によって学内外で活発に活動しています。

体育会所属学生数



学生登録団体所属学生数



※ 1：学生キリスト教団体・・・チャペルを拠点として活動する 9 つの公認サークル。

礼拝にかかわる活動や子どものための日曜学校、ボランティア活動、クリスマス行事等を通して、建学の精神を学び、実践しています。

※ 2：健保・献血・・・学生健康保険組合・献血の会

TOPICS 「立教大学箱根駅伝プロジェクト Phase 2」 事業

TOPICS
1

「立教大学箱根駅伝プロジェクト Phase 2」 事業

立教大学では、創立 150 周年記念事業の 1 つとして、2024 年の第 100 回東京箱根間往復大学駅伝競走（以下、「箱根駅伝」）に出場することを目標に、2018 年から「立教箱根駅伝 2024」事業を開始し、これまで監督の招聘、専用寮の整備などの強化支援を行ってきました。その成果として、第 99 回箱根駅伝（2023 年）、第 100 回箱根駅伝（2024 年）、第 101 回箱根駅伝（2025 年）に 3 年連続で本選出場を果たしました。

2024 年度末を持って創立 150 周年記念としての事業を終えますが、箱根駅伝シード権獲得という新たな目標に向けて「立教大学箱根駅伝プロジェクト Phase2」を 2025 年度より始動します。



紫聖寮

TOPICS
2

3 年連続 30 回目の箱根駅伝出場へ

総合 1 位 第 101 回箱根駅伝予選会

2024 年 10 月 19 日（土）

東京・陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～昭和記念公園

10 時間 52 分 36 秒

2024 年 10 月 19 日（土）、第 101 回箱根駅伝予選会が開催され、箱根駅伝本選への出場枠 10 枠をかけて、43 校が参加し順位を争いました。立教大学体育会陸上競技部男子駅伝チームは、10km 地点および 17.4km 地点を 1 位で通過し、その後も安定した走りで、合計タイム 10 時間 52 分 36 秒で 1 位という成績を収め、3 年連続 30 回目の本選出場権を獲得しました。



総合 13 位 第 101 回箱根駅伝

2025 年 1 月 2 日（木）、1 月 3 日（金）

東京・大手町～箱根芦ノ湖間

10 時間 58 分 21 秒

2025 年 1 月 2 日（木）・3 日（金）に開催された第 101 回箱根駅伝に立教大学体育会陸上競技部男子駅伝チームが出場し、昨年より 1 ランクアップの総合 13 位という成績を収めました。なお、往路においては、第 44 回大会（1968 年）の 9 位以来、実に 57 年ぶりにシード圏内となる 8 位でゴールしました。

【往復総合公式記録】

総合成績：13 位 10 時間 58 分 21 秒

往路順位：8 位 5 時間 27 分 27 秒

復路順位：12 位 5 時間 30 分 54 秒



「江戸紫」の襷

立教大学体育会陸上競技部の襷の色は「江戸紫」。

金と白の糸で百合と大学名を刺繍しており、立教の校旗と同じ配色としていました。「江戸紫」は江戸時代、武蔵野に自生する紫草を使って江戸で染めたことから、この名がついたとされています。（陸上競技部 OB の口伝）

立教大学校歌「栄光の立教」の歌詞にもある「紫匂える武蔵野原」の「紫」は、「江戸紫」の染料であった紫草がかつて武蔵野に咲き誇っていたことを表しています。この紫草は環境問題により絶滅に瀕しており、復活が期待されるという点についてもストーリー性があり、その染料の色は本学男子駅伝チームの襷の呼称に相応しいものとして使用されています。



主な課外活動実績（2019 年度～ 2021 年度）

年度	団体名	実績
2019	ボート部	第97回全日本選手権大会 女子エイト 優勝 男子舵手なしフォア 第3位
	ボート部	第46回全日本大学選手権大会 女子ダブルスカル 優勝 男子舵手つきフォア 第2位
	馬術部	第69回全日本学生賞典障害馬術競技大会 個人 優勝
	剣道部	第38回全日本女子学生剣道優勝大会 創部初全国優勝
	女子ラクロス部	第11回ラクロス全日本大学選手権大会 創部初全国優勝
	陸上競技部	2019日本学生陸上競技個人選手権大会 女子400m 第3位
	水泳部	2019ジャパンパラ水泳競技大会 100m背泳ぎ（S8クラス）・100m平泳ぎ（SB7クラス）優勝
2020	ボート部	第98回全日本選手権大会 男子舵手なしフォア 第3位 女子エイト 第3位
	ボート部	第47回全日本大学選手権大会 男子舵手なしフォア 優勝 女子舵手付きフォア 第2位
	モーターボート・水上スキー部	第65回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子総合優勝 女子総合優勝
	馬術部	第66回全日本学生賞典馬場馬術競技大会 団体第3位
	ローラーホッケー部	第62回全日本学生ローラースケート選手権大会 女子ホッケー部門 優勝
	陸上競技部	第97回東京箱根間往復大学駅伝競走 関東学生連合チーム選出 個人
	スケート部	2020全国大学ショートトラックスピードスケート競技会 女子500m 女子1000m 個人2位
2021	ボート部	第99回全日本選手権大会兼第48回全日本大学選手権 男子フォア 優勝 女子舵手付フォア 準優勝
	モーターボート・水上スキー部	第66回全日本学生水上スキー選手権大会 男子総合優勝 女子総合準優勝
	洋弓部	第33回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会 男子リカーブ部門 個人1位
	自転車競技部	全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ2021
	陸上競技部	第98回東京箱根間往復大学駅伝競走 関東学生連合チーム選出 個人 ホクレン・ディスタンスチャレンジ2021 女子1500m 個人3位



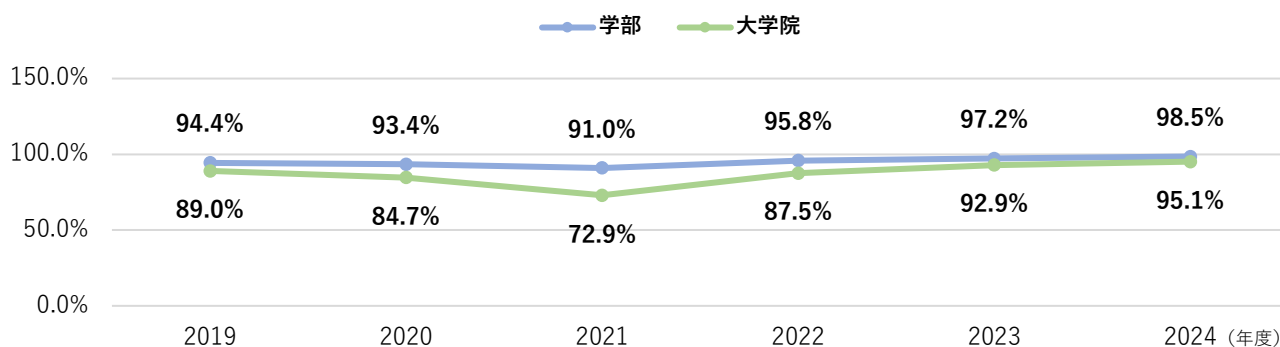
主な課外活動実績（2022 年度～ 2024 年度）

年度	団体名	実績
2022	ボート部	第 100 回全日本選手権大会 女子エイト 3 位 第 49 回全日本大学選手権大会 女子舵手付きフォア 第 5 位
	体操競技部	第 75 回全日本新体操選手権大会 女子団体総合 第 5 位、種目別決勝ボール 2・リボン 3 第 4 位
	空手部	第 66 回全日本大学空手道選手権大会 女子団体組手の部 第 3 位 第 58 回東日本大学空手道選手権大会 女子団体組手の部 準優勝
	モーターボート・水上スキー部	第 67 回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子団体総合優勝、女子団体総合 3 位
	ローラーホッケー部	第 64 回全日本学生ローラースケート選手権大会 ホッケー部門 男子優勝、女子準優勝
	女子ラクロス部	第 13 回ラクロス全日本大学選手権大会 ベスト 4
	陸上競技部	第 99 回東京箱根間往復大学駅伝競走 第 18 位
2023	ボート部	第 50 回全日本大学ローイング選手権大会 男子フォア 1 位 第 50 回全日本大学ローイング選手権大会 女子エイト 2 位
	陸上競技部	第 100 回東京箱根間往復大学駅伝競走 第 14 位
	アメリカンフットボール部	関東学生アメリカンフットボール 1 部リーグ TOP8 リーグ戦 準優勝
	モーターボート・水上スキー部	第 68 回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子団体総合 1 位・女子団体総合 2 位
	ローラーホッケー部	第 65 回全日本学生ローラースケート選手権大会 女子優勝・男子準優勝 第 64 回全日本リンクホッケー選手権大会 女子準優勝・男子 4 位
	女子バスケットボール部	第 73 回関東大学女子バスケットボールリーグ戦 2 部 A リーグ優勝 1 部昇格
	女子ラクロス部	第 14 回ラクロス全日本大学選手権大会 準優勝 第 35 回関東学生ラクロスリーグ戦 準優勝
2024	ラグビー部	パリ 2024 オリンピック競技 7 人制ラグビー女子 日本代表として出場
	ボート部	第 51 回全日本大学ローイング選手権大会 男子フォア 優勝 第 51 回全日本大学ローイング選手権大会 女子総合 優勝
	フェンシング部	第 77 回関東学生フェンシングリーグ戦 男子フルーレ 2 部優勝 第 77 回関東学生フェンシングリーグ戦 男子エペ 2 部優勝
	ハンドボール部	令和 6 年度関東学生ハンドボール 2 部春季リーグ 優勝
	ソフトテニス部女子	第 78 回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 準優勝
	モーターボート・水上スキー部	第 52 回全日本学生水上スキー新人戦競技会 男女団体総合 2 位 第 69 回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子団体総合 1 位・女子団体総合 2 位
	ローラーホッケー部	第 66 回全日本学生ローラースケート選手権大会 女子優勝・男子 3 位 第 48 回東日本学生ローラースケート大会 新人戦 男子優勝・女子準優勝
	男子ラクロス部	第 36 回関東学生ラクロスリーグ 1 部 2 部入れ替え戦勝利・1 部昇格
	陸上競技部	秩父宮賜杯第 56 回全日本大学駅伝対校選手権大会 第 7 位 シード権獲得 第 100 回東京箱根間往復大学駅伝競走 第 13 位

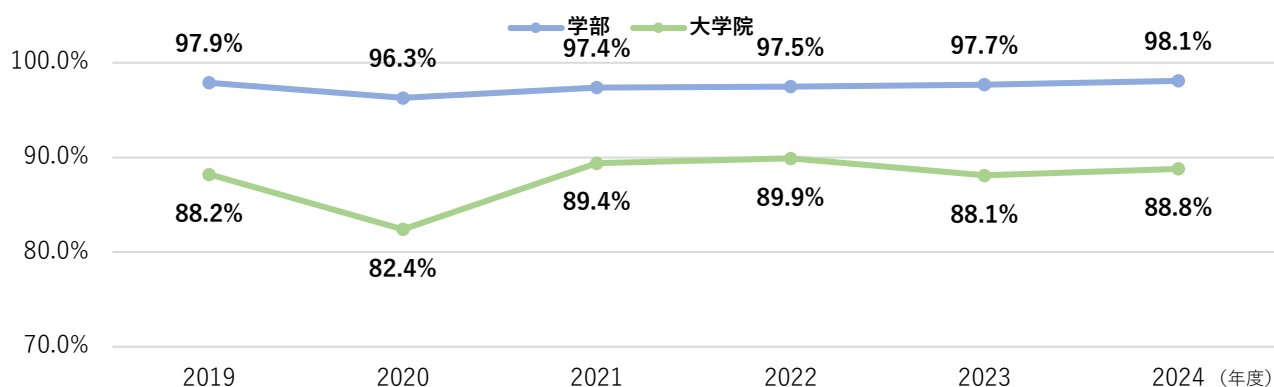


5. 進路

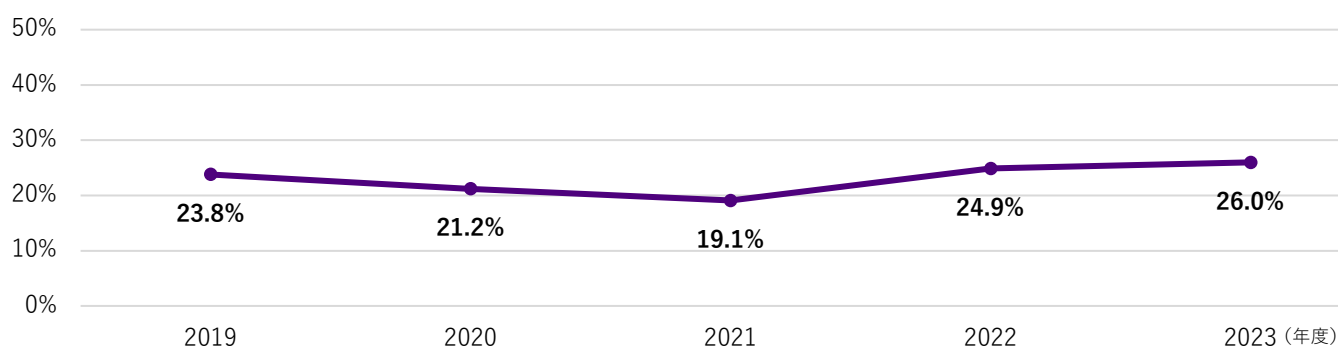
進路決定率



就職率



※
有名企業就職率



※有名企業・・・東洋経済新報社が、日本を代表する企業をはじめ、日経平均株価指数の採用銘柄や、企業規模、知名度、大学生の就職人気企業ランキングなどを参考に選定。2023年度（2024年卒）が最新のデータとなります。

TOPICS

キャリアの立教

立教大学は、キャリアを「仕事・就職を含めた、自立した個としての自分らしい人生の在り方」と捉えており、就職＝ゴールだとは考えていません。学生が卒業後の人生において、自らの意思によって将来を見据え、主体的に考えながら、自分でキャリアを切り拓いていく力が大切だと考えています。そのため、学生が多くの経験や多様な価値観に触れ、「学ぶ力」「考える力」を身に付けられるキャリア支援を行っています。

TOPICS

1

学生の視野を広げるキャリア支援

社会には、多くの業界・企業がありますが、学生が知っているのはごく一部です。一方、やりたいことは知っていることの中からしか生まれません。目まぐるしく変化する社会構造を理解し、さまざまな業界や企業について知ることで、働きたい業界や企業が見えてきます。そのため、キャリアセンターでは、さまざまなネットワークを活用して社会との接点を増やし、学生が視野とキャリアの可能性を広げることができるようなプログラムを学生の成長段階に合わせて展開しています。

①「社会を知る講座」

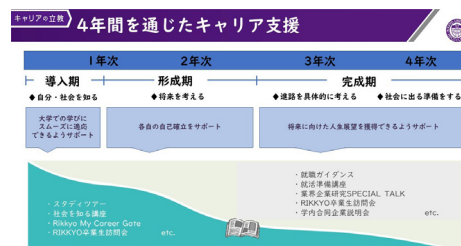
ビジネスの最新トレンドをテーマに、企業・団体で活躍する社会人によるパネルディスカッションを通して、新しく生まれるビジネスや既存の価値観の変化を知り、5年後・10年後の働き方について考えます。

②「Rikkyo My Career Gate」(2年次生対象)

学生たちが社会との接点を持ち、実際に現場に立つことで、働くことやキャリアについて考えるために、キャリアセンターが、企業・行政・団体などと連携して実施する立教生のためだけの就業体験型プログラムです。

③「スタディツアー」(1・2年次生対象)

企業を訪問し、業務内容を体験するビジネスゲームや社員との懇談などを通し、働くことやキャリアについてのイメージを醸成し、自身の生き方や働き方を考える契機とします。



TOPICS

2

卒業生によるサポート

社会で活躍する4万5千人もの卒業生が、プログラムへの協力や、個別の卒業生訪問などを通して、後輩たちのキャリア形成を支援しています。

「RIKKYO 卒業生訪問会」

年5回開催。毎回20名ほどの卒業生が、後輩のために学生生活から就職活動、働き方までNG質問ナシで語ります。さまざまなキャリアの先輩たちの本音を聞き、たくさんのヒントを得て、視野を広げられます。



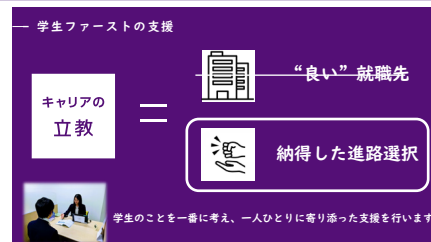
RIKKYO 卒業生訪問会の様子

TOPICS

3

学生ファーストの支援

前述の通り、キャリアの立教では、就職＝ゴールだとは考えていません。そのため、「良い」就職先を見つけるためではなく、学生自身が納得した進路選択をできるように、学生のことを一番に考え、一人ひとりに寄り添った支援を行います。



IV 社会連携・社会貢献

1. ボランティア

ボランティアセンターの活動内容

活動項目	内容
学生個々の支援	ボランティア相談、ボランティア・カフェの開催、海外ボランティアフェア・海外ボランティア参加者報告会の開催、ポール・ラッシュ博士記念奨学金
多様なニーズに対応した体験機会の提供	立教チームで活動する1dayボランティア、週末ワークキャンプ、新座キャンパス遊びフェス
独自のプログラムや学びの場の提供	立教キャンプ、ボランティア関連授業、学生コーディネーター、立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト(令和6年能登半島地震)
ボランティアサークルの支援	ボランティアオリエンテーション、立教生ボランティア活動報告会
立教大学他部局との協働	さまざまな学生支援部局やRSLとの協働・連携
地域連携	地域(池袋・新座)との連携

各種の立教キャンプ

キャンプ名	主催	開始年度	内容
奥中山ワーク・キャンプ	チャプレン室	1980年	岩手県の酪農地帯にある知的しょうがい者施設でのワーク・キャンプ
林業体験	学生部	2003年	岩手県陸前高田市での林業体験
農業体験 in 山形県高畠町	ボランティアセンター	1989年	山形県高畠町での有機農業体験
榛名ボランティアキャンプ	チャプレン室	1986年	群馬県にある高齢者福祉施設での生活を通して、人の命、人生、信仰心に触れるキャンプ
一貫連携教育・立教学院清里環境ボランティアキャンプ	ボランティアセンター	2004年	立教学院の小学生・中学生・高校生・大学生が清里に集い、ともに環境維持活動を行う
日韓キャンプ	チャプレン室	2001年	韓国の学生とともに農村地帯やソウルを訪れ、人々の生活、文化や歴史への認識を深める

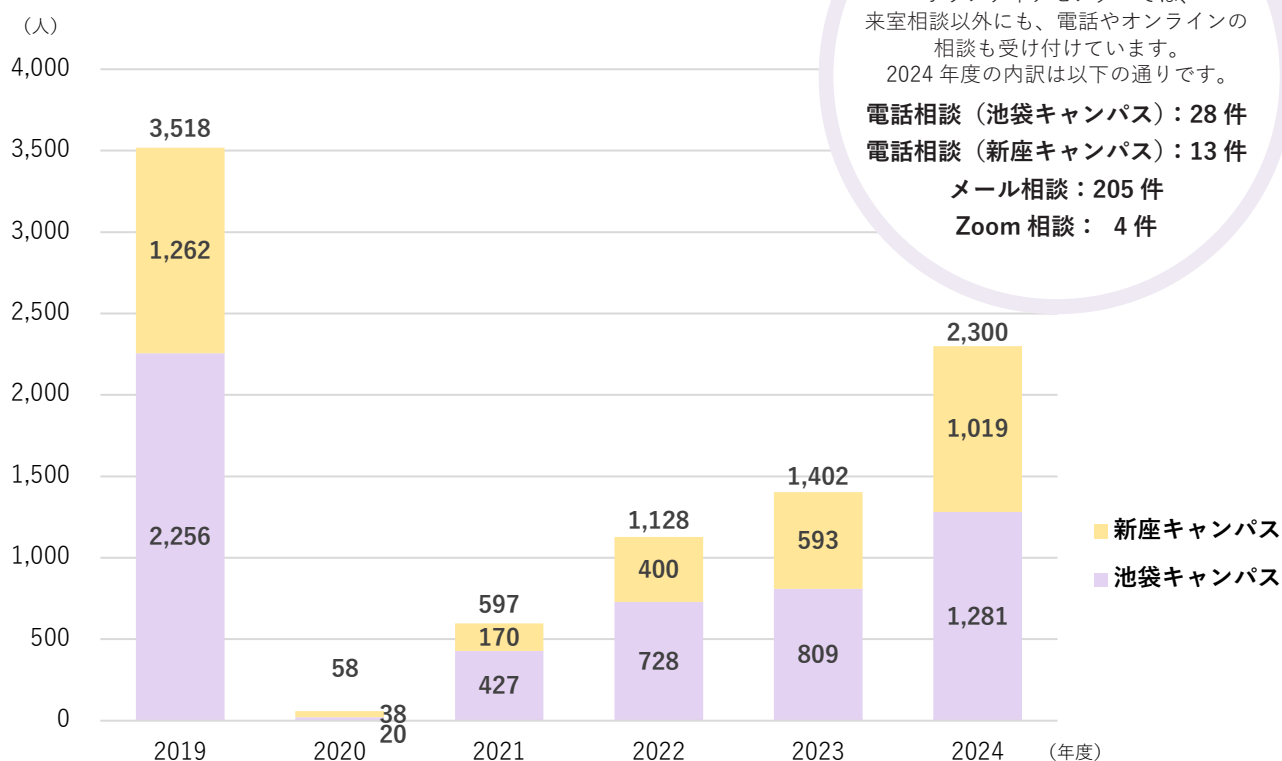
KEY WORDS

ボランティア

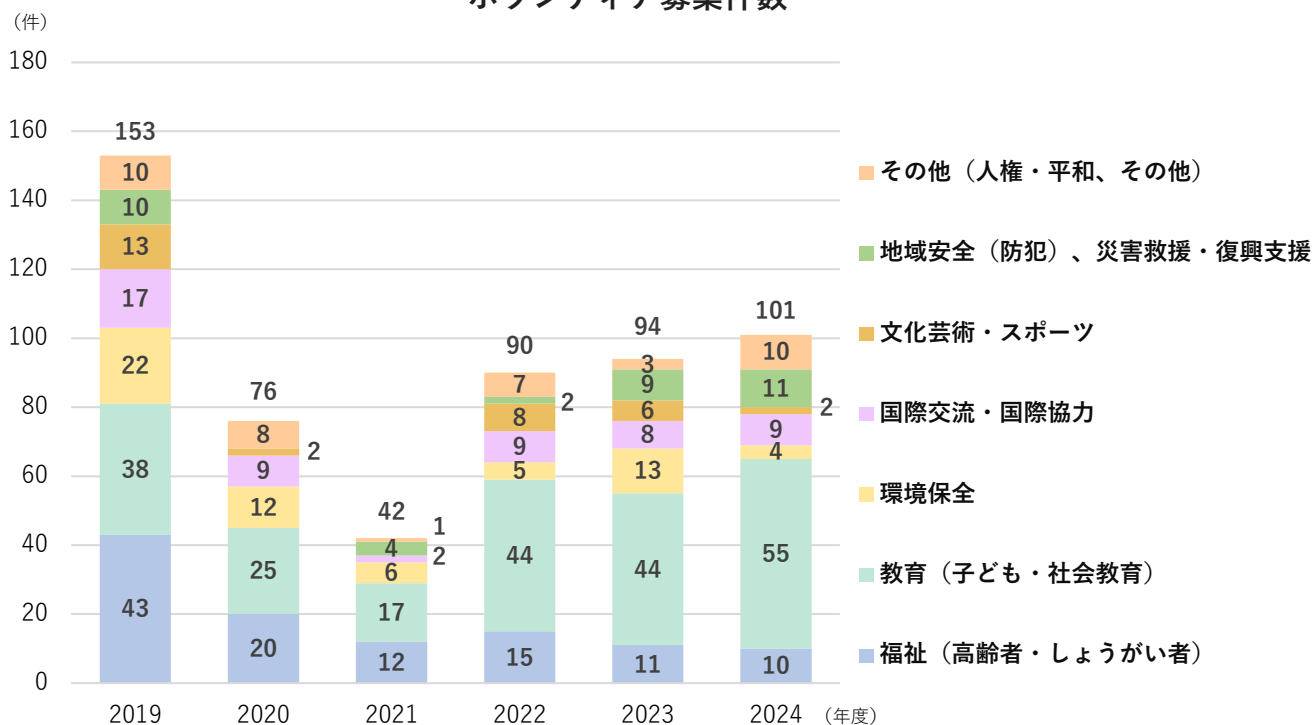
ボランティアセンターは、キリスト教に基づく建学の精神を具体化したものの一つである「共に生きる」ことを礎に、学生が他者との関わりや社会的な課題に取り組むことを通して、人間としての成長とより良き社会の実現を目指す意志の育成を図っています。

また、各種立教キャンプや自治体・地域と連携した活動でも、生きた現場に触れることや、さまざまな他者と関わることを通して総合的、実践的に学ぶことができます。

ボランティアセンター来所者数



ボランティア募集件数



※：COVID-19の影響を受け、2020年度、2021年度はボランティアセンターへの来所者数やボランティアの募集件数が減少していますが、2022年度が90件まで回復しました。

2. 産学官連携事業例（受託事業）

年度	委託元	事業名	委託先
2023 年度	飯能信用金庫	はんしんビジネスカレッジ「竹林舎」事業（第16期）	ビジネスデザイン研究科
	飯能信用金庫	はんしんビジネスカレッジ「竹林舎」さいたま事業（第6期）	ビジネスデザイン研究科
	NTTコミュニケーションズ株式会社	23年度ビジネス・リーダーシップ・プログラム（BLP）への参加に関する業務	経営学部（BLP）
	福島県田村市	田村市事業者実態把握調査業務における監修	社会情報教育研究センター
	千葉県野田市	学生による自転車を活用したまちづくり検討業務	観光学部
	武蔵野銀行	産学連携プロジェクト（地域活性化のための観光MAP作成等）	観光学部
	株式会社JTB	ウェルネスツーリズム推進における共創・連携業務	ウェルネス研究所
	岩手県陸前高田市	中学生イングリッシュ・キャンプ運営業務	異文化コミュニケーション学部
	株式会社ROOM	プロテインゼリー製品開発及びオフィス向け事業内運動プログラム開発に関する業務	ウェルネス研究所
	デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社	小中高大大学院一貫アントレプレナーシップ教育の研究と実践	ビジネスデザイン研究所
	一般社団法人小金井市観光まちおこし協会	小金井市内の空き地の利活用方法の検討・実施・効果検証・報告書作成業務	観光学部
2024 年度	飯能信用金庫	はんしんビジネスカレッジ「竹林舎」事業（第17期）	ビジネスデザイン研究科
	飯能信用金庫	はんしんビジネスカレッジ「竹林舎」さいたま事業（第7期）	ビジネスデザイン研究科
	武蔵野銀行	産学連携プロジェクト	観光学部
	岩手県陸前高田市	中学生イングリッシュ・キャンプ運営業務	異文化コミュニケーション学部
	株式会社ROOM	体力測定事業及び機能性睡眠グッズ開発に関しての科学的根拠に基づく開発・サービス導入及び販売促進	ウェルネス研究所
	デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社	小中高大大学院一貫アントレプレナーシップ教育の研究と実践	ビジネスデザイン研究所
	一般社団法人小金井市観光まちおこし協会	小金井市内の空き地の利活用方法の検討・実施・効果検証・報告書作成業務	観光学部
	一般社団法人DMO川越	令和6年度川越観光ワークショップ運営業務	観光学部
	日本電気株式会社	豊島区におけるウェルビーイングデータ等を活用した地域コミュニティ施設の価値向上事業に関する委託業務	コミュニティ福祉学部

3. 自治体・企業等との各種協定例

自治体・企業等との各種協定一覧（2024年度時点）

No	協定日	本学	協定先	内容
1	2002年7月30日	大学	東京都新宿区	商工施策に関する協定
2	2007年7月23日	大学	株式会社武蔵野銀行	産学連携に関する業務連携・協力に関する協定書
3	2007年11月19日	大学	東京都豊島区	豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定書
4	2010年10月25日	大学	埼玉県新座市	新座市と立教大学との連携協力に関する包括協定書
5	2010年11月3日	コミュニティ福祉学部	山形県高畠町	連携および交流に関する協定書
6	2011年5月1日	大学	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場	各々の施設の活性化および各種催事を通じ、東京都における芸術文化振興に寄与を目的とした協定
7	2011年8月29日	大学	埼玉県	埼玉県と立教大学との相互協力・連携に関する協定書
8	2012年5月23日	大学	岩手県陸前高田市	陸前高田市と立教大学との連携及び交流に関する協定書
9	2013年10月30日	学院	東京都豊島区	帰宅困難者対策の連携協力に関する協定
10	2015年3月15日	大学	埼玉大学	相互協力・連携協定
11	2015年4月22日	観光学部	道の駅	就労体験型実習の基本協定
12	2015年～2016年	大学	福井県、福岡県、福島県、熊本県、 栃木県	Uターン就職支援協定
13	2016年1月19日	大学	岩手県陸前高田市、岩手大学	陸前高田市、岩手大学及び立教大学における地域創生・人材育成等の推進に関する相互協力及び連携協定書
14	2016年3月22日	大学	横浜国立大学	相互協力・連携協定
15	2016年6月7日	ESD研究所	長崎県対馬市	ESD研究連携に関する覚書
16	2016年10月25日	ESD研究所	北海道羅臼町	ESD研究連携に関する覚書
17	2016年11月14日	ESD研究所	静岡県西伊豆町	ESD研究連携に関する覚書
18	2017年5月1日	社会デザイン研究所	茨城県境町	研究連携に関する覚書
19	2017年7月4日	大学	西武ライオンズ	連携協力に関する基本協定
20	2017年8月4日	大学	日本身体障がい者水泳連盟	連携協力に関する包括協定
21	2017年8月4日	大学	日本知的障害者水泳連盟	連携協力に関する包括協定
22	2017年12月14日	ESD研究所	長野県飯田市	ESD研究連携に関する覚書
23	2019年4月1日	大学	聖路加国際大学	包括協定
24	2019年11月1日	大学	聖路加国際大学	医療的な支援および協力に関する協定
25	2019年12月1日	大学	株式会社大和総研	人工知能・データサイエンス分野等における包括的な教育研究協力
26	2020年4月30日	大学	株式会社ビズリーチ	人工知能分野等に関する包括的な教育研究協力についての協定
27	2020年7月1日	学院	学校法人立教女学院	相互協力・連携協定締結
28	2021年3月29日	大学	国立大学法人金沢大学	連携・協力に関する協定
29	2022年4月18日	ESD研究所	福島県南会津郡檜枝岐村	ESD研究連携に関する覚書
30	2022年8月22日	ESD研究所	静岡県松崎町	ESD研究連携に関する覚書
31	2022年7月25日	ビジネスデザイン研究科	NTTデータ経営研究所	教育研究協力に関する協定
32	2022年11月16日	大学	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	包括的教育研究協力に関する協定
33	2024年3月26日	大学	エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ株式会社（大宮アルディージャ）との相互協力・連携に関する包括協定	相互協力・連携に関する包括協定
34	2024年5月7日	大学	同志社大学	相互協力・連携に関する協定
35	2024年10月14日	スポーツウエルネス学部	山形県長井市	相互協力・連携に関する包括的協定
36	2024年12月23日	コミュニティ福祉学部	福井県鯖江市及び 福井県立鯖江高等学校	相互連携協定
37	2025年2月20日	大学	酪農学園大学	環境学分野における相互協力・連携に関する協定
38	2025年3月21日	スポーツウエルネス学部	東京ヴェルディ	相互協力・連携に関する包括的協定

自治体・企業等の寄付講座一覧（2024 年度時点）

No	設置箇所	寄附者	科目名
1	ビジネスデザイン研究科	巢鴨信用金庫	コンサルティング・メソッド1 コンサルティング・メソッド2
2	ビジネスデザイン研究科	ランドマーク税理士法人	租税論1 租税論2
3	ビジネスデザイン研究科	一般社団法人ビジネスプロセス・アーキテクト協会	経営とデジタル
4	ビジネスデザイン研究科	一般社団法人日本データビジネス協会	データサイエンス基礎
5	ビジネスデザイン研究科	一般社団法人日本データビジネス協会	デジタル・ビジネスプランニング
6	ビジネスデザイン研究科	株式会社博報堂	ブランドデザイン
7	ビジネスデザイン研究科	株式会社NTTデータ経営研究所	DX経営
8	ビジネスデザイン研究科	株式会社ユニゾン・ホールディングス	DX戦略論 1 DX戦略論 2
9	ビジネスデザイン研究科	公益財団法人日本デザイン振興会	デザイン経営
10	ビジネスデザイン研究科	株式会社日立製作所	ソーシャルイノベーションデザイン
11	ビジネスデザイン研究科	株式会社NTTデータ数理システム	マーケティングサイエンス
12	ビジネスデザイン研究科	株式会社NTTアーバンソリューションズ総合研究所	街づくりデザイン
13	ビジネスデザイン研究科	一般社団法人日本データビジネス協会	IT産業論
14	経営学研究科	パーソルグループ (パーソルホールディングス株式会社)	戦略的人的資源管理 戦略的人事実務論
15	経済学部	立教税理士会	企画講座 3（租税と税理士制度）
16	観光学部	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	観光 IT 戦略論
17	観光学部	一般社団法人日本経済団体連合会	経団連インターンシップ
18	観光学部	株式会社ANA総合研究所	交通産業特論
19	観光学部	公益財団法人日本交通公社	観光地づくり
20	観光学部	立教観光クラブ	観光ビジネス概論
21	立教セカンドステージ大学	公益財団法人 トラスト未来フォーラム	信託機能を活用した社会貢献・財産管理

4. 社会貢献

活動地域	活動項目
池袋	豊島区が実施している「としまコミュニティ大学」への講義の提供、異文化コミュニケーション学部による「豊島区との協働プロジェクト」、理学部による「おもしろサイエンスワールド」など、積極的に連携を図っています。アートイベント「池袋モンパルナス回遊美術館」では、旧江戸川乱歩邸の特別公開や、講演会、似顔絵描き等の企画を提供しています。
新座	新座キャンパスは開設当初より「地域に開かれたキャンパス」を標榜し、新座市民のための公開講座やクリスマスコンサート、市の児童のための自然や防災の体験教室や体育会学生による「立教スポーツ教室」など活発な地域連携を行っています。また、新座市の事業に協力し、生活保護受給世帯や生活困窮世帯の子どもを対象とした高校進学のための学習教室をキャンパスの教室で行っています。
陸前高田 ・ 東北	東日本大震災を受けて陸前高田市を「重点支援地域」に指定し、さまざまな復興支援・交流活動を行っています。また、陸前高田市協力のもと、地元の岩手大学とともに交流活動拠点「陸前高田グローバルキャンパス」を開設しています。

社会連携・地域連携

本学による様々な取り組みをご紹介します。

以下 QR コードからご覧いただけます。



5. 生涯学習

立教セカンドステージ大学	50歳以上のセカンドステージ世代を対象として「学び直し」「再チャレンジ」と「異世代共学」をサポートするために開設した新しい学びの場です。
旅行業講座	「総合・国内旅行業務取扱管理者試験」のための準備講座です。
ホスピタリティ・マネジメント講座	宿泊産業を中心とするホスピタリティ産業の経営実務全般に関する知識を効果的かつ理論的に学びます。
観光地経営専門家育成プログラム	観光地としてのあるべき姿を描き、革新的に再構築を図っていくための専門的な知識やスキルを持った人材「観光地経営専門家」を育成します。
ラテンアメリカ講座	スペイン語、ポルトガル語など語学だけでなく、ラテンアメリカ論や文学など、文化的背景を考慮に入れた科目がそろい、ラテンアメリカに関する総合的な学習が可能です。

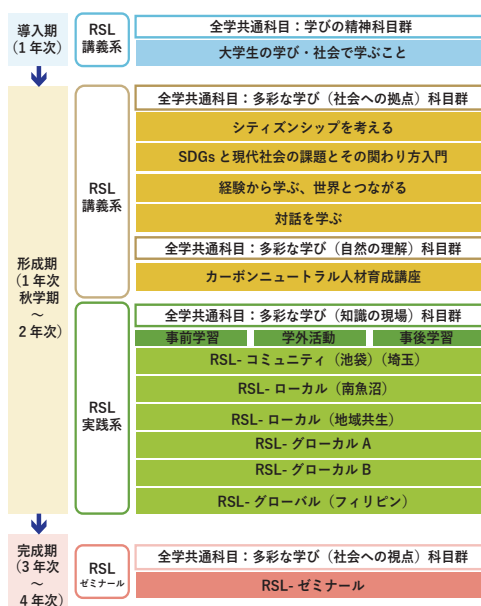
TOPICS
1

立教サービスラーニング

実社会の現場での体験学習を通して学びを深めていく「立教サービスラーニング（RSL）」を全学部生対象の正課科目として開講しています。事前学習ののち、行政・企業等の受入機関の支援・指導の下、社会で生起するさまざまな課題を題材とした体験学習を行います。

RIKKYO Learning Style の導入期・形成期・完成期に合わせて、講義系・実践系それぞれの科目（全学共通科目）が用意されています。

RIKKYO Learning Style の〈導入期・形成期・完成期〉に合わせて用意された講義系および実践系の科目



RIKKYO Learning Style 「専門性に立つ教養人の育成」

立教大学は、4 年間の学生生活（学士課程）を授業だけではなく、サークルやボランティアなど、様々な活動と体系づけて考えており、そのため、学生生活を 3 つの期間〈導入期・形成期・完成期〉に分け、正課と正課外教育の両輪で支援していることが特長です。

■ 講義系科目

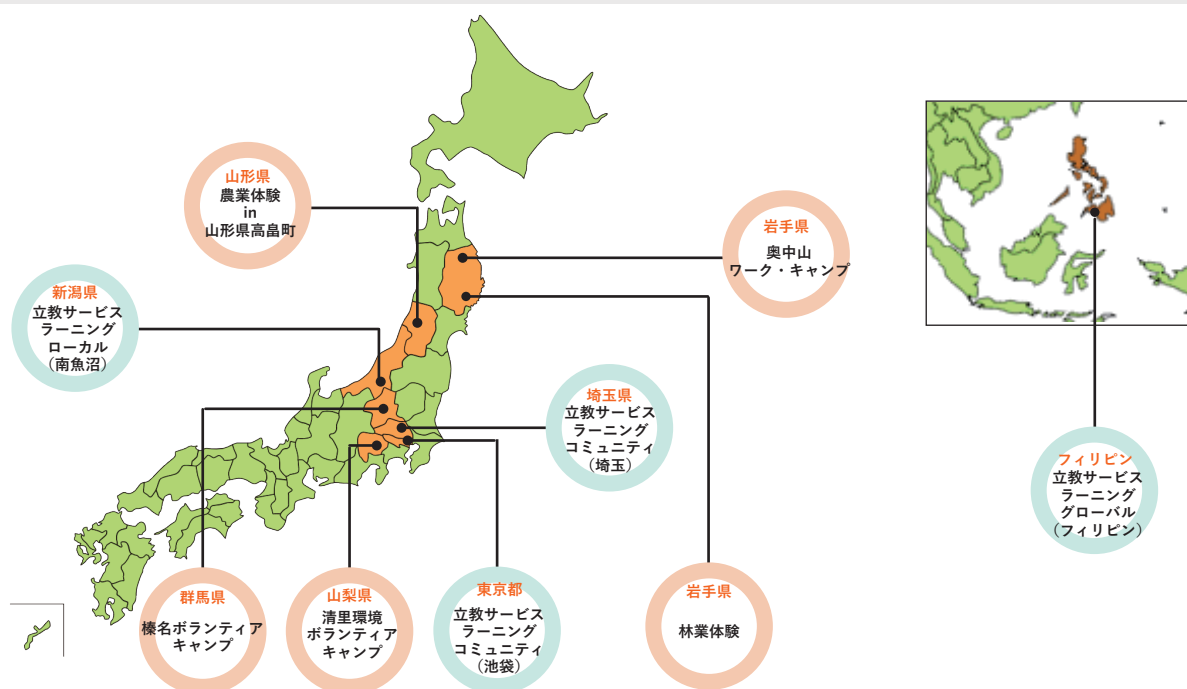
講義をもとにグループディスカッションや全体発表、そして実際にフィールドで活動している方からの話（市民生活の課題とその取り組みの報告）など、「座学」だけでは終わらない講義系科目群です。

■ 実践系科目

立教大学に在籍するすべての学生がともに語り、学びあうことができる「フィールド」として、単なる履修では終わらない社会とのつながりに積極的にチャレンジできる実践系科目群です。

立教サービスラーニング・立教キャンプ Map

さまざまな場所で行われている RSL・ボランティアを見やすくマッピングしました。



TOPICS
2

「豊島区×立教大学 地域課題提言ワークショップ」

池袋キャンパスがある豊島区が抱える地域課題の解決に向けて、学生が調査やヒアリングを実施し、自治体や住民の皆様へ提言を行う課題解決型の正課外プログラム「豊島区×立教大学 地域課題提言ワークショップ」を2022年度から実施しています。2024年度は、豊島区文化商工部文化観光課から「観光都市としての「池袋」の価値を高め、国内・国外からの誘客につなげる方法を提案してください」という課題をいただき、学生26名（4チーム）が約2ヶ月間取り組みました。2025年1月10日のオリエンテーションでは、豊島区担当者から地域に関する様々な情報をご説明いただきました。1月18日には、区内の観光スポットや文化施設を回遊する「IKEBUS アトカルツアー」に参加し、これまで知らなかった新たな豊島区の魅力を発見しました。2月にはチームごとに希望する豊島区役所の各部署および豊島区内の団体・企業の方々にお話を伺いました。ヒアリングで得た情報をもとに提案内容を深め、3月14日に最終報告会を行いました。

<学生の提案内容>

- ・アプリを利用したスタンプラリーイベント「MYスタンプジャーニー」
- ・Facebookの利用、todoリストの活用を提案
- ・謎解き「池袋クエスト（イケクエ）」
- ・IKEBUS 期間限定ツアー

TOPICS
3

「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進

立教大学は、「専門性に立つグローバル教養人」として、環境破壊や難民問題、経済格差などの世界的な問題に対し、広い視野に立って課題を発見・解決できるグローバルリーダーを育成しています。SDGsの17の持続可能な開発目標は、国際的に取り組むべき課題の解決を導くものです。本学で学んだグローバルリーダーたちが、将来もこの課題に積極的に応えてくれることを願います。

立教サービスマネジメント科目として、「カーボンニュートラル人材育成講座」や「RSL-ローカル（地域共生）」等、SDGsやカーボンニュートラルに関連する科目を展開しています。

様々な活動例

陸前高田プロジェクト



東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市の現状を知り、現地の方と復興に向けた課題を共有するプログラム。

4泊5日の現地研修、事前・事後研修を実施する。米国スタンフォード大学、香港大学、シンガポール国立大学の海外有力大学の学生が参加する国内唯一のコラボレーションプログラム。共に学び協働作業をする中で、英語を使ったコミュニケーション能力のみならず、広く多様な視点から課題に向き合い発信する力を身に付けます。

RSL ローカル（南魚沼）



南魚沼地域（栃窪集落）はその「場」にしかない四季折々に変わる豊かな自然の表情と食の恵みを私たちに与えてくれます。一方で現代日本の社会的な課題の一つである過疎・高齢化の問題にも直面しています。

この授業では、過疎高齢化の進む農村での伝統知や地域文化や生活に触れ、体験的な学習を通して、現代社会の構造を知り、自然と人間の関係や本質的な豊かさについて問い直し、持続可能な社会の実現について考えます。

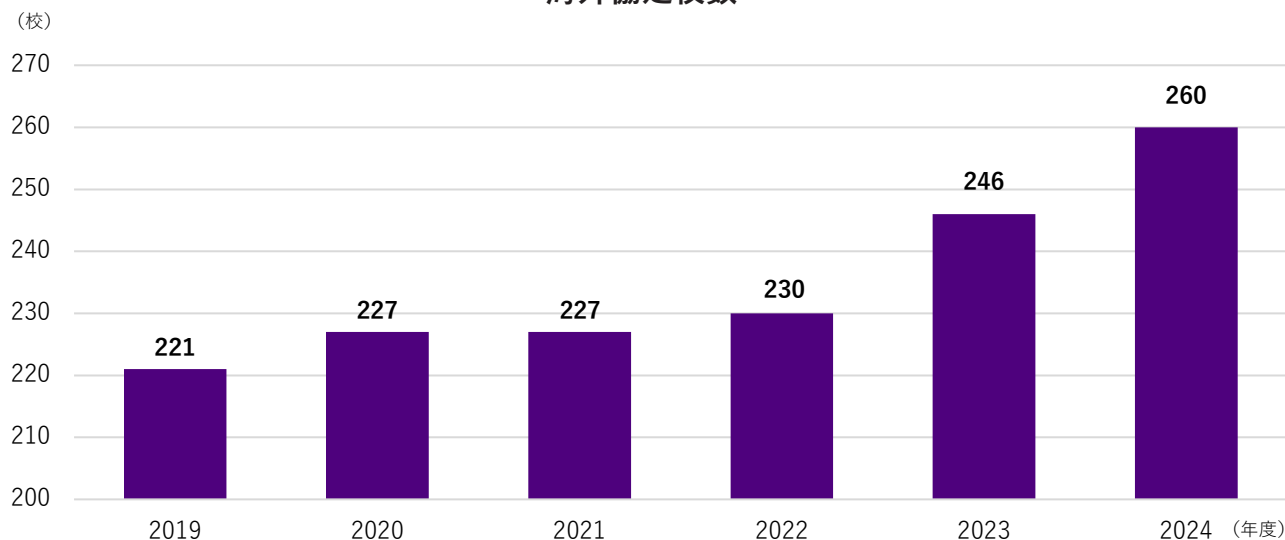
国際協力人材育成プログラム



国際社会が取り組むべき世界規模の課題（グローバル・イシュー）に対応・解決するための知識や能力を身に付けるプログラム。全7科目は課題別に設定され、全て英語で開講します。国際協力の現場で活躍している経験豊富な講師やゲストがインタラクティブな授業を展開します。

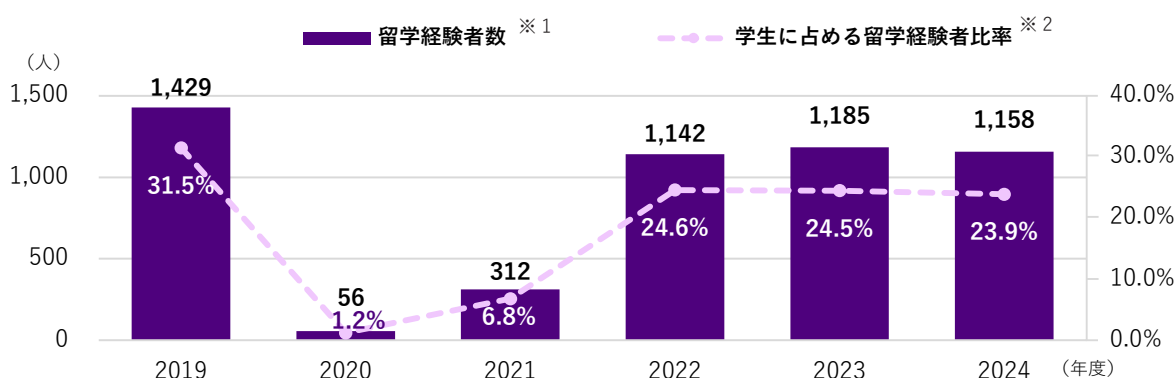
1. 協定校数

海外協定校数



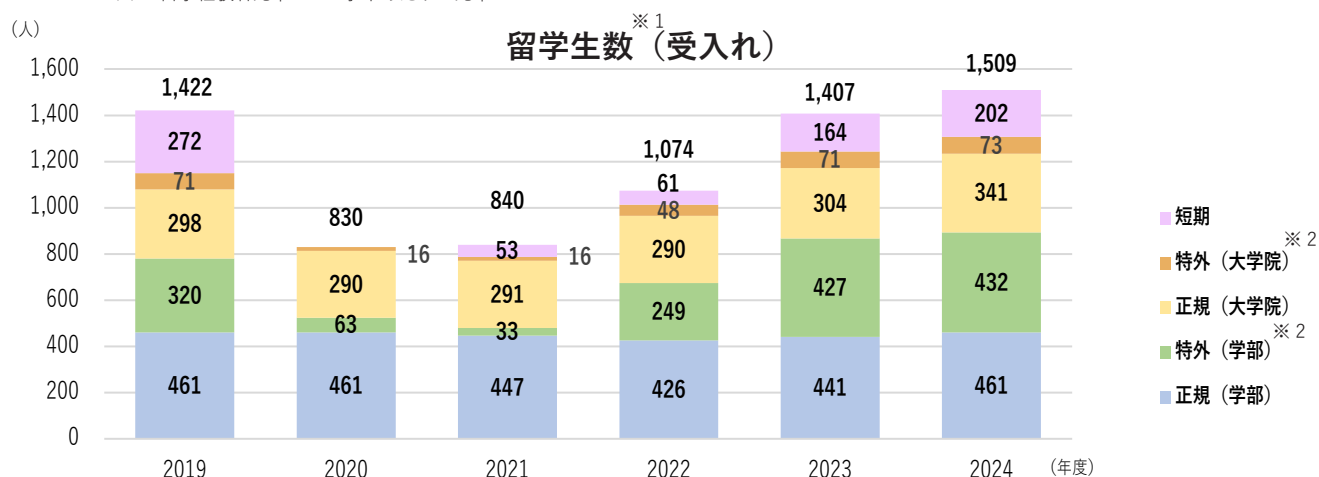
2. 送出し・受入れ

留学経験者数（送出し）



※ 1: 留学経験者数・・・延べ数、正課外含む

※ 2: 留学経験者比率・・・1 学年あたりの比率

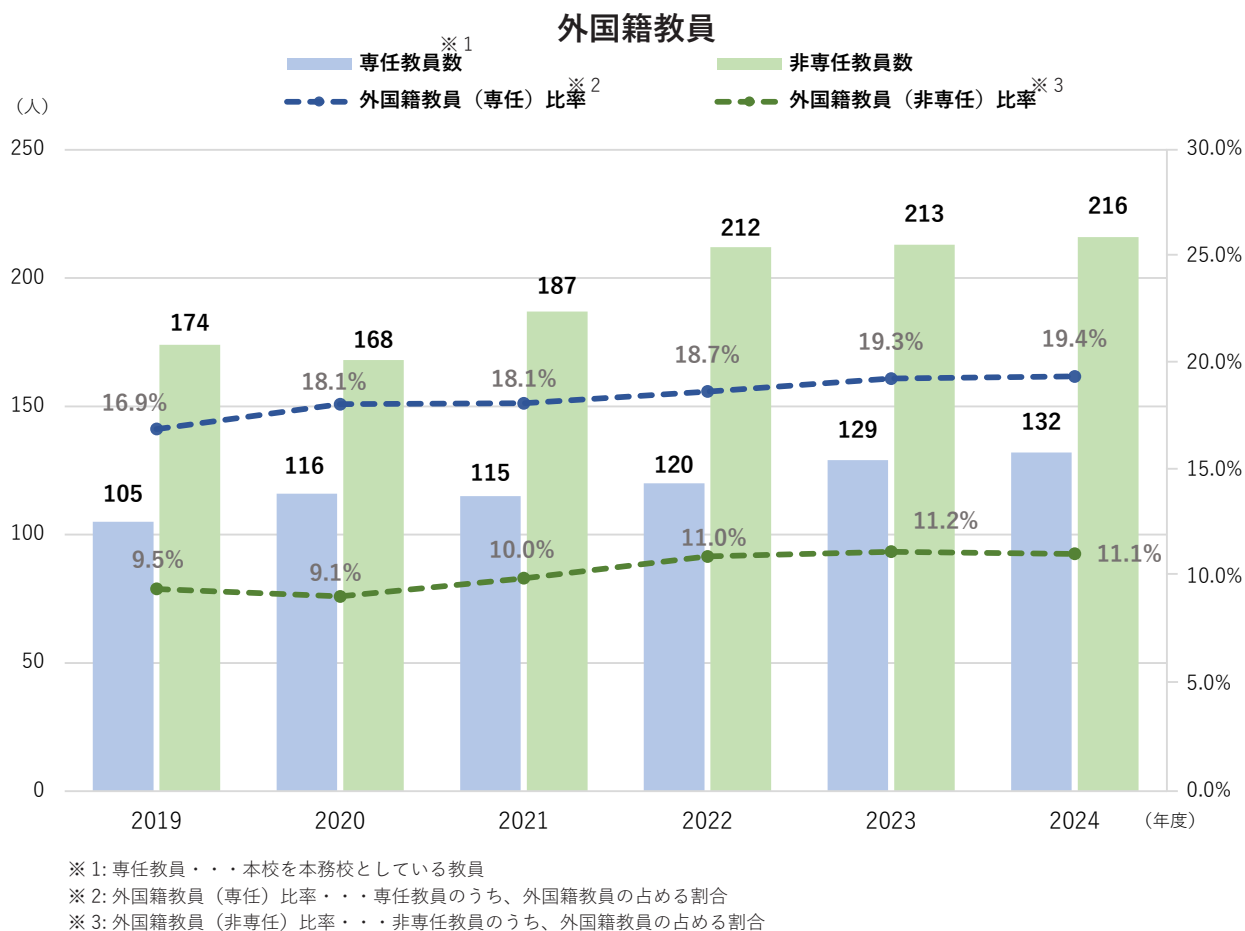


※ 1: 留学生・・・正規・特外・短期プログラムによる受入れ

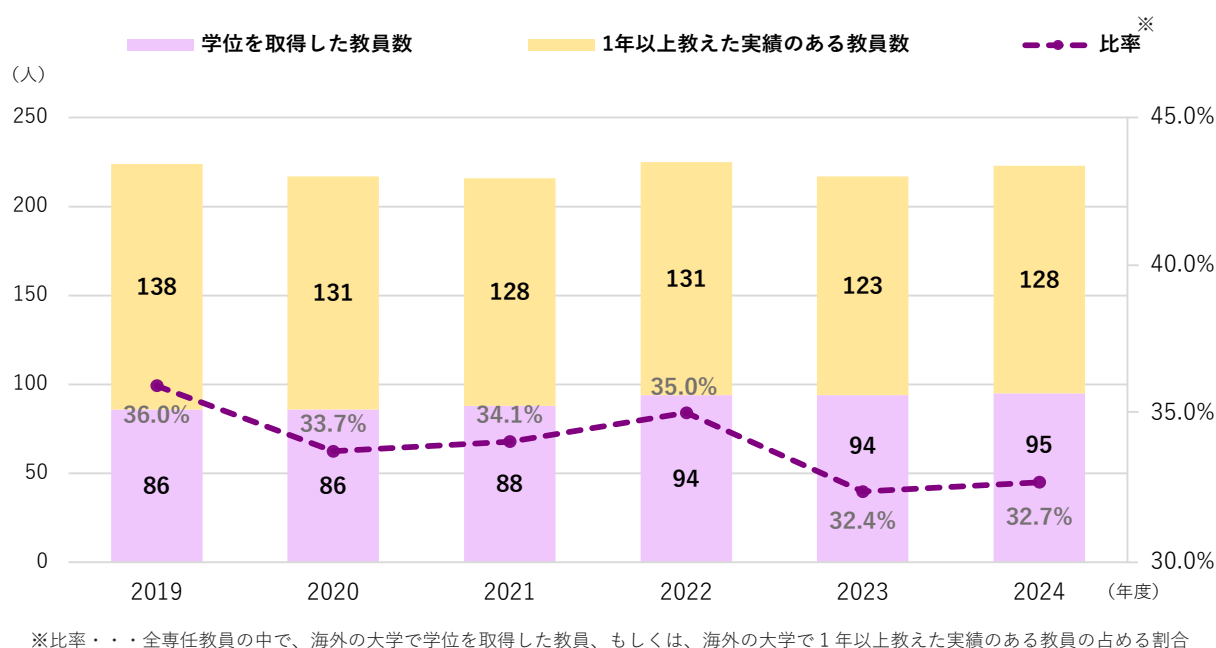
※ 2: 特外・・・特別外国人学生の略称、協定校からの交換留学生

※ 2020・2021 年度は、COVID-19 による影響を受け、送出し・受入れ共に減少しています。

3. 教員

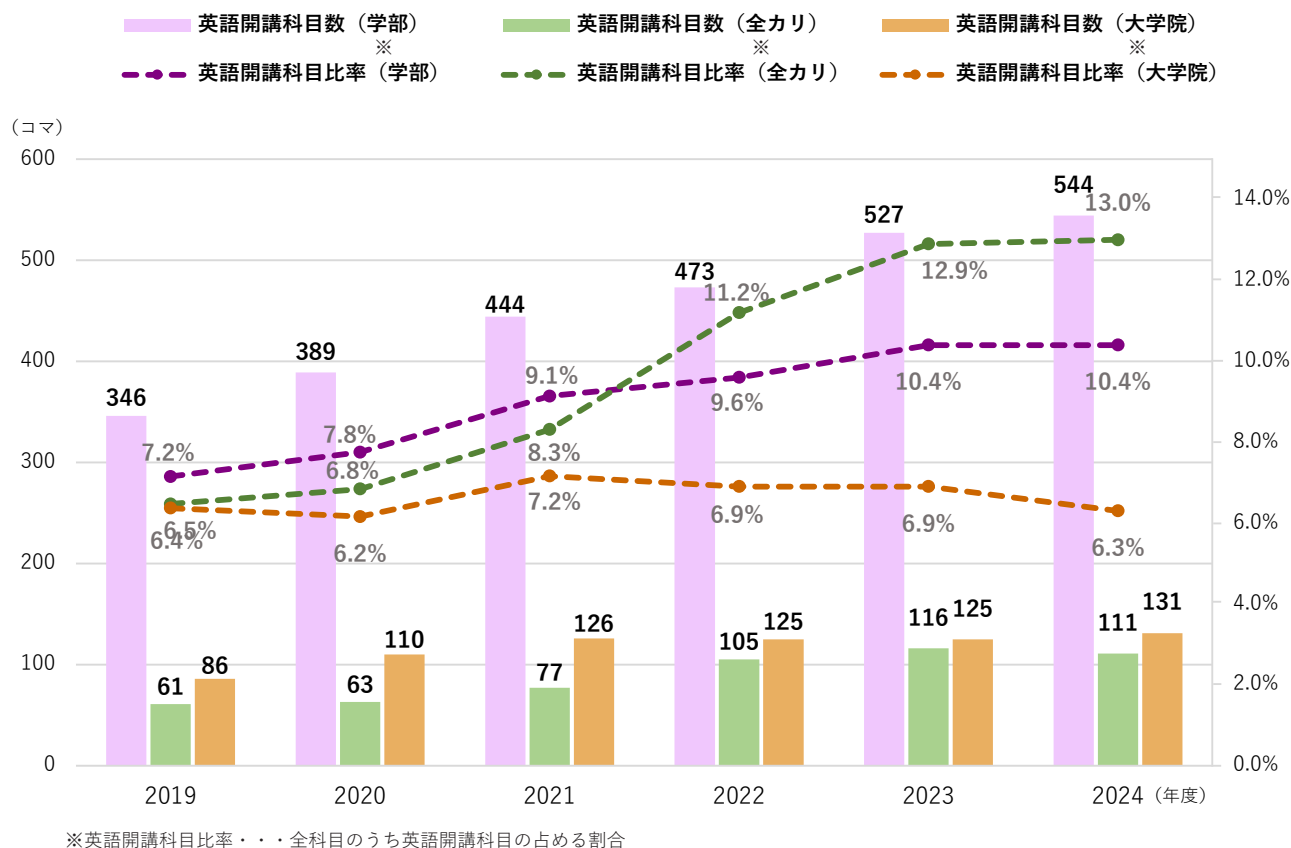


海外の大学で学位を取得した教員数 もしくは、海外の大学で1年以上教えた実績のある教員数

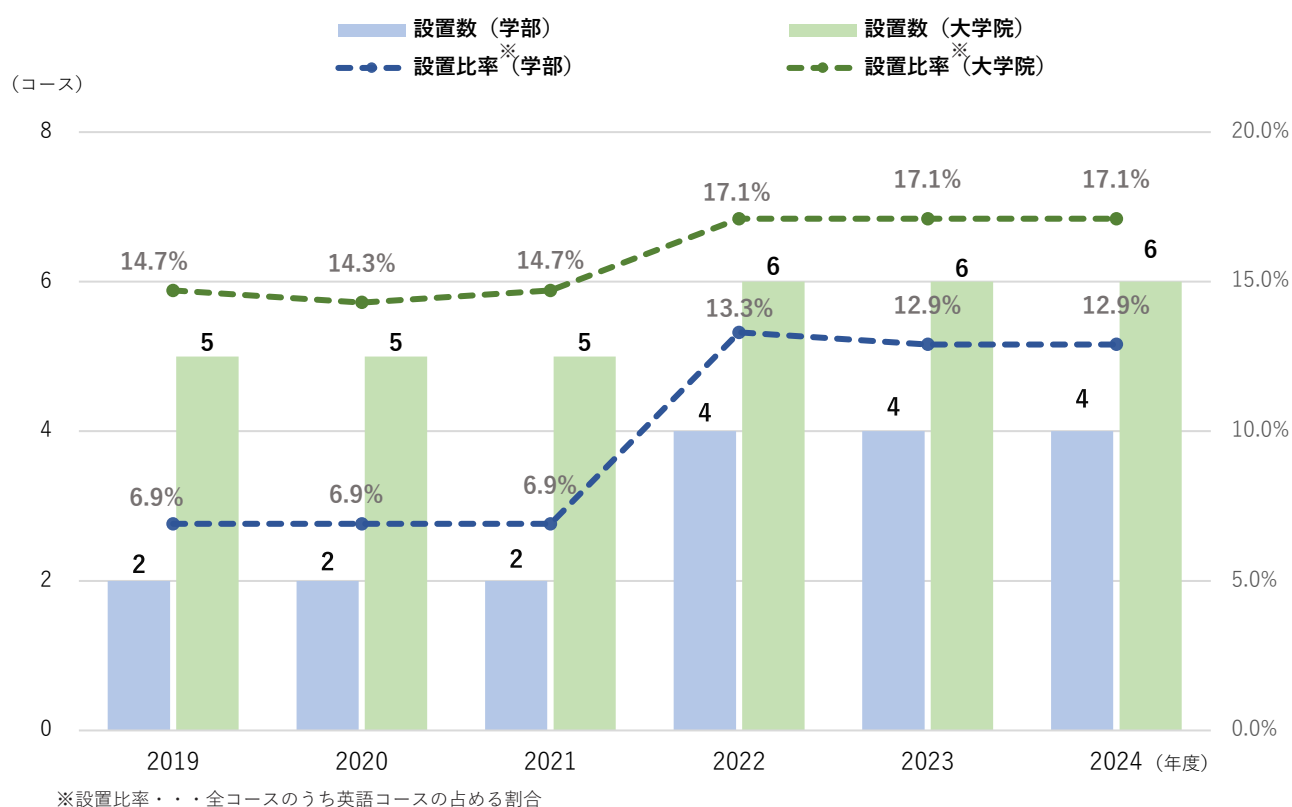


4. カリキュラム

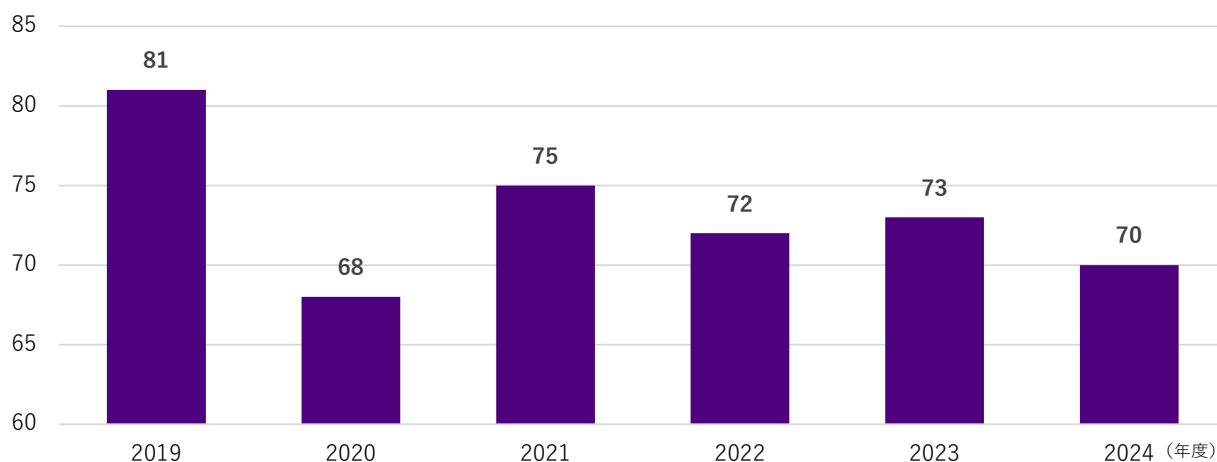
英語開講科目



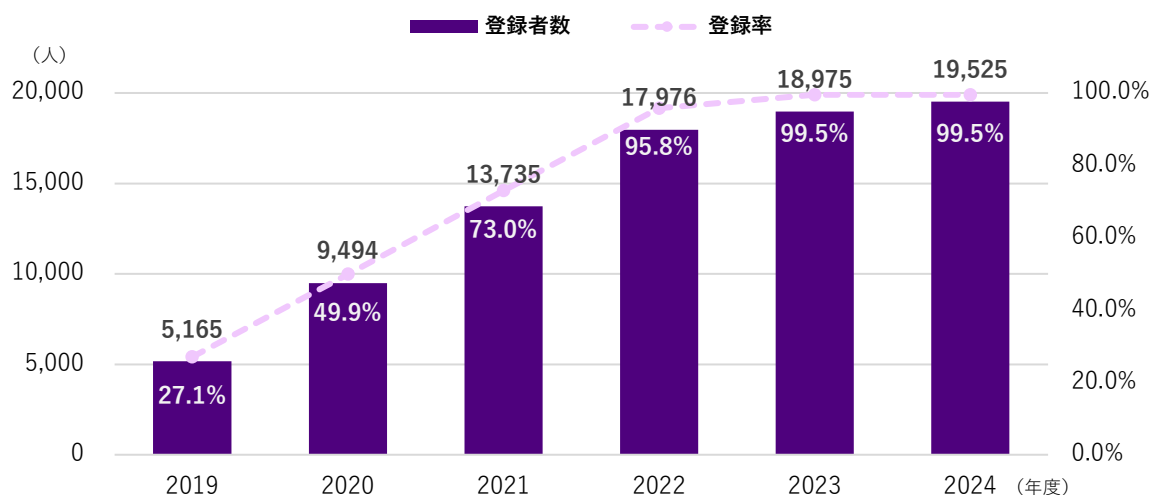
英語コース設置数



正課海外プログラム数



グローバル教養副専攻登録率



※ 2019 年度入学者から、各学部が推奨するコースに全員初期登録を行うよう制度変更しました。

KEY WORDS

グローバル教養副専攻

グローバルな視点に立った教養人の育成を目標とした全学部生対象の教育プログラムです。所属学部の専門性に加え、これからの社会で必要とされる、グローバルかつ多面的に物事を考える力を身につけるため、興味・関心に沿って学部横断的に学んでいきます。

■ 修了までの流れ

Step 1

【コース・テーマの本登録・変更手続き】
対象：学部 1 ～ 4 年次

Step 2

【科目の履修と海外体験の修得・申請】

Step 3

【修了認定】
卒業年次の 1 月 31 日までに各コース・テーマの科目履修と海外体験の認定申請を行い、修了要件が満たされた場合、卒業証書とともにグローバル教養副専攻の修了証が授与される

■ 選べる 3 つのコース

Arts & Science Course

幅広い知識と教養、総合的な判断力を養うコース

Language & Culture Course

より専門的な英語のスキルや、英語以外のさまざまな言語と文化を学ぶコース

Discipline Course

データ活用能力やリーダーシップなど、実践的なスキルを養うコース

スーパーグローバル大学創成支援事業の事後評価にて「A」評価を獲得

立教大学は2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、以降10年間にわたり「グローバルリベラルアーツ×リーダーシップ教育×自己変革力—世界で際立つ大学への改革—」をテーマとした多彩な取組みに注力してきました。2025年3月、これまでの取組みに対する事後評価結果が公表され、本学は「A」評価を受けました。

2022年9月には、留学生の受入れの枠組みとして、「Rikkyo Study Project (RSP)」をスタートさせ、これまで以上に多様な国・地域から留学生が集い、キャンパスの国際性はますます高まっています。10年間の主な取組みと成果は以下のとおりです。

TOPICS
1

立教大学の交際交流

協定校の拡充や短期日本語プログラム等の実施を通じて、2024年度には1,509人の留学生を受け入れました。また、多様な海外派遣プログラムやゼミ等を通じて2024年度にはのべ1,428人が海外に渡航しました。

さらに、池袋・新座両キャンパスの「グローバルラウンジ」では、対面やオンラインでの交流イベントを日常的に開催するとともに、「祈りの部屋 / Prayer Room」や「ハラル認証」を取得した学食の運営など、キャンパスの中での異文化体験・多様性を重視した取組みを行っています。

TOPICS
3

GLAP の開設

2017年、英語でリベラルアーツを学ぶ Global Liberal Arts Program (GLAP) を開設しました。超少人数教育や海外リベラルアーツ校への一年間の留学、立教の特色である「リーダーシップ教育」を英語で学ぶ経験などを通じて、複眼的な視点で物事を判断する力を身に着けた学生を育成します。海外リベラルアーツ校から教員を招いて実施する授業など、一部の授業は他学部の学生も履修できます。GLAPのほかにも、異文化コミュニケーション学部、経営学部、社会学部、法学部など、英語で専門を学ぶコースや科目群を展開しています。

TOPICS
2

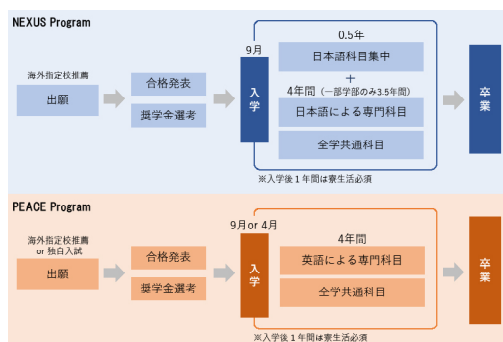
大学院の国際化

大学院についても英語コースの枠組みを構築し、経営学研究科国際経営学専攻公共経営学コース (MPMA コース) 及び社会デザイン研究科公共・社会デザイン学コース (MSDA コース) において、各国から留学生を受け入れています。インドネシア政府の幹部候補生を受け入れるダブル・ディグリープログラムを軸に開始しましたが、現在は一般入試のほか、JICA 連携方式 (ABE・SDGs、JDS) 等の枠組みも活用しており、2024年度までにベトナム、フィリピン、ネパール、ホンジュラス、ザンビア、サモア、キルギス等から、総計160名の留学生を受け入れています。

TOPICS
4

外国人留学生受け入れ制度「Rikkyo Study Project」

2022年9月より正規学部留学生受け入れ制度「Rikkyo Study Project (RSP)」を開始しました。本制度では、多様な国・地域から正規学部留学生の受け入れを目指し、英語で教授される科目のみで教育課程を編成する「PEACE Program」と、入学後に集中的に日本語学習を行い、その後学部の既存カリキュラムで学ぶ「NEXUS Program」で構成しています。寮や奨学金などの支援にも力を入れ、2024年度までにPEACEプログラム24名、NEXUSプログラム10名を受け入れてきました。2025年度には、PEACEプログラム21名、NEXUSプログラム7名が入学予定です。ベトナム、モンゴル、マレーシア、アメリカ、ドイツ、オーストラリアなど、様々な国から留学生が集い、多様性はますます広がっています。



国際化のための様々な取り組み

創立時から受け継がれる立教大学の国際性は、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択に続き、2021年度に本学を含むアジア4大学の連携事業である「ACEプログラム」が文部科学省の「大学の世界展開力強化事業～アジア高等教育共同体形成促進～」に採択されるなど、歩みを止めることなく進化を続けています。

TOPICS 5

ACEプログラム – 大学の世界展開力強化事業 –

立教大学は、アジア最高峰の大学である、ソウル大学校自由専攻学部 (The College of Liberal Studies, Seoul National University)、北京大学元培学院 (Yuanpei College, Peking University)、シンガポール国立大学 NUS カレッジ (NUS College, National University of Singapore) とともに国際共同教育のためのコンソーシアムを形成するために、東アジア・ASEANにおけるリベラルアーツ教育の発展を共同で目指す協定を結びました。そしてこの取り組みが、文部科学省が選定する「大学の世界展開力強化事業～アジア高等教育共同体形成促進」の2021年度新規採択事業として選定されました。今回の協定に基づき、ソウル大学校、北京大学およびシンガポール国立大学と本学による「リベラルアーツ教育」を共同テーマとした大学間国際コンソーシアム「The Asian Consortium for Excellence in Liberal Arts and Interdisciplinary Education (The ACE)」を形成し、リベラルアーツ教育を基礎として、学問分野や地理的境界を越境し、共通性と多様性に富むアジア文化圏に学ぶ学生や地域の人々との多様な協働を通じて、行動できる人材を育成していきます。この The ACE の中核を担うプログラムを総称して「ACEプログラム」と呼称しています。

ACEプログラムには2学期2大学の交換留学、長期休業期間中に開催されるサマーインテンシブプログラム、ウィンターインテンシブプログラム、オンラインを用いた学びなど様々な取り組みが用意されており、本学では異文化コミュニケーション学部、経営学部、GLAP が参加しています。

2023年度は6名、2024年度は3名に対して国際共同副専攻修了証を授与しました。パートナー大学からも多数の学生を受け入れており、活発な学生交流が続いています。



TOPICS 6

新たな国際交流寮「REH 池袋」が誕生

大学の新たな専用寮として「Rikkyo Edification Hall 池袋 (REH 池袋)」を竣工しました。RIR 椎名町、RUID 朝霞台、RUID 志木に続く4棟目の国際交流寮で、2025年3月末より利用を開始しました。

協定校からの交換留学生（特別外国人学生）、GLAP生、PEACEプログラム生などが入居し、外国人留学生の日々の生活をサポートするレジデント・サポーター[※]の学生も共に居住することで、寮生活の中で国際交流を深めています。

※レジデント・サポーター

立教大学では、国際交流寮に居住しながら外国人留学生の日々の生活をサポートするレジデント・サポーター (RS) 制度を設けています。RSとして留学生と共同生活を送り、彼らを支援する経験は、国際感覚や外国語運用能力、異文化理解力の向上にもつながっています。

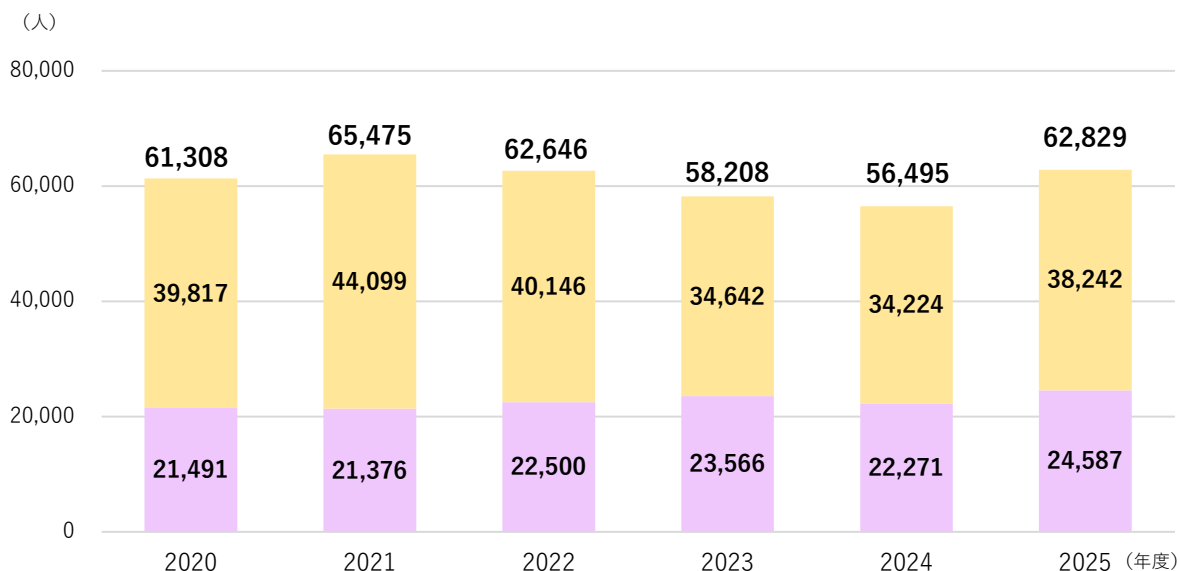


VI 入試

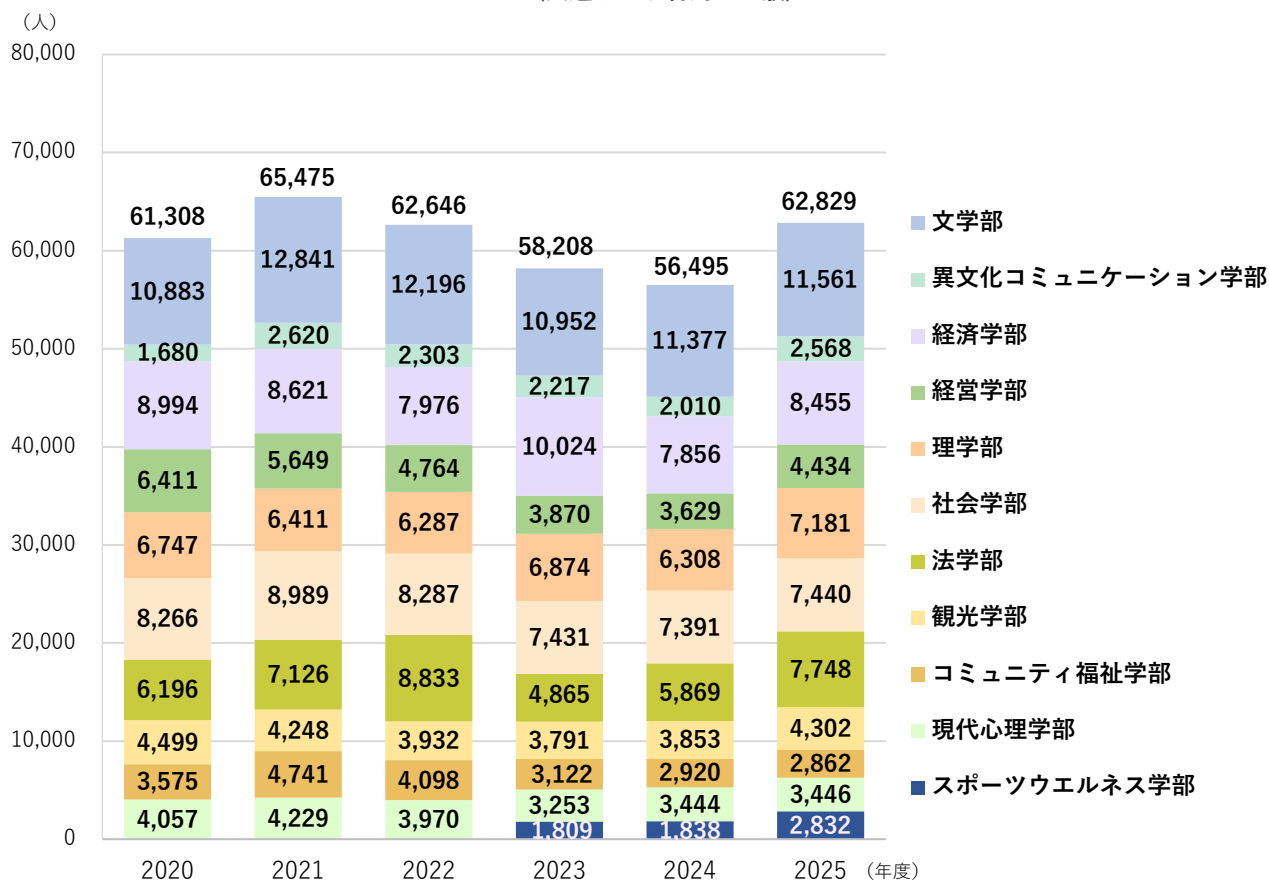
1. 入試

全学 入試種別 志願者数

■ 共通テスト利用 ■ 一般



学部別志願者数
(共通テスト利用・一般)



※すべて延べ人数で集計しています。

都道府県別志願者数・合格者数（2025 年度 一般入試）

（人）

都道府県	志願者数	合格者数
北海道	328	58
東北地方	青森県	74
	岩手県	62
	宮城県	208
	秋田県	42
	山形県	77
	福島県	193
関東地方	茨城県	1,199
	栃木県	418
	群馬県	473
	埼玉県	6,112
	千葉県	4,367
	東京都	14,524
	神奈川県	5,949
中部地方	新潟県	226
	富山県	82
	石川県	95
	福井県	8
	山梨県	227
	長野県	384
	岐阜県	78
	静岡県	641
	愛知県	544

都道府県	志願者数	合格者数
近畿地方	三重県	57
	滋賀県	12
	京都府	53
	大阪府	140
	兵庫県	135
	奈良県	52
	和歌山県	20
中国地方	鳥取県	23
	島根県	1
	岡山県	118
	広島県	172
	山口県	51
四国	徳島県	26
	香川県	63
	愛媛県	42
	高知県	33
九州	福岡県	231
	佐賀県	60
	長崎県	31
	熊本県	68
	大分県	24
	宮崎県	44
	鹿児島県	113
沖縄県	176	30

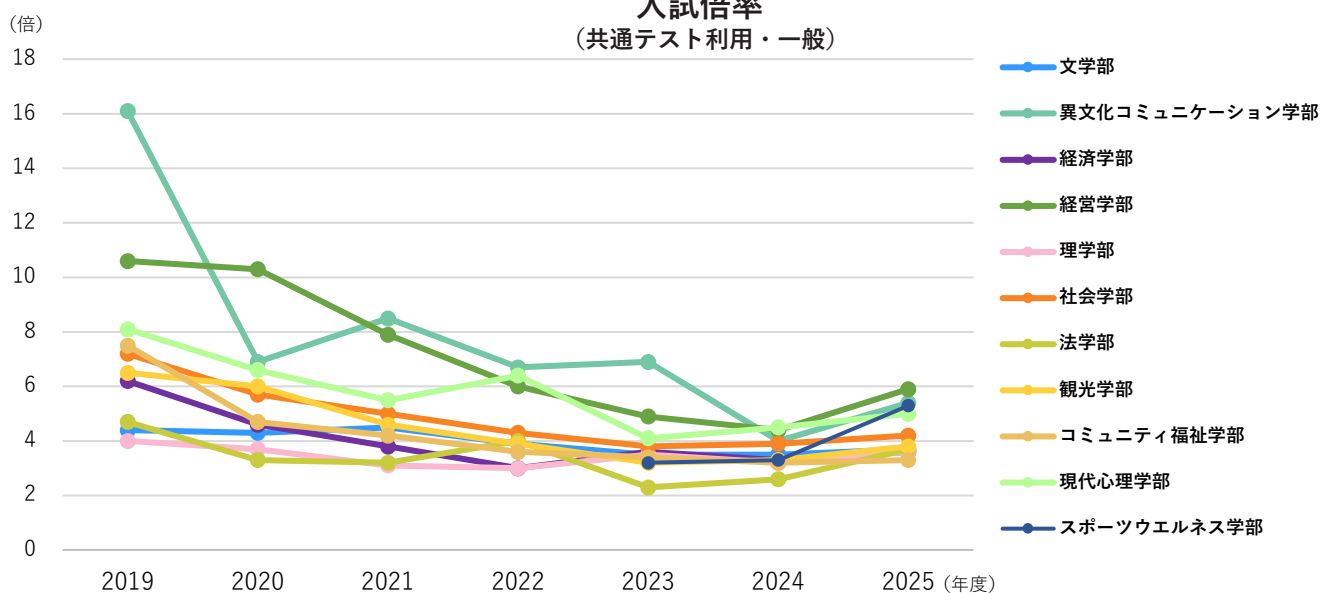
…志願者数 1,000 人以上

…志願者数 100 人以上

2025 年度 一般入試 地方別志願者・合格者 構成比率

地方	志願者数（人）	合格者数（人）	志願者構成比率	合格者構成比率
北海道	328	58	0.9%	0.7%
東北地方	656	108	1.7%	1.3%
関東地方	33,042	7,357	86.8%	89.4%
中部地方	2,285	410	6.0%	5.0%
近畿地方	469	85	1.2%	1.0%
中国地方	365	48	1.0%	0.6%
四国	164	27	0.4%	0.3%
九州・沖縄	747	133	2.0%	1.6%

※すべて延べ人数で集計しています。併願している場合には、当該受験者の都道府県に、併願数分カウントしています。
都道府県は、出身高校の所在地をもとに集計しています。

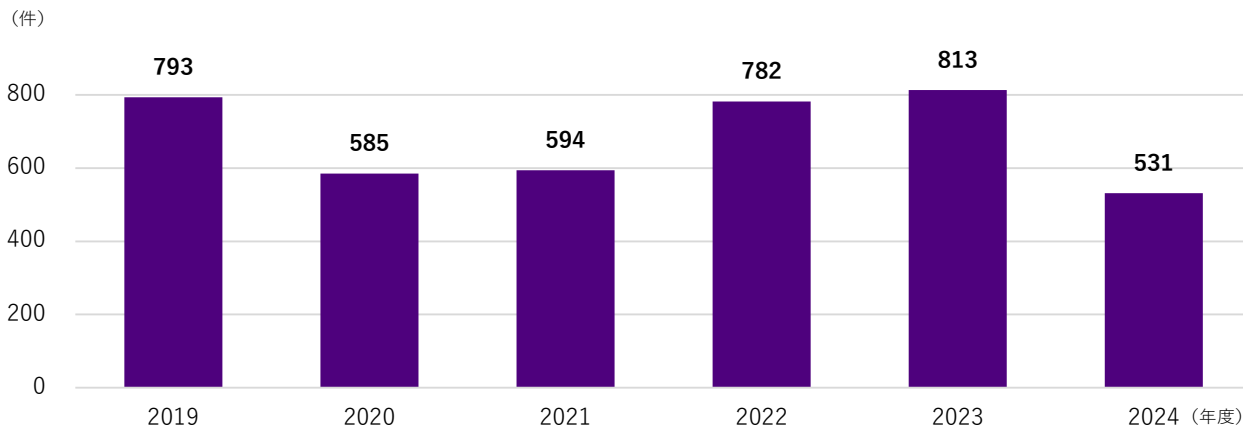
入試倍率
（共通テスト利用・一般）

※倍率は、「受験者数（志願者のうち、入試当日に出席した数）÷合格者数」で計算しています。
ただし、共通テスト利用については「志願者数÷合格者数」で計算しています。（共通テスト利用は「受験者数＝志願者」としているため）

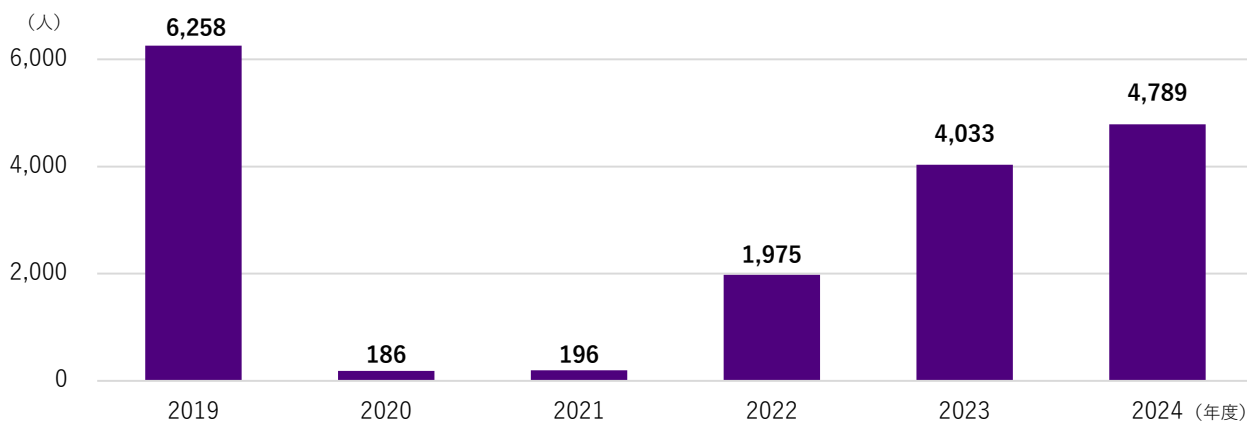
VII 広報・ブランドイメージ・ランキング

1. 広報活動

マスメディア 取材依頼件数

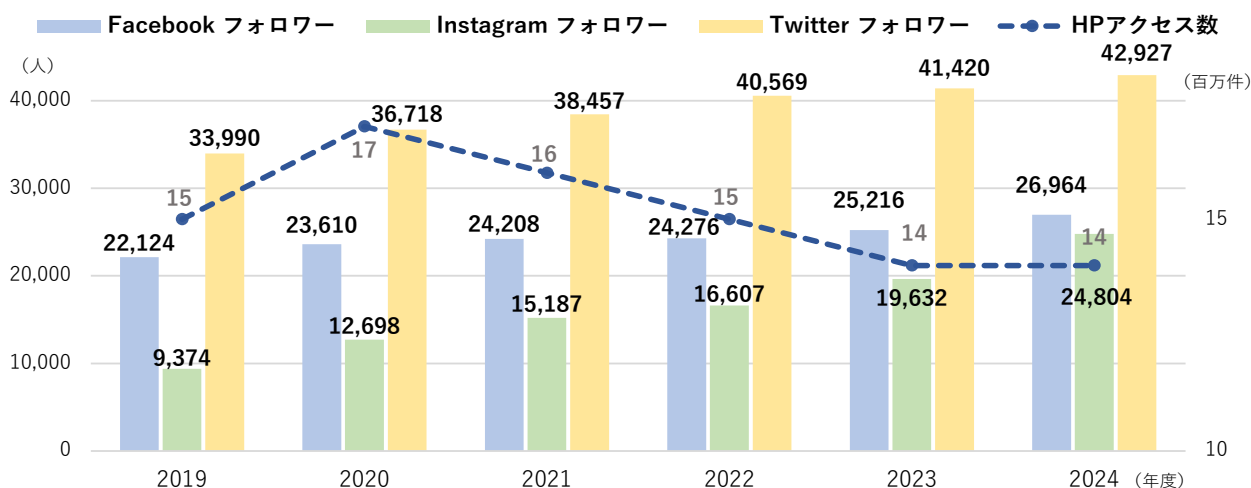


大学見学受入れ人数



※ 2020 年度以降ののマスメディアの取材件数や大学見学の受入れ人数は COVID-19 の影響により減少しましたが、取材によりコロナ禍における学生の学びやクラブ活動での活躍、入試制度や英語教育カリキュラムの改革など、本学の特徴的な話題が取り上げられ、Web サイトのアクセスや SNS フォロワー数も順調に増加しました。

Web サイト・SNS



2. ブランドイメージ・ランキング

日経BPブランドイメージ調査総合ブランド力 (2024年11月発表 対象者：学生の父母)	スコア 67.5点 順位 12位
THE 世界大学ランキング (2024年10月発表)	1501位+
	国内大学 63位タイ
	「国際性」スコア 国内大学4位 私立大学1位
THE アジア大学ランキング (2025年4月発表)	601+位
THE 日本大学ランキング (2025年4月発表)	総合40位 私立大学10位

KEY WORDS

THE 世界大学ランキング

イギリスの高等教育専門週刊誌『タイムズ・ハイアー・エデュケーション』が2004年から毎年秋に公表している世界の大学ランキングです。

THE 世界大学ランキング2025は世界115の国と地域の約2,000以上の大学を対象としたランキングで、Teaching（教育）、Research environment（研究環境）、Research quality（研究の質）、International outlook（国際性）、Industry（産業）の5つのスコア（指標）から総合順位が決定されます。

今回のランキングで、本学はInternational outlook（国際性）のスコアで国内4位（私立大学では1位）と健闘しました。同指標は、自国籍学生に対する外国人留学生比率、自国籍教員に対する外国人教員比率、国際共同論文の3点から構成されています。

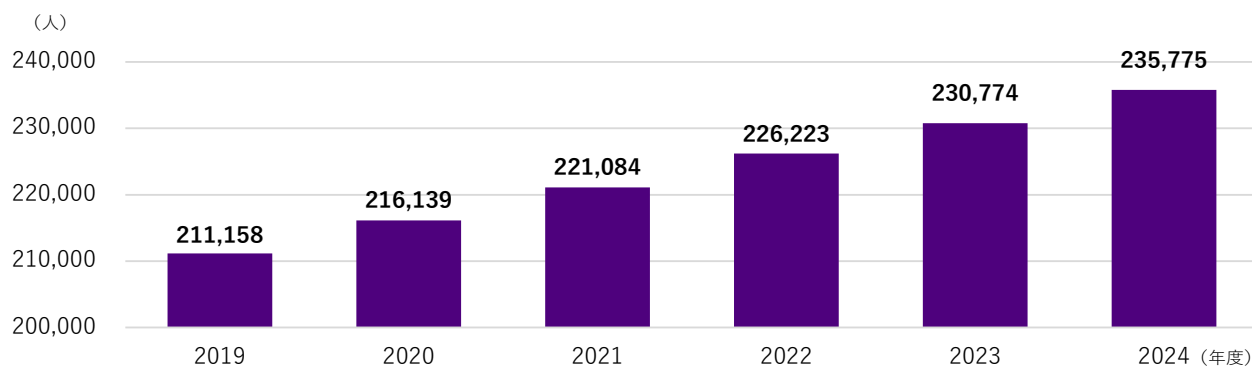
上位にランクインする大学のほとんどが医学系の学部を持つ中、本学の国内順位は63位タイでした。



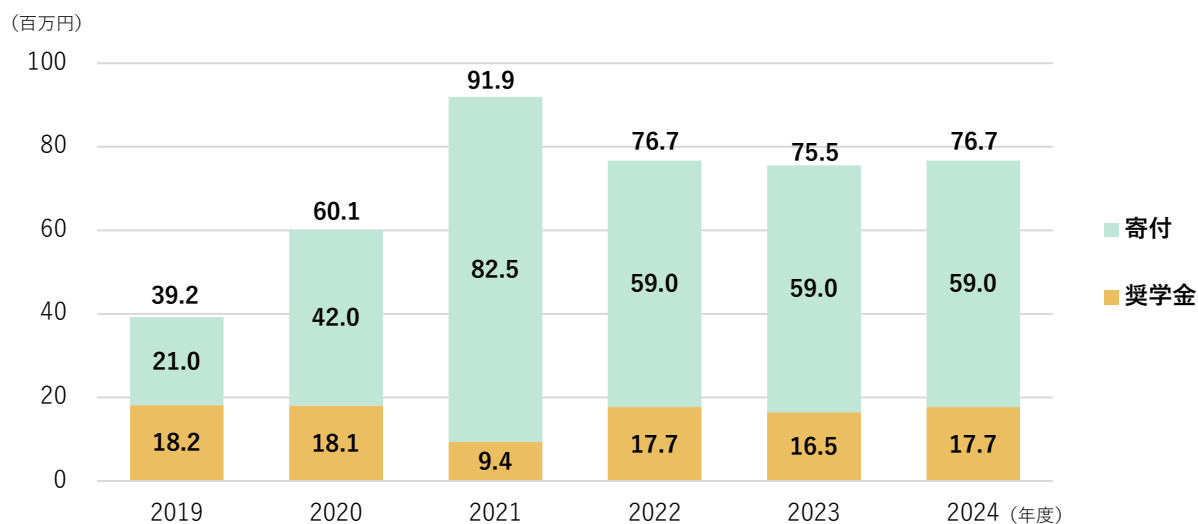
VIII 校友

1. 卒業生

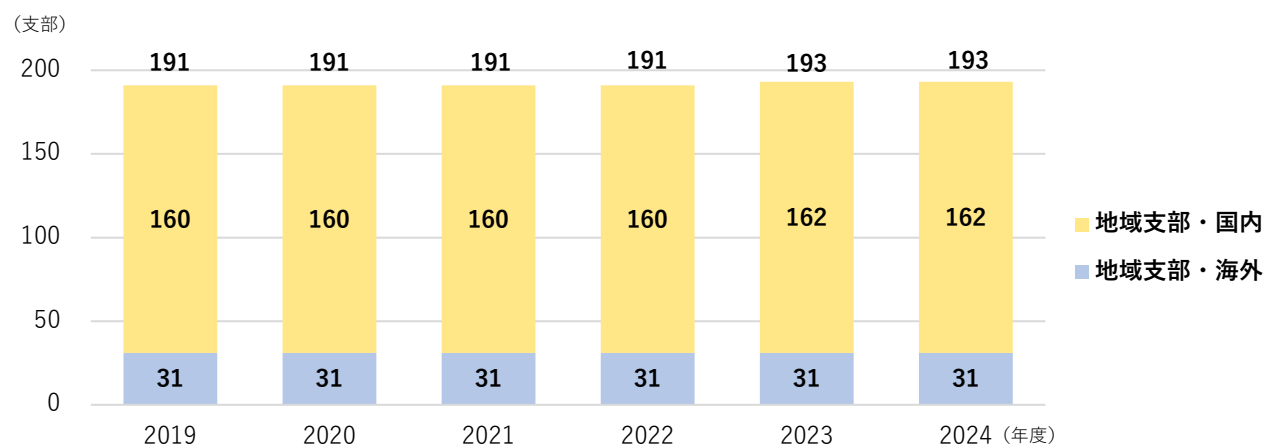
校友数



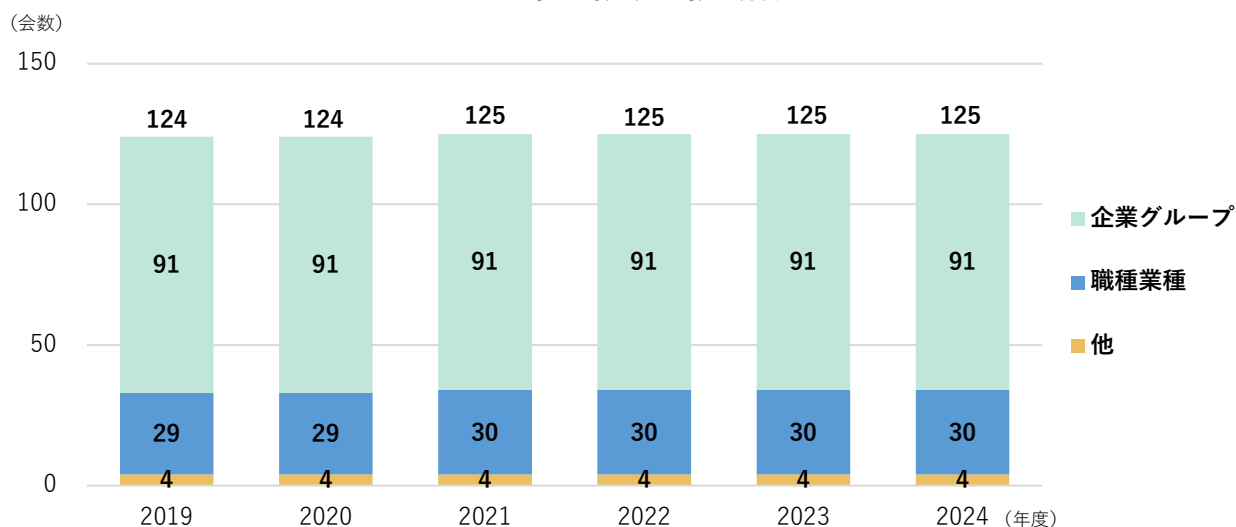
校友会から大学への助成金額



地域支部立教会数



企業・職域立教会数



TOPICS

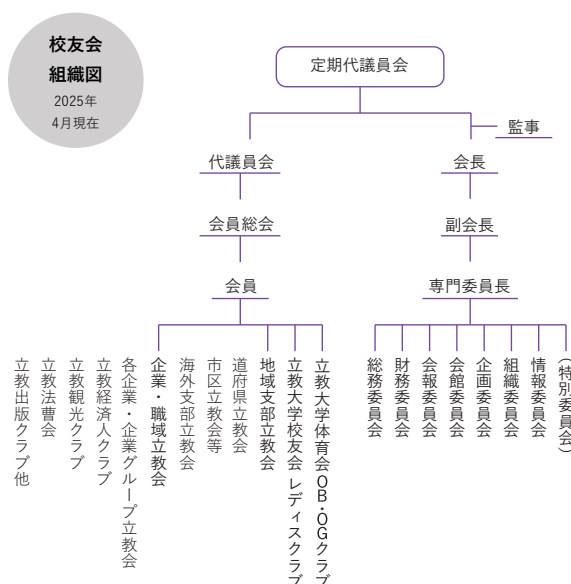
立教大学校友会

TOPICS

1

立教大学校友会とは

明治40（1907）年立教大学校友会が成立し、昭和14（1939）年立教大学同窓会として独立（昭和35（1960）年立教大学校友会と改称）以来、校友会は、立教大学（立教学校、立教大学校、大阪英和学舎、立教専修学校、東京英語専修学校、立教工業理科専門学校及び立教大学大学院）全卒業生・修了者をもって組織・構成されています。「会員相互の親睦を図り、立教大学の発展に寄与すること」を目的に、5月と3月の定期代議員会、会員総会、全国地域支部代表者会議、企業等立教会交流会、その他「地区校友の集い」、「周年の集い」などの開催を行っています。



2025年度開催予定行事

第87回会員総会・定期代議員会
(2025年5月17日(土))

第63回ホームカミングデー
(2025年10月19日(日))

卒業おめでとう祝賀パーティー
(2026年3月)

地区校友の集い
(2025年6月以降順次開催予定)

年次別校友の集い

立教大学校友会 公式 SNS

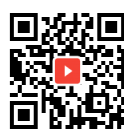
キャンパスの写真やイベントのお知らせを
発信しています。是非ご覧ください。



Facebook



Instagram



YouTube

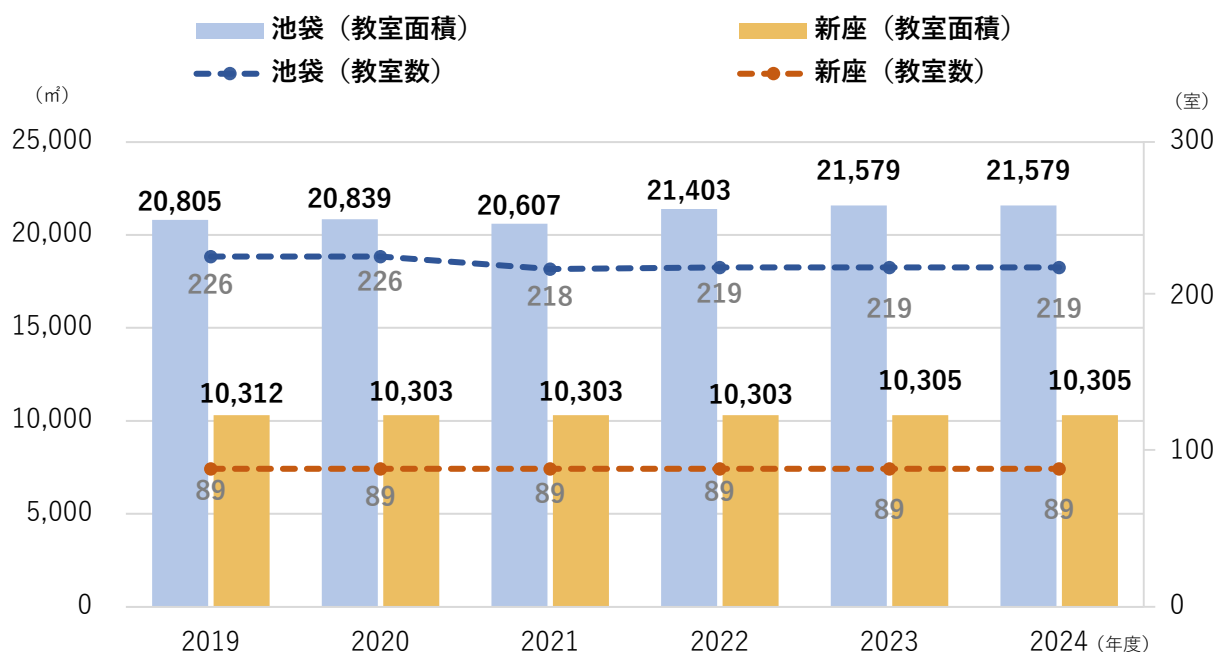


LINE

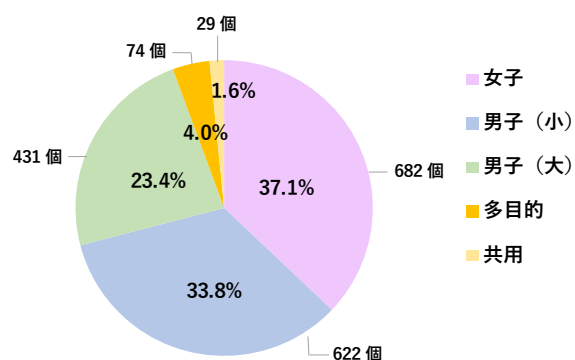
Ⅸ 大学運営

1. 教育研究施設

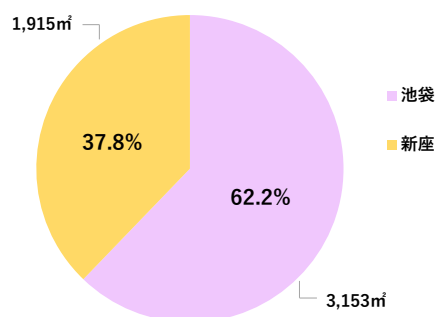
教 室



トイレの個数



アメニティスペース面積



※アメニティスペース・・・ラウンジ、コモンルーム等

食 堂

キャンパス	建物名	階数	食堂名	面積 (㎡)
池袋キャンパス	第一食堂	1F・2F	第一食堂	868
	5号館	B1F	レストラン アイビー	455
	9号館	1F	軽食堂	373
	12号館	1F	TULLY'S COFFEE	78
	ウィリアムズホール	2F	東京ハラルデリ & カフェ	327
	セントポールズ会館	1F	日比谷松本楼セントポールズ会館店	169
新座キャンパス	4号館	1F	コモンルーム	318
	4号館	1F	St.Pauls Cafe（こかげ）	465
	食堂棟	1F	Forest	1209
富士見総合グラウンド	クラブハウス	2F	食堂	170

※面積はホール・厨房を含みます。

耐震化率

キャンパス名・その他施設	耐震化率
池袋キャンパス	100%
新座キャンパス	100%
その他施設	100%
施設合計	100%

※その他施設・・・池袋キャンパス・新座キャンパス以外の課外活動施設、研究施設、廃棄物保管庫、教職員住宅

LED化率

キャンパス名	LED化率
池袋キャンパス	約37%
新座キャンパス	約50%



セントポールズ・アクアティックセンター

公認記録が取得できる体育施設

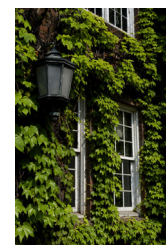
キャンパス名	施設名
新座キャンパス	セントポールズ・アクアティックセンター (SPAC)
	セントポールズ・フィールド



セントポールズ・フィールド

ツタの種類

ツタの種類	場所
テイカカヅラ	本館北側メーザーライブラリー記念館旧館側の一部、2・3号館北面
キヅタ（フユヅタ）	本館北側礼拝堂側の一部、8号館北側
ナツヅタ	本館を含め、上記以外の全て



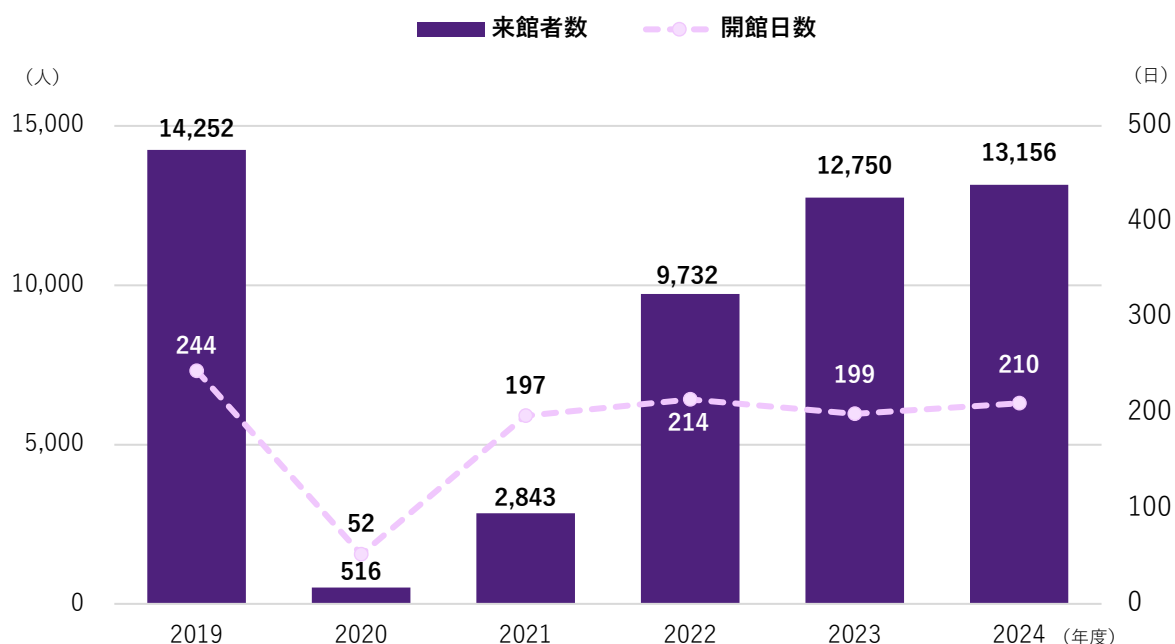
モリス館のツタ

施設別受賞歴

年度	建物	受賞名	主催
1998	池袋キャンパス周辺	豊島区アメニティ形成賞	豊島区
	新座キャンパス（全体）	彩の国景観賞（たてもの・まちなみ部門）	埼玉県
1999	レンガ造建物（6棟）	東京都選定歴史的建造物	東京都
2001	諸聖徒礼拝堂	BELCA（ベルカ）賞 ロングライフ部門	建築・設備維持保全推進協会
2002	立教通り	公共の色彩賞	公共の色彩を考える会
2005	第一食堂	BELCA（ベルカ）賞 ベストリフォーム部門	建築設備維持保全推進協会
2006	11号館	グッドデザイン賞（建築・環境デザイン部門）	日本産業デザイン振興会
		国際照明デザイン賞	北米照明学会
		タイルデザインコンテスト 優秀賞	ダントー株式会社
	新座キャンパス（全体）	グッドデザイン賞（建築・環境デザイン部門）	日本産業デザイン振興会
		彩の国景観賞（たてもの・まちなみ部門）	埼玉県
2007	新座キャンパス（全体）	優秀作品2007 選定	日本建築家協会
2008	新座キャンパス（全体）	作品選集 選定	日本建築学会
2008	太刀川記念交流会館	グッドデザイン賞（建築・環境デザイン部門）	日本産業デザイン振興会
		タイルデザインコンテスト 優秀賞	ダントー株式会社
		優秀作品2008 選定	日本建築家協会
2009	太刀川記念交流会館	作品選集 選定	日本建築学会
		JIA環境建築賞 優秀賞	日本建築家協会
		日事連建築賞 優秀賞	日本建設事務所協会連合会
		日本建築士会連合会賞 優秀賞	日本建築士会連合会
	学院事務棟アネックス	優秀作品2009 選定	日本建築家協会
2010	学院事務棟アネックス	作品選集 選定	日本建築学会
2012	新座キャンパス 4・8号館	JSCA賞（日本建築構造技術者協会賞）	日本建築構造技術者協会
	ロイドホール	省エネ照明デザインアワード受賞	環境省
2013	ロイドホール	グッドデザイン賞 受賞	日本産業デザイン振興会

2. 立教学院展示館・旧江戸川乱歩邸

立教学院展示館 年間来館者数・開館日数



TOPICS

立教学院展示館

TOPICS 1

立教学院展示館について

立教学院展示館は、立教の歴史と伝統、教育と研究の取り組みを発信する場として、2014年に開館しました。旧図書館の趣を残した2階の展示スペースでは、貴重資料の展示、タッチパネルディスプレイや映像、写真を通して、立教学院の歴史を分かりやすく学ぶことができます。

TOPICS 2

展示館内の見どころ

建学の精神の理解を深める場

常設展示では、グラフィックパネルや、当時の資料、写真、物品を使い、創立者ウィリアムズ主教や創立当初からこれまでの立教学院の歩みを分かりやすく紹介しております。

自校史学習の場としての活用

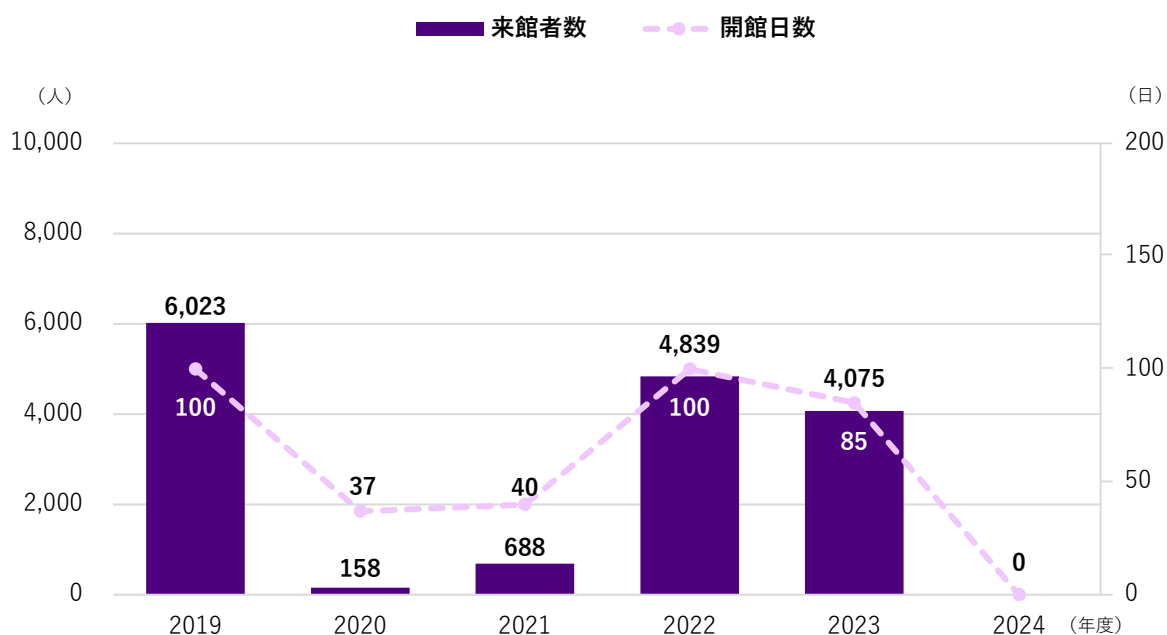
展示館は、立教学院の小・中・高・大の児童・生徒・学生が自校史学習に活用できるよう、子供向けと大人向けのタブレット端末と大型モニターを設置し、分かりやすい自校史コンテンツを用意しております。

デジタルコンテンツ、映像コンテンツが充実

展示物では表現できない情報の発信と、来館者のきめ細かい興味・関心に応じた情報サービス機能の充実を図るため、校地の移り変わりをタッチパネルディスプレイで解説する等、デジタルコンテンツや映像コンテンツを積極的に活用しています。



旧江戸川乱歩邸 年間来館者数・開館日数



※ 2020年度および2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、状況に応じて臨時休館措置を講じました。
 ※ 2024年1月から2025年5月中旬まで、母屋および洋館の改修工事のため臨時休館しました。

TOPICS

旧江戸川乱歩邸

TOPICS
1

旧江戸川乱歩邸について

推理小説作家・江戸川乱歩が、後半生を過ごした邸宅。母屋は1921年、土蔵は1924年築。土蔵のある家を求めている乱歩は、1934年にこの借家へと移り住みます。戦後、奇蹟的に戦火を免れた建物と土地を購入してからは、生活の変化に応じて何度も増改築を繰り返しました。乱歩の没後、ご遺族によって大切に守られてきた建物と旧蔵書などの資料が、乱歩の長男・平井隆太郎氏が本学で教授を務められたご縁から、2002年に立教大学に譲渡されました。2006年には、江戸川乱歩記念大衆文化研究センターが設立され、資料の整理・保存・研究を進めています。

TOPICS
2

改修工事について

2003年に豊島区指定有形文化財に登録された土蔵は、豊島区の補助を受けて、2004年に保存修復工事が完了。母屋や洋館は建材の劣化が進んでいたため、長らく、建物を外から見学するかたちでの公開が行われてきました。2024年度、立教学院創立150周年記念事業の一環として、母屋および洋館の安全性と耐久性を確保するための改修工事が行われ、邸内への入館が可能な状態となりました。また、離れが解体された跡地には、旧蔵資料を保管するための収蔵庫を整備しました。

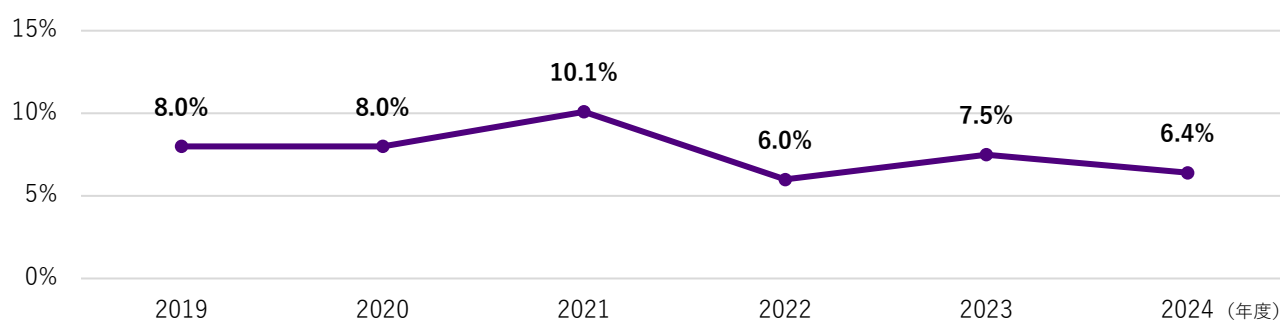
江戸川 乱歩 (1894-1965)

本名・平井太郎。三重県に生まれ、名古屋で育つ。早稲田大学政治経済学科卒業。1923年に「二銭銅貨」でデビュー。代表作に、「人間椅子」「黒蜥蜴」「怪人二十面相」など。

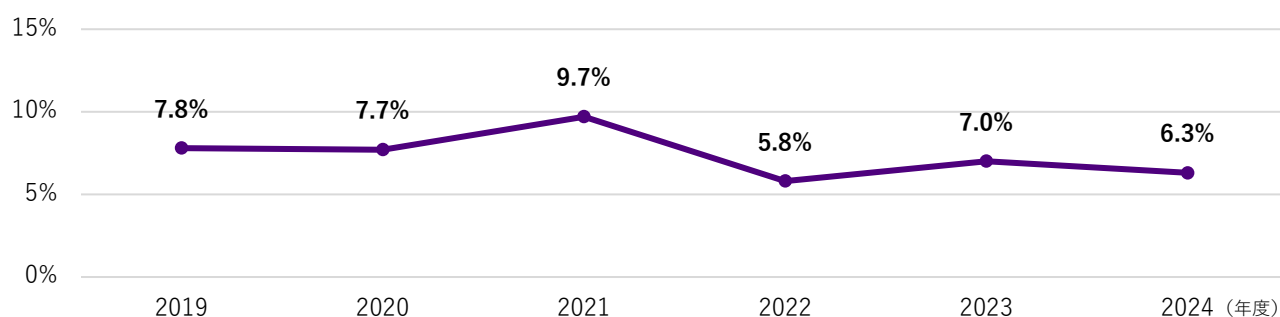


3. 財政

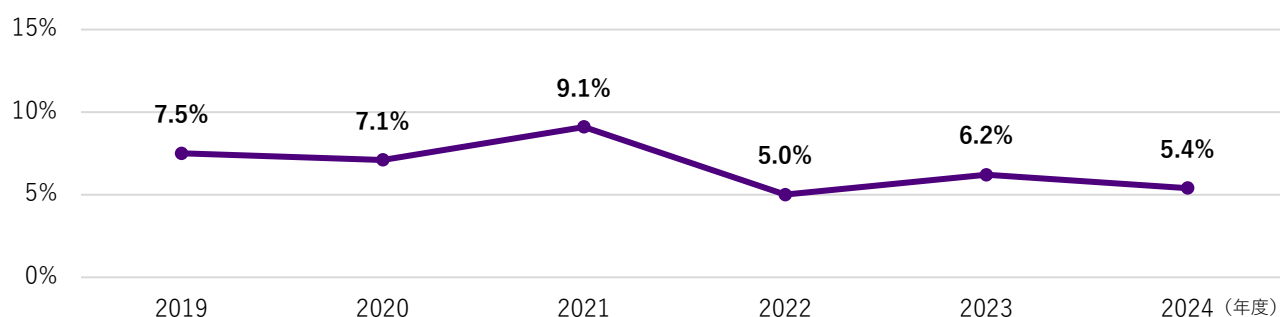
事業活動収支差額比率



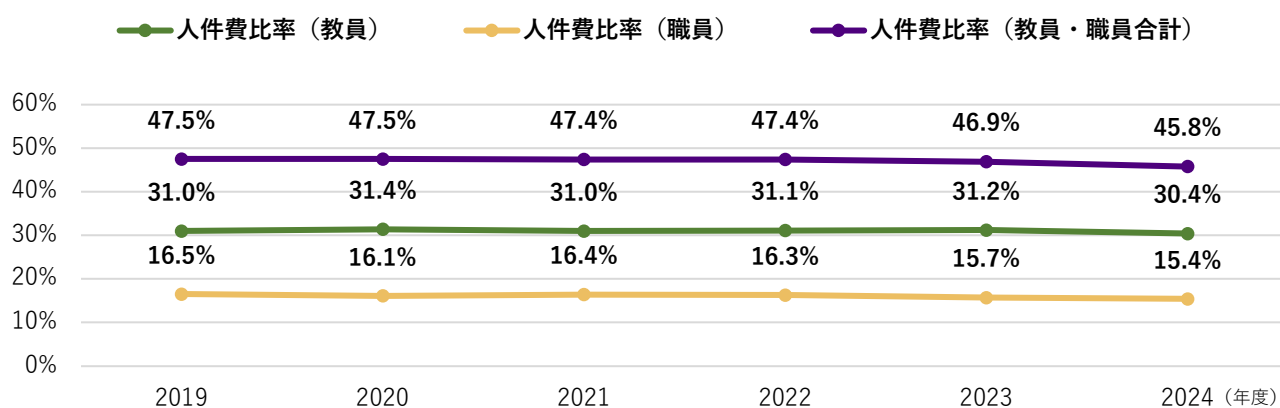
経常収支差額比率



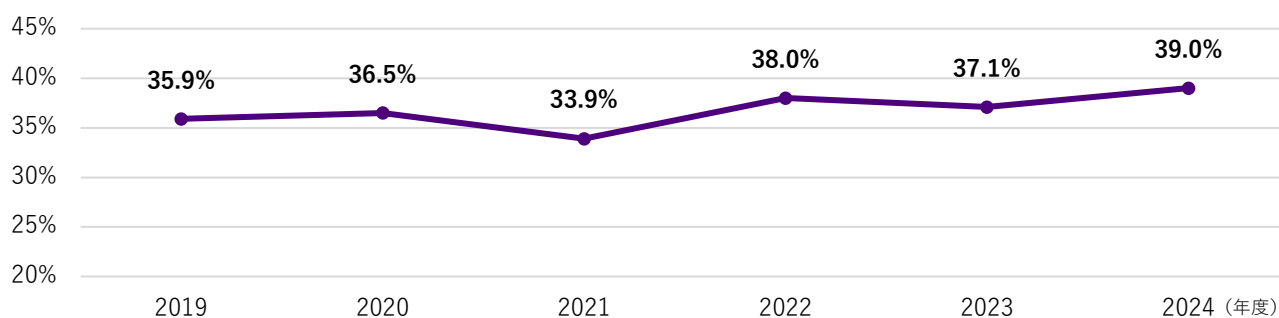
教育活動収支差額比率



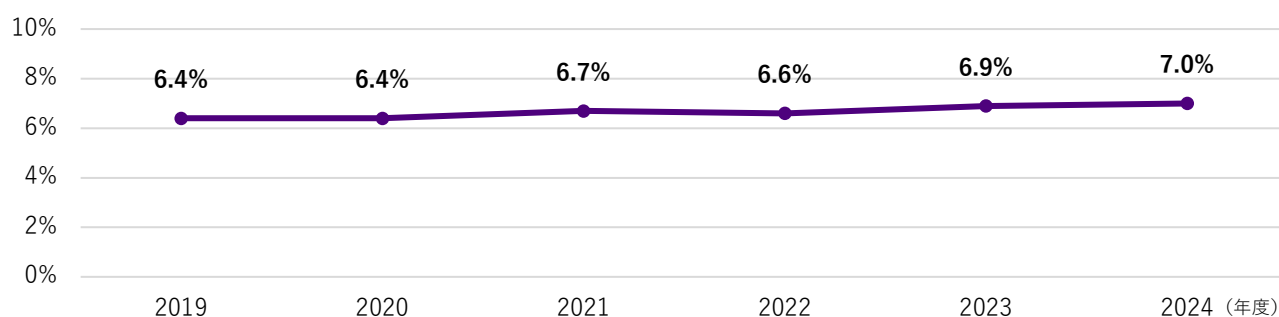
人件費比率



教育研究経費比率

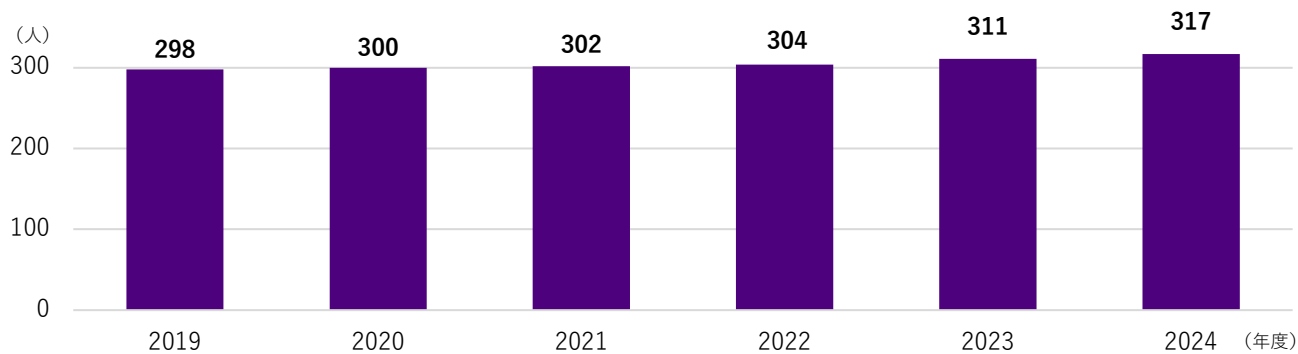


管理経費比率



4. 専任職員数

専任職員数

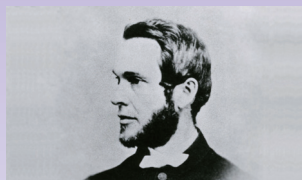


立教大学の沿革

学校法人立教学院は、1874年、アメリカ聖公会の宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教によって創立されました。築地に開校した生徒数名の小さな私塾は、今では小学校・中学校・高等学校・大学・大学院・セカンドステージ大学までを擁する国内有数の一貫連携教育校として発展を続けています。また、立教大学は、2022年に大学認可100周年を迎えました。立教大学の歩みを年表で振り返ります。

1874年

ウィリアムズ主教、築地に聖書と英学を教える私塾を数名の生徒で始める。間もなく立教学校と称する。



1883年

外国人居留置37番に完成したゴシック風レンガ校舎に移転。立教大学校と称した。

1907年

専門学校令により、「立教大学」と称する。文科・商科および予科を置いた。



1918年

9月11日、池袋に移転。



1919年

本館、図書館、寄宿舎(現2号館、3号館)、食堂の落成式。池袋キャンパスとしての歩みを開始。

1922年

大学令による大学として認可される。文学部(英文学科、哲学科、宗教学科、史学科)、商学部および予科を置いた。

1949年

新制大学として認可される。文学部(基督教学科、英米文学科、社会科、史学科、心理教育学科)、経済学部(経済学科、経営学科)、理学部(数学科、物理学科、化学科)を置いた。

1956年

文学部に日本文学科を設置。

1958年

社会学部(社会学科)を設置(文学部社会学科廃止)。

1959年

法学部(法学科)を設置。

1962年

文学部に心理学科、教育学科を設置(心理教育学科廃止)。

1963年

文学部にフランス文学科、ドイツ文学科を設置。

1964年

社会学部に産業関係学科を設置。

1967年

社会学部に観光学科を設置。

1974年

創立100周年記念式典。

1978年

昼間部総合大学として初めての社会人入試を法学部で開始。

1988年

法学部に国際・比較法学科を設置。

1990年

新座キャンパス開校。



2002年

経済学部会計ファイナンス学科、理学部に生命理学科、社会学部に現代文化学科を設置。ビジネスデザイン研究科、21世紀社会デザイン研究科、異文化コミュニケーション研究科開設。江戸川乱歩の邸宅と書庫として使用していた土蔵が、立教大学に譲渡される。



2007年

文学部、経済学部 開設100周年。
法学部 国際・比較法学科を国際ビジネス法学科に名称変更。

2009年

池袋キャンパスにキリスト教学研究科を設置。

2014年

創立140周年。
池袋キャンパスに立教学院展示館を開館。
「スーパースターグローバル大学創成支援」に採択。

2017年

Global Liberal Arts Program (GLAP)開設。

2020年

人工知能科学研究科開設。
新英語教育カリキュラムスタート。

2024年

立教学院創立150周年

21世紀社会デザイン研究科を
社会デザイン研究科に名称変更。

1996年

法学部に政治学科を設置。

1997年

全学共通カリキュラムスタート。

1998年

新座キャンパスに観光学部(観光学科)、コミュニティ福祉学部(コミュニティ福祉学科)を開設。

2004年

創立130周年。
法務研究科(法科大学院)開設。

2006年

池袋キャンパスに経営学部(経営学科、国際経営学科)、新座キャンパスに現代心理学部(心理学科、映像身体学科)を設置。
文学部をキリスト教学科、文学科、教育学科、史学科に改組。
経済学部(経済政策学科、社会学部にメディア社会学科、観光学部に交流文化学科、コミュニティ福祉学部(福祉学科、コミュニティ政策学科)を設置。

2008年

池袋キャンパスに異文化コミュニケーション学部(異文化コミュニケーション学科)を設置。
コミュニティ福祉学部(スポーツウエルネス学科)を設置。
立教セカンドステージ大学開校。

2012年

池袋キャンパスに池袋図書館を開館。

2016年

新しい学びのスタイル「RIKKYO Learning Style」スタート。

2018年

池袋キャンパス100周年。

2023年

コミュニティ福祉学部をコミュニティ政策学科、福祉学科に再編。
スポーツウエルネス学部、スポーツウエルネス学研究科を設置。

立教学院創立 150 周年の取り組み

立教学院は、2024 年に創立 150 周年を迎えました。

創立 150 周年に向けて設定した目標やテーマと主な記念事業・記念企画を以下にまとめました。



創立150周年ビジョン

学びをつないで未来をつくる。

この 150 年で、いや、この 10 年だけでも、世界は大きく変わりました。
あらゆるものが複雑に絡み合い変化し続ける現代を生きる若者のために、
学びの場はどうあるべきか。私たちはいつも考えています。
簡単に正解を見つけ出すことはできないけれど、
ひとつだけ言えることは、これからは「つなげる力」が大切だということです。
異なる知識を持った人同士がつながれば、知識の量が一気に増える。
新しいモノの見方が生まれる。
そして、いままでたどり着けなかった答えにたどり着くことができる。

学びをつないで未来をつくる。

2024 年の創立 150 周年、そしてその先に向けて、
私たちの歴史のなかで培ってきた「共に生きる」という考えに基づく人間教育をベースに、
あらゆる分野の学びをつなぎ、未来をつくるための取り組みをはじめます。

目標

創立から 150 年の歴史・伝統を礎とし、世界を先導する立教を創る

立教学院は創立以来、小学校から大学まで一貫して建学の精神に基づき、世界に通用する倫理観、豊かな個性としなやかな思考力を養う教育機関として、社会への貢献を続けてきました。迎える 2024 年の創立 150 周年は、歴史ある立教の一つの節目であり、未来に向けた宣言の年とし、これまで立教が果たしてきた役割とこれからの使命を再度確認する機会として、創立 150 周年記念事業を位置づけています。150 年の歴史と伝統を礎に、世界の新たな時代・価値観を先導する立教を創ることを目標に、皆さまの叡智を結集して創立 150 周年記念事業を展開していきます。

テーマ

上記の目標を達成するために、「150 年の歴史と伝統」、「先進性、改革精神、未来志向」、「ALL Rikkyo の叡智の結集、ネットワークの活用」といった立教の強みや特徴、変革の方向性を端的に表現した以下の 3 点をテーマに設定しています。設定されたテーマに基づき具体的な事業・企画を立案し、推進していきます。

01

歴史と伝統への
感謝・継承

02

未来への
挑戦・創造

03

ALL Rikkyo の
進化・連携

創立 150 周年に向けたメッセージ

次の立教へ

社会からの要請に応え、各学校教育と一貫連携教育を進化させることにより、他者と共感しながら、未来を拓く力を備えた人を育てる。

01 学校教育の進化

1. 大学の RIKKYO Learning Style の進展
2. 新座中高のグローバルリーダー育成のためのプログラム充実
3. 池袋中高のリーダーシップ教育の新たな展開
4. 小学校の新教育コンセプトの展開「自律・協奏する力と心を育む真正な学び」

02 一貫連携教育の進化

1. 各学校の特色を活かした一貫連携教育の展開
2. グローバル教育の進展
3. 運動部活動支援の具体的な検討

主な記念事業

■ 小学校新校舎建設事業

チャペルや講堂などがある東棟を除いたすべての校舎・教育施設を新しく建設します。2020年に決定した教育の新コンセプト「自律・協奏する力と心を育む真正な学びプロジェクト型学習を中心とした終わらない学びへ」のもとに、普通教室、各専科教室、その他の教育施設を有機的に結びつけ、「いつでも、どこでも、だれとでも学ぶことができる学びの場」を実現します。新校舎の完成により、立教学院の教育理念と教育目標の基礎となる初等教育の一層の充実を図ります。



■ 新座キャンパス9号館建設事業

2023年4月、立教大学が開設したスポーツウエルネス学部・研究科は、「すべての人の生きる歓びのために」を理念とし、豊かな人間性を基礎に、すべての人のウエルネスの向上と、ウエルネス社会の構築に貢献する人材の育成を掲げています。新座キャンパス9号館は、スポーツウエルネス学部・研究科の教育・研究活動施設の確保と増加する学生に対応する施設環境の整備を目的に建設し、新たなイノベーションの創出拠点として魅力ある施設を目指して建設されました。



■ 「立教箱根駅伝2024」事業

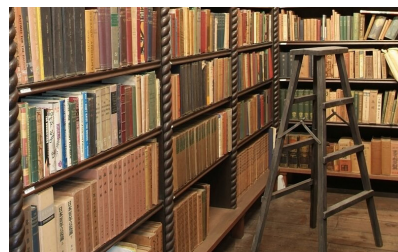
「立教箱根駅伝2024」事業は、創立150周年となる、2024年1月の東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）本選出場を目指して2018年に開始しました。選手やスタッフが一丸となって取り組んだ結果、55年ぶりの出場となった第99回箱根駅伝（2023年）から3年連続で箱根駅伝本選出場を果たしました。

2024年5月には、「立教大学箱根駅伝事業 phase2」を発表し、新たな目標としてシード権獲得が掲げられました。引き続き、皆さまのより一層のご支援をお願いいたします。



■ 旧江戸川乱歩邸施設整備事業

日本を代表する推理小説家、江戸川乱歩は、70歳で死去するまで立教大学の隣地で暮らしました。2002年に乱歩の邸宅と書庫の土蔵（豊島区指定有形文化財）、蔵書等が立教大学に帰属することとなり、江戸川乱歩記念大衆文化研究センターを設立し、研究・保存・公開を進めてきました。「旧江戸川乱歩邸施設整備事業」では、老朽化が進む母屋と洋館の改修に加えて旧蔵資料を保存するための収蔵庫を新設し、邸内には新たな展示室を設けました。江戸川乱歩が後半生を過ごした地で、乱歩の暮らしや作品の背景に触れることのできる施設となりました。



■ 学院史編纂事業

『立教学院八十五年史』1960年刊、『立教学院百年史』1974年刊に次ぐ、約半世紀ぶりの通史として『立教学院百五十年史』全3巻を刊行します。私立学校の改革と発展には、自校史への確実な認識に裏付けられた建学の精神を常に意識し、現代に生かすという視点が欠かせません。本編纂事業を通じて、立教学院が立教学院らしい改革と発展を遂げるための基盤や、学院構成員のアイデンティティの拠り所を改めて確認していきます。『立教学院百五十年史』は、この間の立教史研究の成果を踏まえ、これまでの学院史で未掲載の資料や、新たに発見・整理した資料に基づき、新たな視点・視角から執筆しています。2023年2月3日に第1巻を刊行し、今後、第2巻、第3巻の刊行を予定しています。



■ 新ミッチェル館（仮称）建設事業

新ミッチェル館（仮称）は、学部収容定員増加に伴い、教室や学生スペースなど全学的に活用することができるスペースの創出や、理学部・研究科の教育・研究環境の整備を目的にミッチェル館の跡地に建設します。

ミッチェル館は、1959年4月に誕生した女子学生寮でした。学生寮としての役目を終えたあとも、ミッチェル館の理念を継承したジェンダーフォーラムや各研究所など様々な形で活用されてきましたが、老朽化が進んだため、この度新しく生まれ変わることとなりました。



創立 150 周年記念企画 (2023 年～ 2024 年度実施の主なイベント掲載)

2023

9 月 11 日
～ 9 月 28 日

「立教学院創立 150 周年記念企画展」シーズン 1 「災害の経験に学ぶ 19 世紀から 21 世紀、立教の取り組みから」を開催

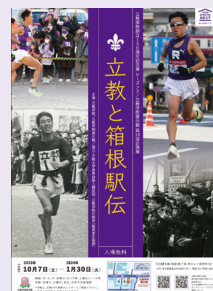
首都圏に甚大な被害をもたらした関東大震災から 100 年となることを踏まえて、「立教と災害」をテーマに、関東大震災を中心に、首都圏を襲った近現代の災害の歴史とそれら深刻な事態への立教の対応について紹介しました。



10 月 7 日
～ 1 月 30 日

「立教学院創立 150 周年記念企画展」シーズン 2 「立教と箱根駅伝」を開催

立教チームが、戦前・戦後、常連校として箱根駅伝に出場してきた歴史と、「立教箱根駅伝 2024」事業による、55 年ぶりとなる本選出場への軌跡を、様々な資料から紹介しました。



12 月 2 日

「150th Anniv. 立教フェスティバル ～ THE WILLIAMS DAY ～」を開催

立教学院の創立者であるウィリアムズ主教を記念する日に、各界で活躍する「立教人」たちが大集結し、豪華メンバーによるトークショーをはじめ、現役学生とトップアーティストらがコラボレートするパフォーマンスなどが行われました。



2024

3 月 28 日

創立 150 周年を記念し、書籍『乱歩を探して』を刊行

立教学院が創立 150 周年を迎える 2024 年が江戸川乱歩の生誕 130 年にあたることから、乱歩にゆかりのある方々や、乱歩やその作品を愛する方々へのインタビューを 1 冊にまとめました。



5 月 4 日

創立 150 周年記念ラッピングバスの運行開始

創立 150 周年を記念したオリジナルデザインでラッピングをしたスクールバスが、株式会社西武総合企画様のご協力により完成しました。

2024 年 5 月 4 日（土）から、新座駅～新座キャンパス間、志木駅～新座キャンパス間、新座キャンパス～富士見総合グラウンド間で運行しました。



5 月 11 日

記念植樹・長嶋茂雄氏顕彰モニュメント除幕式

創立 150 周年を記念する植樹と立教学院栄誉賞の受賞者である長嶋茂雄氏（読売ジャイアンツ終身名誉監督、1958 年経済学部卒）の功績を讃える「長嶋茂雄氏顕彰モニュメント」の序幕式が行われました。



5月11日

創立 150 周年記念式典・祝賀会 開催

立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋チャペル）で、感謝礼拝を執り行いました。礼拝には、アメリカ聖公会ヴァージニア神学校のイアン・マーカム学長も列席し、同校の卒業生であるウィリアムズ主教の功績を讃えるとともに立教学院創立 150 周年を祝福しました。

記念式典は 2 部構成で実施し、約 800 名の方にご出席いただきました。第 1 部は礼拝形式で実施し、150 年の存続を支えてくださった方々を代表してご来賓より祝辞をいただきました。第 2 部では、「立教未来構想 -RIKKYO VISION-」の発表、同志社大学と立教大学の相互協力・連携に関する協定締結報告がなされました。また、立教学院の創立者であるチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教の軌跡を辿る創立 150 周年記念映画『道のただなか』の上映を行いました。祝賀会も約 900 名の方が出席され盛況の中で終えました。



TOPICS 1

立教未来構想 — RIKKYO VISION —

「立教未来構想—RIKKYO VISION—」では、「150 周年の歴史と伝統」、「先進性、改革精神、未来志向」、「ALL Rikkyo の叡智の結集、ネットワークの活用」といった立教の強みや特徴、変革の方向性を表現した 3 つのテーマを基盤として、小学校、中学校・高等学校、大学、一貫連携教育のヴィジョンを策定しました。その内容は、「Vision Statement」と本文で構成されています。以下に、「Vision Statement」を紹介します。

■立教大学

普遍的な真理を探求し、世界、社会、隣人とつながるために、 < Global Liberal Arts & Sciences >を究める大学へ

■立教新座中学校・高等学校

自分を知り自分を大切にすること、自分を大切にするように他を尊重することのできる生徒を育みます

■立教池袋中学校・高等学校

予測できないこれからの社会で、周囲と協調性を保ちながらリーダーシップを発揮できる人材を育てます

■立教小学校

尊重し合い、学び合い高め合う児童・教師・保護者が集う学び舎を目指します

■一貫連携教育

混迷する現代社会を生き抜き、未来を拓く「人間基礎力」を育成します

6月8日

公開シンポジウム「子どもの権利と多文化共生」を開催

第一部を基調講演、第二部をパネルディスカッション形式で開催。日本社会において子どもの権利や多文化共生が大きなテーマとなる中、現場で向き合っている方々から現状や課題を伺い、対話することを通じて、これから先の未来を考える機会をどう創出するか確認しました。また、子どもの権利や多文化共生をテーマとする研究者と学部横断的に連携する可能性を模索することで、地域との協力関係をさらに深めていく機会となりました。



6月23日

「ALL としま×立教 WAKUWAKU 防災フェス」を開催

立教学院創立 150 周年記念「ALL としま×立教 WAKUWAKU 防災フェス」を池袋キャンパスにて開催しました。池袋キャンパスを構える豊島区が共催、池袋消防署、豊島消防署、池袋消防団、株式会社そごう・西武 商事事業部、株式会社サンシャインシティ、株式会社良品計画が協力のもと、立教学院として初の産官学連携による防災イベントとして行われました。多くの来場者で賑わいました。



7月6日

青山学院×立教学院 創立 150 周年記念トークイベントを開催

青山学院と立教学院が、2024 年にともに創立 150 周年を迎えることを記念して、有楽町よみうりホールでトークイベントを行いました。

トークイベントは、2 部構成で行われ、第 1 部では、「過去と未来のトークセッション」をテーマに、第 2 部では、「駅伝トークセッション」をテーマにトークセッションが行われました。当日、会場には約 800 人、オンライン配信では約 1,200 人が参加し、盛況のうちに終了しました。



8月1日
～8月9日

ACE サマーインテンシブプログラムを立教大学で開催

立教大学の国際化戦略の一環として 2021 年度からスタートした「ACE プログラム※1」は、アジアトップクラスの大学と提携し、リベラルアーツ教育をベースに国際社会の諸課題について思考し、行動できる人間の育成を目的としています。立教学院創立 150 周年記念企画の一つとしてサマーインテンシブプログラムを立教大学で実施しました。

※1 詳細は P49 に記載しています。



8月2日
～8月8日

総長と行く 立教源流を辿る英国の旅

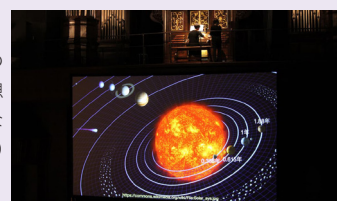
西原廉太総長と校友で本学院の創立 150 周年を記念し、英国の立教ゆかりの地を巡るツアーに出かけました。カンタベリー大聖堂、セントポール大聖堂での礼拝では司祭から立教 150 周年の祝福のお言葉をいただきました。8 日間を通して、校友と立教の歴史・ルーツを再認識する貴重な機会となりました。



8月9日

パイプオルガンコンサート「音楽と宇宙」を開催

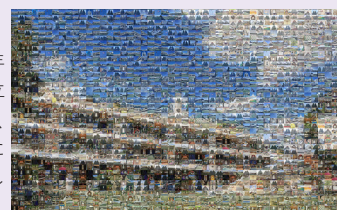
「次世代を育てる」というコンセプトのもと、小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を招待して開催。本学院のオルガニスト崎山裕子氏が、宇宙を想起させるようなパイプオルガン曲を演奏し、曲の合間には、世界的に著名な宇宙物理学者の村山斉氏（東京大学・カリフォルニア大学バークレー校教授）に曲の紹介や宇宙の美しさ楽しさについて解説いただきました。



9月3日

立教小学校フォトギャラリー

現在、「立教小学校新校舎建設」事業を推進しています。1963 年から 60 年以上にわたり利用されてきた旧校舎の思い出を振り返ることを目的に、「立教小学校フォトギャラリー」を作成しました。フォトギャラリーの写真は、2023 年 9 月～12 月に当時の 1 年生から 6 年生までの全児童が、休み時間に旧校舎内の好きな場所に行き、「ばくのお気に入りの 1 枚」を iPad で撮影したものです。全ての写真を使って制作したモザイクアートも紹介しています。



9月28日

立教学院 合同学校説明会

池袋キャンパスにて立教学院 合同学校説明会を開催しました。立教小学校、立教池袋中学校・高等学校、立教新座中学校・高等学校、立教大学が参加し、それぞれが説明会を実施しました。また、立教学院の一貫連携教育について「全体会」で説明し、施設見学も実施しました。



10月1日
～12月23日

創立 150 周年記念 150 円ランチの提供開始

2024 年 10 月～12 月に創立 150 周年を記念して、池袋キャンパス、新座キャンパスの食堂で 150 円ランチの提供を開始しました。

実施期間中は、各食堂において創立 150 周年を祝したオリジナルメニューを提供しました。



10月5日
～12月23日

「立教学院創立 150 周年記念企画展」シーズン 3 「立教の「未来」像—指導者たちの言葉から—」を開催

立教学院が歩んできた一世紀半におよぶ歴史を、四半世紀（25 年）ごとに時代区分をし、それぞれの時代における指導者たちの言葉から、建学の精神を探ります。



10月20日
～

東武鉄道株式会社と株式会社東武百貨店との連携企画開始

立教学院が創立150周年となる2024年に、東武東上線の前身となる東武鉄道が開業して、110周年を迎えました。長年、本学院の多くの児童・生徒・学生が東武東上線を利用してきました。東武鉄道株式会社に協力いただき、本学院の歴史・伝統や、魅力、東武東上線への感謝の気持ちを伝える連携企画を実施しました。

- ・池袋駅（東武東上線）と志木駅の発車ベルを本学院オリジナルメロディに変更しました。池袋駅（東武東上線）・志木駅の列車発車メロディが小学校、池袋中学校・高等学校、新座中学校・高等学校、大学の校歌等としました。
- ・池袋駅（東武東上線）と志木駅の発車メロディの変更に併せて、東武百貨店時報を小学校準校歌としました。
- ・立教学院創立150周年×東武東上線開業110周年記念乗車券を販売。
- ・池袋駅（東武東上線）、志木駅構内の広告掲出スペースにパネル・ポスターを掲出しました。
- ・池袋駅（東武東上線）と志木駅のポスター掲出と併せて、東武百貨店内にポスターを掲出しました。



11月16日
11月23日

「名探偵コナン」×「旧江戸川乱歩邸」 スペシャルコラボレーションアニメ

江戸川乱歩生誕130周年を記念して、「名探偵コナン」×「旧江戸川乱歩邸」のスペシャルコラボレーションアニメが11月16日（土）、23日（土）に放送されました。

江戸川乱歩を名前の由来に持つ江戸川コナンが、立教大学の「旧江戸川乱歩邸」や池袋キャンパスを舞台に大活躍しました。



TVアニメ『名探偵コナン』読売テレビ・日本テレビ系全国ネット
毎週土曜よる6時00分放送（一部地域を除く）
© 青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS 1996

11月30日

理学部創立75周年記念礼拝および祝賀会

2024年に創立75周年を迎えた立教大学理学部は、そのよき伝統を後世に残し、今後の発展を祈念すべく、創立75周年事業として11月30日に記念礼拝および祝賀会を開催しました。

また、理学部の今後の発展を期して、「立教大学理学部50年誌」以降の教育研究活動を記録するために、「立教大学理学部75年誌」が編纂されました。



12月7日

公開シンポジウム「文化としての大学メサイア——現在・過去・未来」

立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋チャペル）にて、シンポジウム「文化としての大学メサイア——現在・過去・未来」を開催しました。

第63回メサイア演奏会（12月16日）に先立ち、今年の参加者をはじめ、歴代のメサイア実行委員やOBOG、教職員や音楽学会員、さらには、全国から大学メサイア関係者、メサイア愛好家が参集し、チャペルは満席となりました。



12月13日

映画『道のただなか』特別上映会&トークショーの開催

「池袋シネマ・ロサ」にて、立教学院創立150周年記念映画『道のただなか』の特別上映会とトークショーを開催しました。

上映会は、本映画の魅力をより深く味わうための特別な機会として実施し、多くの在学生や教職員が集まりました。上映後には、監督・脚本の鶴岡慧子氏（2012年現代心理学部卒）とメインキャストの渡邊甚平氏（2022年経済学部卒）、西原廉太立教学院学院長・大学総長らが登壇するトークショーを開催しました。



12月14日

立教学院創立 150 周年記念 新座キャンパスオープンデイを開催

立教学院創立 150 周年を記念して、学生や卒業生、保護者の皆さま、地域の方々を対象にしたオープンデイを 12 月 14 日（土）に新座キャンパスで開催しました。当日は、記念映画『道のただなか』の鶴岡監督講演・作品上映、新座 4 学部合同講演会、スポーツウエルネス学部・新座中高講演会、「～絆の会～」による和太鼓の演奏などが行われました。

プログラムの始まりとともに、新座キャンパスには幅広い年齢層の方が続々と来場して、普段と異なる雰囲気にも包まれました。



12月16日

第 63 回立教大学メサイア演奏会

すみだトリフォニーホール（東京都墨田区）にて、第 63 回立教大学メサイア演奏会を開催しました。

クリスマスを迎える行事の中で、立教大学のメサイア演奏会はその伝統、規模において最大のイベントであり、大きな特色は学生キリスト教団体、交響楽団、グリークラブの学生を中心にメサイア実行委員会が組織され、運営にあたっている点です。音楽課程を持たない大学でありながら、学生の手によってオーケストラ・コーラスが構成されていることは、立教メサイアならではの特徴です。



12月21日

立教学院創立 150 周年記念 池袋キャンパスオープンデイを開催

同月 14 日の新座キャンパスオープンデイに続き、在学生や卒業生、保護者の皆さまと創立 150 周年を一緒に祝うとともに、地域の方々へ立教の魅力を発信することを目的に、2024 年 12 月 21 日に池袋キャンパスにて、池袋キャンパスオープンデイを開催しました。

当日は、様々なプログラムが実施され、クリスマス気分を盛り上げる華やかなイベントとなり、池袋キャンパスは大いににぎわいました。



能『聖パウロの回心』を上演

2024 年 12 月 21 日（土）、池袋キャンパスオープンデイのメインイベントの一つとして、能『聖パウロの回心』がタッカーホールで上演されました。

この作品は、新約聖書「使徒言行録」第 9 章「パウロの回心」を忠実に能として劇化した新作能です。国文学者の林望さんが台本を手掛け、二十六世観世宗家・観世清和さんが能作・演出、野村萬斎さんが狂言演出を担当しました。

当日の開場は、立教小学校の児童や保護者、立教大学の校友、立教学院関係者で満員となりました。



2025

1月10日

立教小学校新校舎の起工式を举行

立教小学校新校舎の建設工事起工式を執り行いました。

建設する新校舎は、立教小学校の新教育のコンセプト「自律・協奏する力と心を育む真正な学びプロジェクト型学習を中心とした終わらない学びへー」を実現するもので、2026 年 9 月から利用開始予定です。教室での座学中心の学びから、さまざまな人数・形態での学びが教室から溢れ出すような、学校全体が学び場であり遊び場となる新校舎に生まれ変わります。

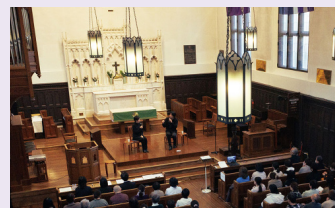


1月26日

講演と朗読「立教大学×文学座 江戸川乱歩を読む」

立教学院創立 150 周年企画の一環として、江戸川乱歩記念大衆文化研究センター（以下、センター）主催による講演と朗読「立教大学×文学座 江戸川乱歩を読む」が開催されました。立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋チャペル）を会場として、140 名を超える来場者を迎えました。

今回の講演会は 1937 年創立の文学座との共催で、乱歩作品を「耳で楽しむ」機会として、文学座文芸編集室の後藤隆基さん（センター特定課題研究員）と文学座俳優の小野洋子さんにご登壇いただきました。



1月29日

新座キャンパス9号館の竣工 14年ぶりの新棟

新座キャンパス9号館は、立教学院創立150周年記念事業の一環として、2023年4月に開設したスポーツウエルネス学部教育・研究活動施設の確保と増加する学生に対応する施設環境の整備を目的に建設され、新たなイノベーションの創出拠点として2025年4月から利用開始となりました。

新座キャンパス9号館は、地域の人々にも開かれた施設として、健康やウエルネスに関心を持つ人々の交流と情報発信の場となることが期待されています。



3月21日

旧江戸川乱歩邸 完成記念セレモニーを実施

2025年3月21日（金）、立教大学池袋キャンパス内にある旧江戸川乱歩邸の施設整備改修工事が完了したことに伴い、完成・祝福の祈りおよび完成記念セレモニーを執り行いました。

江戸川乱歩（本名・平井太郎）が暮らした母屋と洋館の改修に加え、旧蔵資料を保存するための収蔵庫を新設しました。邸内には展示室を新たに設け、今後、「作家・乱歩と人間・太郎、二つの人生に出会う場」をコンセプトに、所蔵資料を展示する予定です。



3月22日～31日

立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部による学院ルーツをめぐる米国演奏会

2025年3月22日（土）から31日（日）にかけて、立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部の生徒が立教学院のルーツをめぐる米国演奏旅行を実施しました。吹奏楽部で共に練習を重ねてきた生徒たち47名が、チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教の墓前礼拝や墓前演奏などを行い、本学院のルーツをめぐることで、歴史や伝統を再確認しました。



3月26日

日本経済新聞社×立教大学

『人生と仕事と学びをつなぐ15の講義』を刊行

日本経済新聞社と立教大学が共同で書籍『人生と仕事と学びをつなぐ15の講義』を刊行しました。

本書は、日本経済新聞社と立教大学が協働で開講する授業の内容をもとに制作されたものです。日経新聞編集委員、立教大学の教員・卒業生が執筆を担当し、「AI時代とリベラルアーツ」「仕事の魅力を知ること」「大学でまなぶこととは」など、15のテーマを設定。全国の学生が自らの進路や生き方を考える際の指針となることを目指した一冊です。



3月31日

『立教とリベラルアーツ』を発行

立教学院は、1874年の創立以来一貫してリベラルアーツ教育を実践してきました。本書は創立150周年の節目にあたり、いま一度リベラルアーツの本質に迫るべく、西原康太総長が芸術・芸能・音楽・文芸・教育界などで活躍する著名校友（卒業生）らを迎えた対談シリーズをはじめ、立教大学のリベラルアーツ教育や自らが学ぶ学校への理解を深める「自校史教育」、立教の歴史、創立150周年記念事業・企画など、多彩な視点から立教を見つめ直した貴重な1冊です。



TOPICS
2

RIKKYO Value 「立教未来構想—RIKKYO VISION—」の具体化に向けて

2018年度より開始した創立150周年記念事業・記念企画（9事業、48企画）は、2025年3月末をもって完了いたしました。

特に創立150周年を迎えた2024年度には、記念礼拝・式典をはじめとしたさまざまな記念事業・企画を執り行い、多彩な記念企画などを通じて、立教学院全体の一体感を高めることができました。さらに、創立150周年式典では、各学校と一貫連携教育の将来像を示す中長期ビジョン「立教未来構想—RIKKYO VISION—」を発表しました。

立教学院がこれからも「選ばれる学府」であり続けるために、創立151年目となる2025年度から、「立教未来構想—RIKKYO VISION—」の具体化に向けて、「RIKKYO Value 事業」を展開していきます。これは、半世紀先を見据えて「立教」の価値をさらに高め、社会へ訴求していく取り組みとなります。

立教大学ファクトブック 2025（概要）

立教大学ファクトブックに掲載した様々なデータの概要版として、各項目毎の主要なデータをまとめました。
一目で立教大学の「今」を把握していただけます。

学部所属専任教員数

504人

開講科目数

6,131コマ

図書館蔵書数

約**200万**冊

教育

Education

※データ対象年度：2024 年度

論文発表数

118位

高被引用論文数

82位

相対被引用度 (CNCI)

13位

※データ対象年度：2013 ～ 2022 年度（資料：Web of Science）

Research

研究

学部 学生数

19,808人

男子学生：41.6% 女子学生：58.4%

体育会所属学生数

2,512人

学部 就職率

98.1%

※データ対象年度：2024 年度

学生

Students

海外協定校数

260校

外国籍教員数

216人

グローバル教養
副専攻登録率

99.5%

※グローバル教養副専攻・・・
グローバルな視点に立った教養人の
育成を目標とした全学部生対象の
教育プログラム

国際化

Internationalism

※データ対象年度：2024年度

日経 BP ブランドイメージ
調査総合ブランド力

(対象者：学生の父母)

スコア

67.5点

順位

12位

世界大学ランキング

タイムズ・ハイアー・エデュケーション (THE)

「国際性」スコア
国内私立大学

1位

広報

Brand Image, Ranking

※データ対象年度：2024年度

志願者数

62,829人

校友数

235,775人

入試

Entrance Exams

※データ対象年度：2025年度

Alumni

※データ対象年度：2024年度

校友

RIKKYO Fact Book 2025

立教大学ファクトブック

－2019年度～2024年度データ－

2025年10月1日発行

編集・発行 立教学院 企画部企画室

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 学院事務棟アネックス 3 階

TEL:03-3985-4849

FAX:03-3985-4861

E-mail : kikaku@rikkyo.ac.jp



立教大学ファクトブック
の Web 版はこちら

RIKKYO Fact Book 2025



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

〒171-8501

東京都豊島区西池袋3-34-1

<https://www.rikkyo.ac.jp/>